

# 「第4次熊本市環境総合計画」に関する 市民アンケート調査報告書

【令和4年度(2022年度)版】



恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市

令和5年(2023年)6月  
熊 本 市



## 目次

1 調査概要 .....	1
2 アンケート調査結果 令和4年度(2022年度) .....	2
(1) 回答者の内訳 .....	2
(2) 調査結果 .....	6
■「熊本市の環境目標（基本計画）」について .....	6
問1. あなたは、熊本市の良好な環境が守られていると感じますか。(1つだけ) ....	6
問1-1. 問1で3、4、5を選択された方にお尋ねします。 どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。 (いくつでも可) .....	8
問2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により 守られていると感じますか。(1つだけ) .....	12
問3. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ) .....	14
問4. お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1つだけ) .....	16
問5. 中心市街地の「緑の質」に満足していますか。(1つだけ) .....	18
問6. お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1つだけ) .....	20
問7. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じ ますか。 .....	22
問8. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。 24	
問9. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ) 26	
問10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ) .....	28
■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について .....	30
問11. スマートフォン・タブレット向けの紙のごみカレンダーをもっと便利にした 「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1つだけ) .....	30

問12. この1年間でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。(1つだけ)	32
問12-1. 問12で1、2を選択された方にお尋ねします。	34
目撃情報をLINEや電話で市に通報しましたか。(1つだけ)	34
問13. 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)	36
■「受動喫煙防止」について	38
問14. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ(加熱式)」の路上喫煙について、従来のとばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ)	38
■「プラスチック問題」について	40
問15. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)	40
問16. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)	42
問17. スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)	44
■「食品ロス」について	46
問18. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)	46
問19. 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。(1つだけ)	48
問20. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)	50
■「地球温暖化対策」について	53
問21. 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1つだけ)	53
問22. あなたの住宅について教えてください。(1つだけ)	55
問23. 地球温暖化対策として実際に導入している(されている)、もしくは取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)	57

■ 「 <sup>フ</sup> COOL <sup>チ</sup> CHOICE」について .....	60
問24. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ) .....	60
■ 「熊本市内の環境問題」について .....	62
問25. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ) .....	62
問26. あなたが問25で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われるか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。 .....	65
1 「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見 .....	65
2 「地下水の状況(水質や量など)」についての意見 .....	66
3 「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見 .....	69
4 「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見 .....	72
5 「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見 .....	73
6 「大気の状態」についての意見 .....	75
7 「河川など水辺の美しさ、清潔さ」についての意見 .....	76
8 「生活環境の快適さ(騒音や振動、悪臭などがいいか)」についての意見 .....	77
9 「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見 .....	78
10 「環境について学ぶ機会や情報を得る機会(環境保全イベント等の開催)」についての意見 .....	82
11 問題があるとは思っていない .....	82
12 その他 .....	83
<b>3 参考資料(調査票)</b> .....	84

# 1 調査概要

## ■調査目的

令和4年(2022年)3月に策定した第4次熊本市環境総合計画では、「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指すべき都市像として掲げ、それを実現するために共通して取り組む事項として「世界が認めた地下水の保全と緑あふれるまちづくりの推進」、「持続可能な脱炭素社会の実現」を重点的取組として位置づけている。また、本計画では、取組の実施状況や進捗状況を、市民意識調査等により毎年度点検評価し、その結果を計画実施体制等に反映し、着実な推進を図ることとしている。

本調査は、市民の日頃の環境保全行動・活動の取組状況や、それに対するニーズなどを調査し、熊本市の環境目標の認知度や重点協働プロジェクトの進捗状況の把握、新たに実施する施策の方向性を検討する資料とするため実施したものである。

## ■調査対象

市民：3,000人（住民基本台帳より満18歳以上89歳以下の市民を無作為抽出）

## ■調査方法

アンケート調査票の郵送配布、郵送もしくはインターネットによる回答

## ■調査期間

令和4年(2022年)12月下旬から令和5年(2023年)1月31日まで

## ■回答受付期間

郵送	令和4年(2022年)12月26日から 令和5年(2023年)2月8日まで	710件
インターネット	令和4年(2022年)12月22日から 令和5年(2023年)1月31日まで	306件

## ■回収数（回収率）

1,016人（33.87%）

## ■留意事項

単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の回収数を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

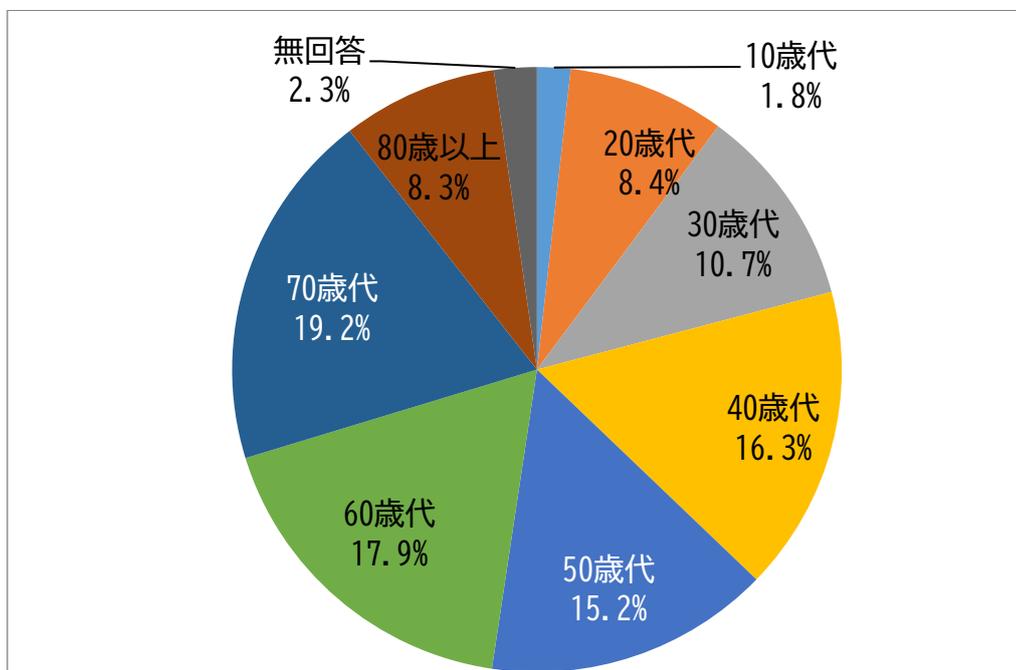
複数回答となる質問の集計については、項目別に回収数に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。

なお、提言や意見については誹謗中傷などを除いて掲載している。

## 2 アンケート調査結果 令和4年度(2022年度)

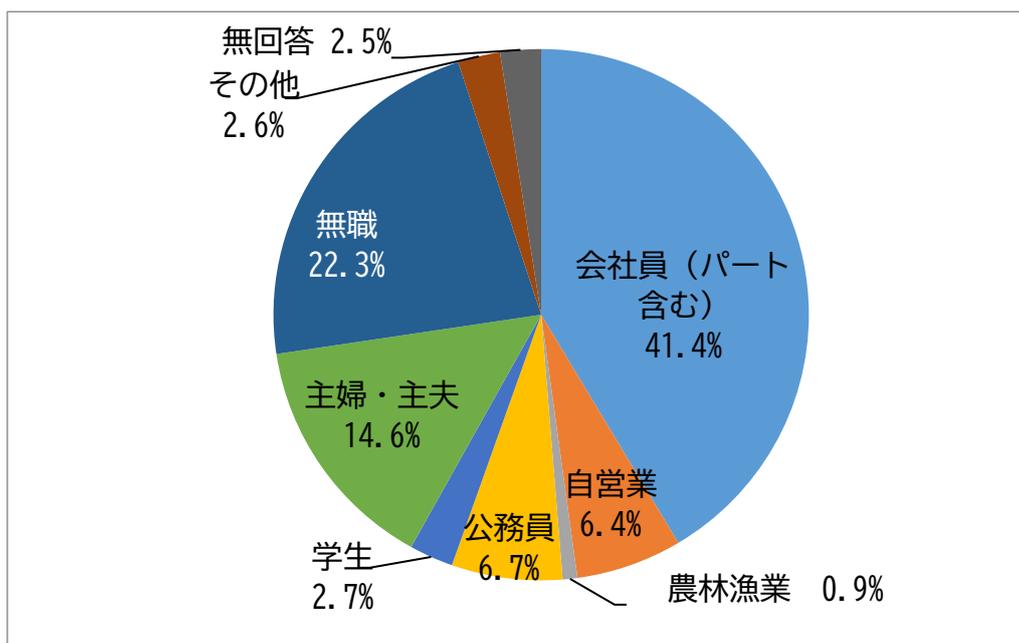
### (1) 回答者の内訳

年齢別



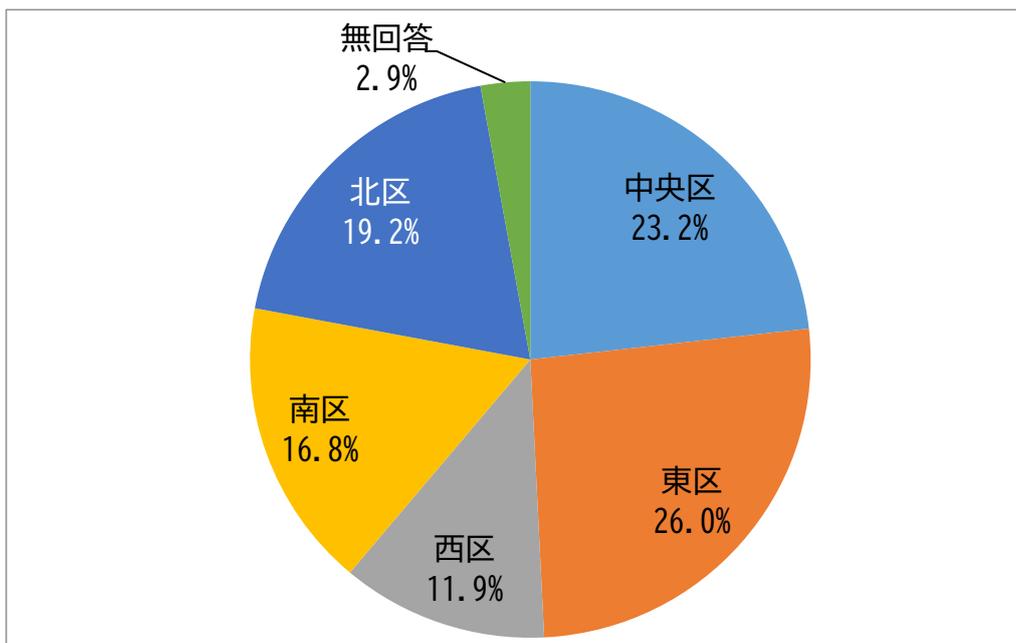
年齢別	アンケート回答数 (人)	アンケート発送数 (人)	発送に対する回答割合 (%)
10歳代	18	74	24.3
20歳代	85	376	22.6
30歳代	109	416	26.2
40歳代	166	509	32.6
50歳代	154	483	31.9
60歳代	182	453	40.2
70歳代	195	435	44.8
80歳以上	84	254	33.1
無回答	23	—	—
合計	1,016	3,000	33.9

## 職業別



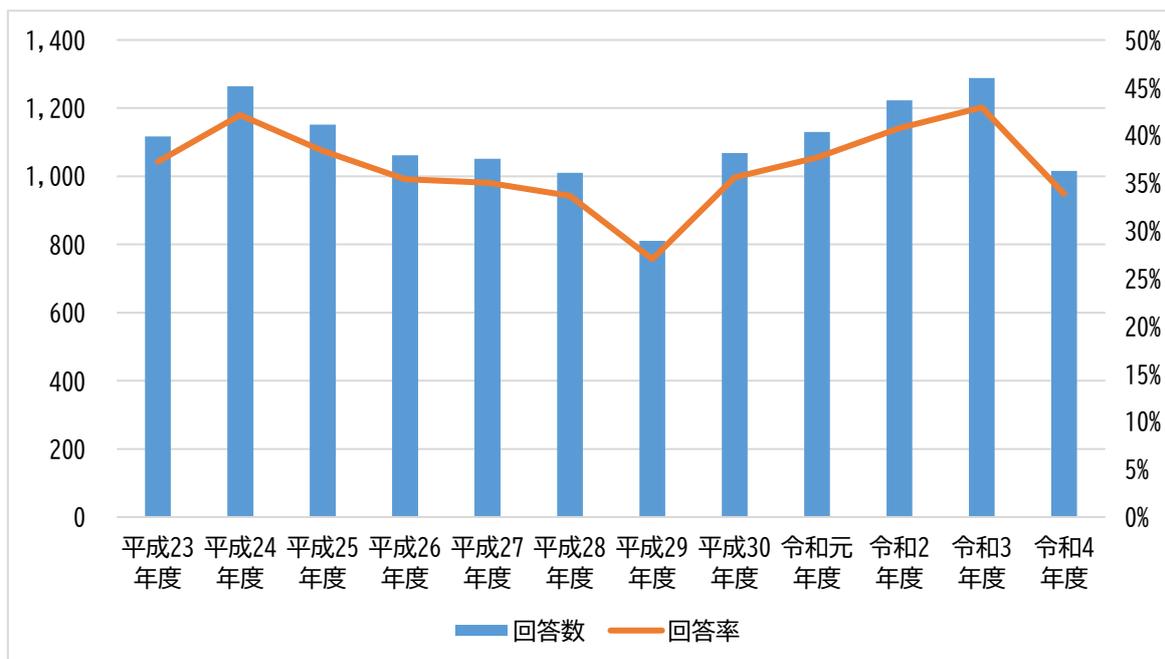
職業別	アンケート 回答数 (人)	発送に対する 回答割合 (%)
会社員 (パート含む)	421	41.4
自営業	65	6.4
農林漁業	9	0.9
公務員	68	6.7
学生	27	2.7
主婦・主夫	148	14.6
無職	227	22.3
その他	26	2.6
無回答	25	2.4
合計	1,016	100.0

## 回答者の居住区



区	アンケート 回答数 (人)	アンケート 発送数 (人)	発送に対する 回答割合 (%)
中央区	236	753	31.3
東区	264	771	34.2
西区	121	371	32.6
南区	171	531	32.2
北区	195	574	34.0
無回答	29	—	—
合計	1,016	3,000	33.9

これまでの回答数と回答率の推移



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
回答数(人)	1,117	1,264	1,152	1,062	1,051	1,010	811	1,068
回答率(%)	37.23	42.13	38.40	35.40	35.03	33.67	27.03	35.60

年度	R1	R2	R3	R4
回答数(人)	1,130	1,223	1,288	1,016
回答率(%)	37.67	40.77	42.93	33.87

備考 平成30年度からインターネットによる回答を開始している。

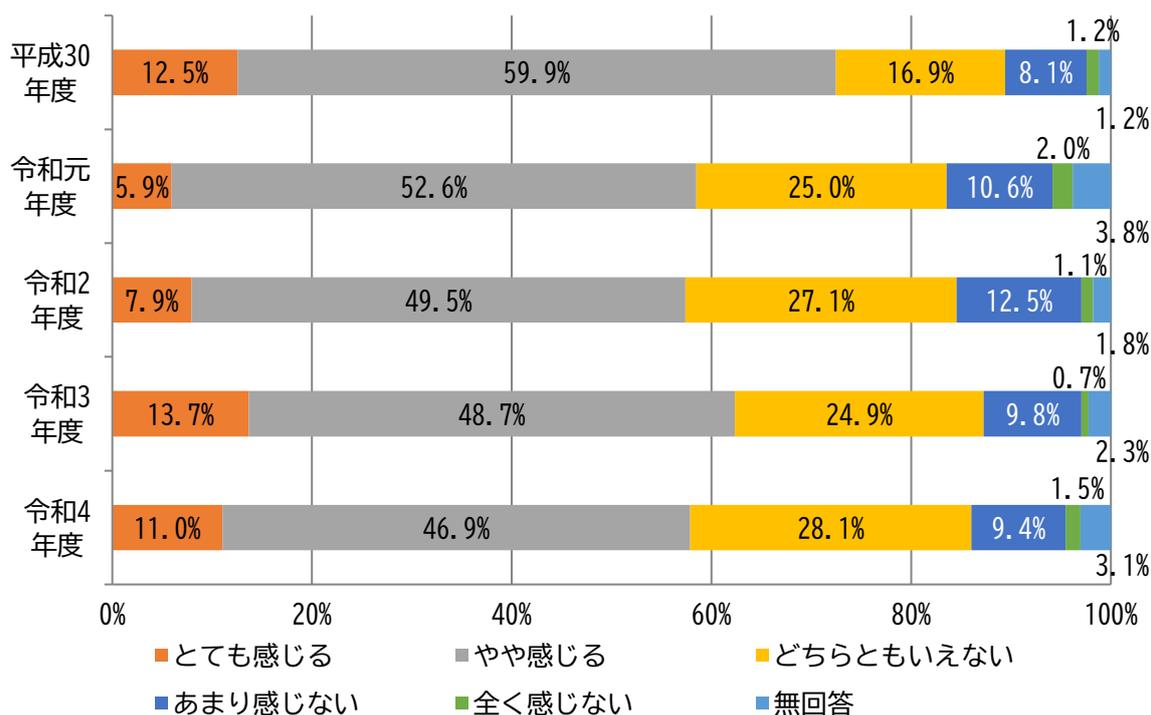
## (2) 調査結果

### ■「熊本市の環境目標（基本計画）」について

問1. あなたは、熊本市の良好な環境が守られていると感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が46.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.1%、「とても感じる」が11.0%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は57.9%で、前回調査と比較すると4.5ポイント減少している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年齢別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が72.3%と最も高く、次いで20歳代（68.2%）、80歳代以上（65.4%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は30歳代が14.7%と最も高く、次いで60歳代（14.2%）、70歳代（10.2%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が70.4%と最も高く、次いで農林漁業（66.7%）、その他（65.4%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は農林漁業が22.2%と最も高く、次いで会社員（12.3%）、主婦・主夫（11.5%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が61.4%と最も高く、次いで北区（61.0%）、西区（58.7%）となっている。

一方で「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は東区が10.2%、次いで中央区（9.8%）、西区（7.4%）となっている。

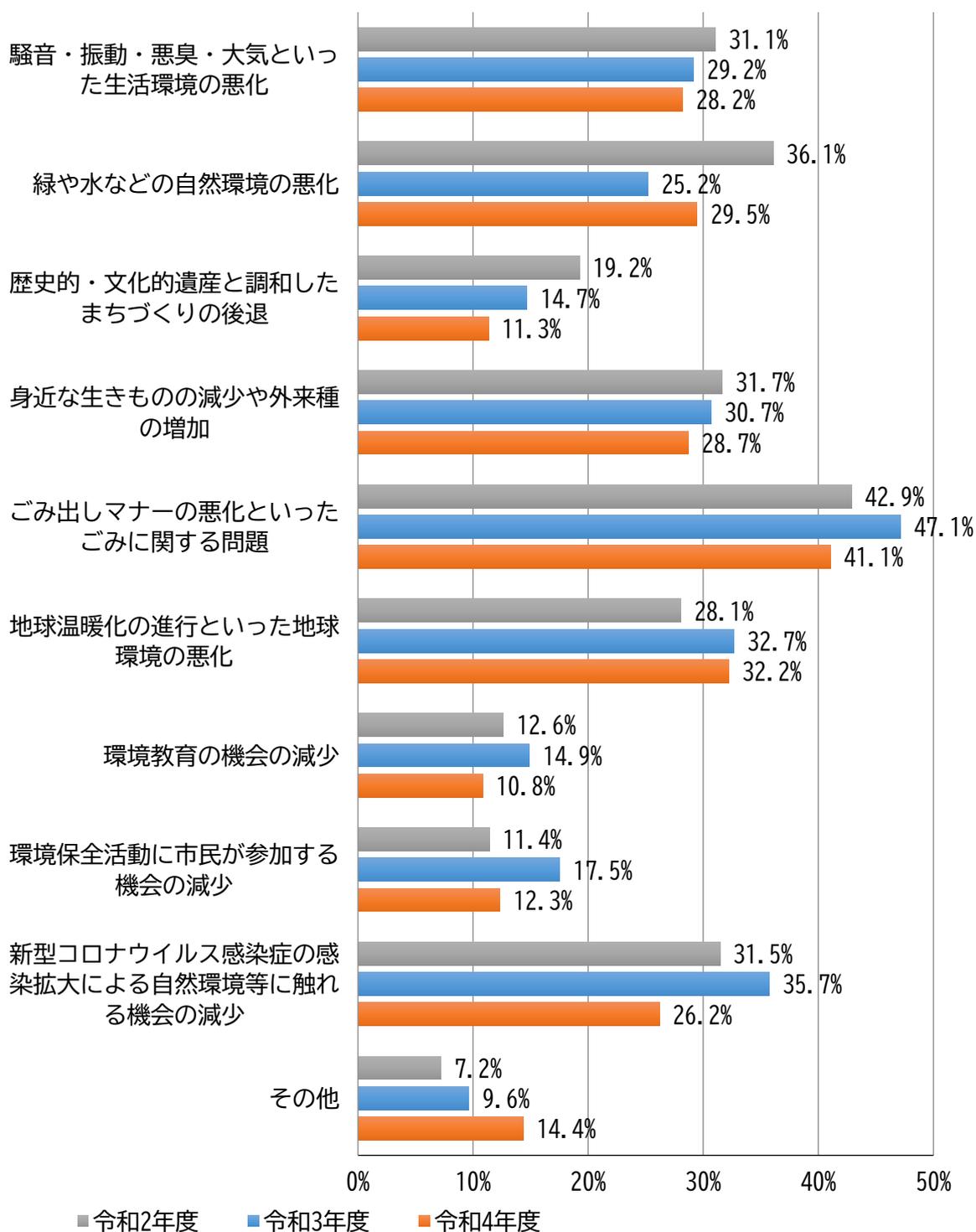
■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	11.0%	46.9%	28.1%	9.4%	1.5%	3.1%
年齢別							
10歳代	18	16.7%	55.6%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%
20歳代	85	9.4%	58.8%	23.5%	5.9%	2.4%	0.0%
30歳代	109	5.5%	48.6%	31.2%	13.8%	0.9%	0.0%
40歳代	166	12.7%	46.4%	30.1%	8.4%	1.8%	0.6%
50歳代	154	11.0%	50.0%	26.6%	8.4%	1.3%	2.6%
60歳代	182	8.8%	40.7%	31.9%	11.5%	2.7%	4.4%
70歳代	195	11.8%	45.1%	28.2%	9.7%	0.5%	4.6%
80歳以上	84	21.4%	44.0%	20.2%	6.0%	0.0%	8.3%
職業別							
会社員	421	9.5%	48.2%	28.3%	10.9%	1.4%	1.7%
自営業	65	6.2%	52.3%	29.2%	7.7%	1.5%	3.1%
農林漁業	9	11.1%	55.6%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%
公務員	68	11.8%	45.6%	35.3%	5.9%	0.0%	1.5%
学生	27	11.1%	59.3%	22.2%	7.4%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	10.8%	44.6%	29.7%	8.8%	2.7%	3.4%
無職	227	15.9%	41.4%	26.9%	8.8%	0.9%	6.2%
その他	26	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%	0.0%	0.0%
地区別							
中央区	236	9.3%	48.7%	28.8%	8.5%	1.3%	3.4%
東区	264	9.8%	44.3%	33.0%	9.1%	1.1%	2.7%
西区	121	14.9%	43.8%	30.6%	6.6%	0.8%	3.3%
南区	171	9.9%	51.5%	24.0%	12.3%	0.0%	2.3%
北区	195	13.8%	47.2%	23.1%	8.7%	3.6%	3.6%

問1-1. 問1で3、4、5を選択された方にお尋ねします。

どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。(いくつかでも可)

問1.で「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」と回答した397人については、「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」が41.1%と最も高く、次いで「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」が32.2%、「緑や水などの自然環境の悪化」が29.5%となっている。



## 【参考】

### 「その他」の内容

- 生活環境について（18件）
  - ・ 花壇等の手入れが行き届いている。
  - ・ カラスやハトなど野鳥の糞尿で汚い。悪臭。
  - ・ 野鳥（カラス等）や害虫（ゴキブリ）によるゴミ被害（ゴミにたかり散乱している）。
  - ・ ごみのポイ捨て。ごみ出しマナーが悪い。
  - ・ タバコのポイ捨て。（通学路、公園周辺、至る所に捨ててある）
  - ・ 後継者のいない田畑が荒れ果て、その土地にゴミを捨ててあり、木や草、竹などが侵入してくる。
  - ・ 街路樹の葉の散乱。
  - ・ 中心部飲食店店舗近くの街並みの汚さ。
  
- 都市、道路、交通環境について（24件）
  - ・ 消えかかっている白線、道路の狭さなどの道路環境の整備。
  - ・ 道路沿いの雑草、大きくなりすぎた街路樹の倒木や信号機が見えにくいなどの整備不足。
  - ・ 車道、歩道沿いの草木が生い茂り通行に支障をきたしている路線が散見される。
  - ・ 慢性的な交通渋滞。
  - ・ 公共交通機関のアクセスの悪さ。
  - ・ 交通網の改善。
  - ・ 渋滞が酷く、アイドリングなどによって大気環境学悪化している。
  - ・ 交通渋滞に伴う排気ガスでの大気汚染。
  - ・ 深夜の暴走行為。
  - ・ 公園遊具の老朽化や低年齢の幼児が安心して遊べる遊具が圧倒的にすくないと感じます。
  - ・ 街灯が少ないため、暗い時間は怖くて買い物も行けない（車の所持なし）。
  
- 行政の取組について（2件）
  - ・ 文化的な施設（図書館、美術館）、公園等少なく、あったとしても中途半端で魅力にかける。
  - ・ 図書館の規模が小さく、数も少ない。
  
- 自然環境について（1件）
  - ・ 山林の伐採や宅地など地下水の保全が守られているのか気になる。
  
- 意識について（4件）
  - ・ 中心部の飲食街周辺は歩きたばこのする人間とすれ違い不快な思いをすることがある。
  - ・ 通学路でも構わず歩きタバコを目にする。
  - ・ 歩きたばこに対する規制が甘い。
  - ・ 受動喫煙対策が足りてない。店舗先に灰皿がおいてあり、そこで吸われると必然的に被害にあってしまう。
  
- その他（10件）
  - ・ あまり関心がない。
  - ・ 自分自身に知識がなく判断できかねる。
  - ・ 気にしていないのでわからない。
  - ・ 比較対象がないのでどちらともいえない。
  - ・ 取り組んでいる内容がよくわからない。
  - ・ 周辺用水路を使用する人がいなくなり、沼など異臭が生じるので対策を取ってほしい。
  - ・ コロナ支援の保証を見直してほしい。

【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化」と「環境教育の機会の減少」は10歳代が40.0%、20.0%と最も高く、「緑や水などの自然環境の悪化」は30歳代が40.0%、「歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少」については、70歳代が16.0%、38.7%、「身近な生きものの減少や外来種の増加」と「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」、「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」と「環境保全活動に市民が参加する機会の減少」は80歳以上が50.0%、50.0%、54.5%、22.7%、と最も高くなっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化」は西区が32.6%と最も高く、「緑や水などの自然環境の悪化」と「歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退」は中央区が37.4%、14.3%、「身近な生きものの減少や外来種の増加」と「ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題」は南区が35.5%、48.4%、「地球温暖化の進行といった地球環境の悪化」と「環境教育の機会の減少」、「環境保全活動に市民が参加する機会の減少」、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少」は東区が36.8%、14.0%、16.7%、29.8%と最も高くなっている。

■属性別回答

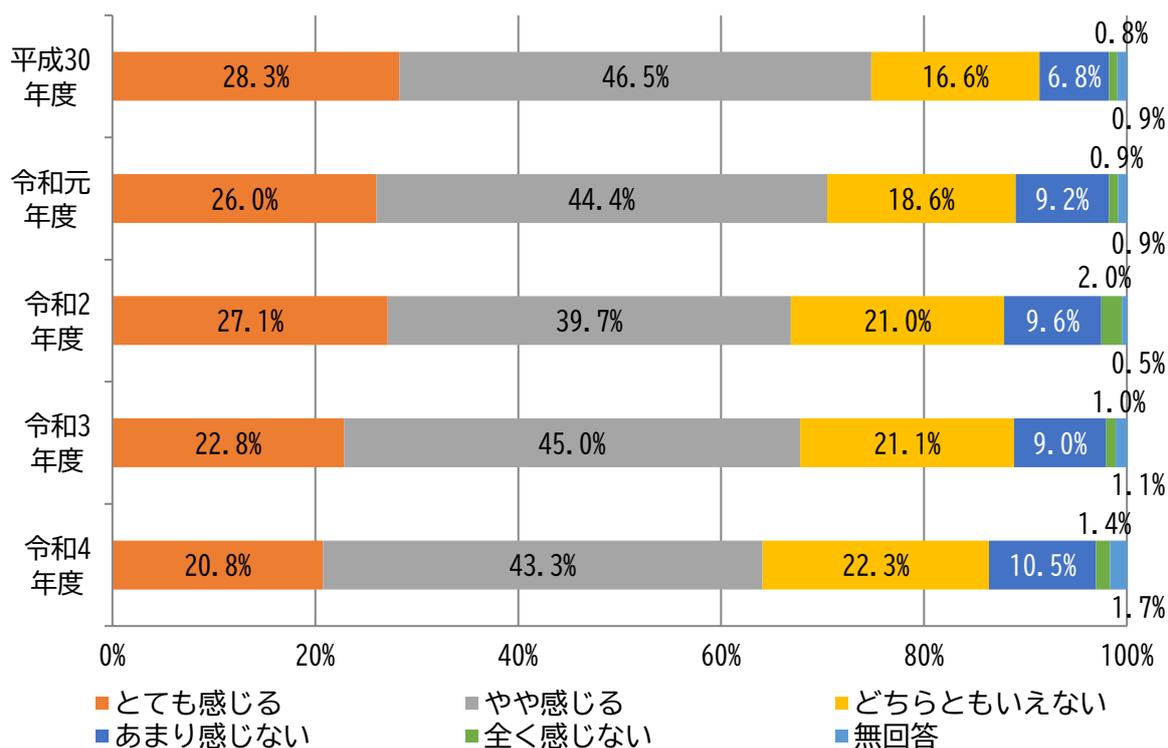
	合計	騒音・振動・悪臭・大気といった生活環境の悪化	緑や水などの自然環境の悪化	歴史的・文化的遺産と調和した街並みの後退	身近な生きものの減少や外来種の増加	「ごみに関する問題」「ごみ出しマナーの悪化」といった	地球温暖化の進行といった地球環境の悪化	環境教育の機会の減少	環境保全活動に市民が参加する機会の減少	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少	その他
全体	397	28.2%	29.5%	11.3%	28.7%	41.1%	32.2%	10.8%	12.3%	26.2%	14.4%
年齢別											
10歳代	5	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%
20歳代	27	33.3%	11.1%	3.7%	7.4%	25.9%	18.5%	18.5%	14.8%	37.0%	11.1%
30歳代	50	38.0%	40.0%	8.0%	24.0%	34.0%	28.0%	10.0%	16.0%	26.0%	16.0%
40歳代	67	34.3%	23.9%	10.4%	17.9%	46.3%	19.4%	11.9%	10.4%	22.4%	25.4%
50歳代	56	32.1%	25.0%	8.9%	25.0%	41.1%	32.1%	8.9%	5.4%	25.0%	10.7%
60歳代	84	17.9%	33.3%	14.3%	33.3%	39.3%	45.2%	8.3%	11.9%	19.0%	14.3%
70歳代	75	20.0%	34.7%	16.0%	40.0%	48.0%	33.3%	12.0%	12.0%	38.7%	6.7%
80歳以上	22	22.7%	31.8%	13.6%	50.0%	50.0%	54.5%	4.5%	22.7%	22.7%	9.1%
職業別											
会社員	171	28.7%	29.2%	8.8%	24.6%	39.8%	29.2%	12.3%	9.9%	25.1%	18.7%
自営業	25	32.0%	28.0%	8.0%	24.0%	28.0%	32.0%	8.0%	20.0%	28.0%	12.0%
農林漁業	3	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%
公務員	28	32.1%	28.6%	7.1%	35.7%	39.3%	17.9%	0.0%	7.1%	25.0%	10.7%
学生	8	25.0%	25.0%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%
主婦・主夫	61	24.6%	24.6%	16.4%	32.8%	47.5%	39.3%	9.8%	9.8%	27.9%	9.8%
無職	83	24.1%	34.9%	16.9%	32.5%	43.4%	39.8%	9.6%	13.3%	31.3%	9.6%
その他	9	33.3%	22.2%	11.1%	44.4%	55.6%	44.4%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%
地区別											
中央区	91	30.8%	37.4%	14.3%	24.2%	45.1%	34.1%	11.0%	7.7%	25.3%	14.3%
東区	114	24.6%	27.2%	11.4%	28.9%	34.2%	36.8%	14.0%	16.7%	29.8%	11.4%
西区	46	32.6%	30.4%	6.5%	34.8%	37.0%	32.6%	4.3%	8.7%	28.3%	17.4%
南区	62	27.4%	24.2%	9.7%	35.5%	48.4%	25.8%	8.1%	12.9%	21.0%	16.1%
北区	69	24.6%	30.4%	10.1%	26.1%	43.5%	33.3%	13.0%	11.6%	26.1%	13.0%

問2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

「やや感じる」が43.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.3%、「とても感じる」が20.8%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は64.1%で、前回調査と比較すると3.7ポイント減少している。

過去5年間の推移では、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が83.3%と最も高く、次いで80歳以上(73.8%)、50歳代(65.0%)となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業と学生が77.7%と最も高く、次いで無職(71.3%)となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が75.3%と最も高く、次いで東区(64.4%)、南区(63.2%)となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	20.8%	43.3%	22.3%	10.5%	1.4%	1.7%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	38.9%	44.4%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%
20歳代	85	22.4%	40.0%	21.2%	14.1%	2.4%	0.0%
30歳代	109	14.7%	43.1%	30.3%	9.2%	0.9%	1.8%
40歳代	166	20.5%	42.2%	26.5%	9.6%	1.2%	0.0%
50歳代	154	23.4%	41.6%	22.7%	9.7%	1.3%	1.3%
60歳代	182	17.0%	47.3%	22.5%	9.3%	1.6%	2.2%
70歳代	195	23.1%	41.5%	20.5%	13.3%	0.5%	1.0%
80歳以上	84	25.0%	48.8%	14.3%	4.8%	0.0%	7.1%
<b>職業別</b>							
会社員	421	17.6%	43.0%	25.4%	12.6%	0.5%	1.0%
自営業	65	12.3%	44.6%	26.2%	10.8%	4.6%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	68	22.1%	47.1%	22.1%	5.9%	2.9%	0.0%
学生	27	37.0%	40.7%	18.5%	0.0%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	25.7%	37.2%	21.6%	10.8%	1.4%	3.4%
無職	227	23.3%	48.0%	17.2%	8.4%	0.9%	2.2%
その他	26	26.9%	42.3%	26.9%	3.8%	0.0%	0.0%
<b>地区別</b>							
中央区	236	19.9%	43.2%	23.7%	10.6%	0.8%	1.7%
東区	264	20.8%	43.6%	23.9%	8.3%	1.9%	1.5%
西区	121	29.8%	45.5%	12.4%	8.3%	1.7%	2.5%
南区	171	19.3%	43.9%	24.0%	11.7%	0.0%	1.2%
北区	195	18.5%	41.5%	23.6%	13.3%	1.5%	1.5%

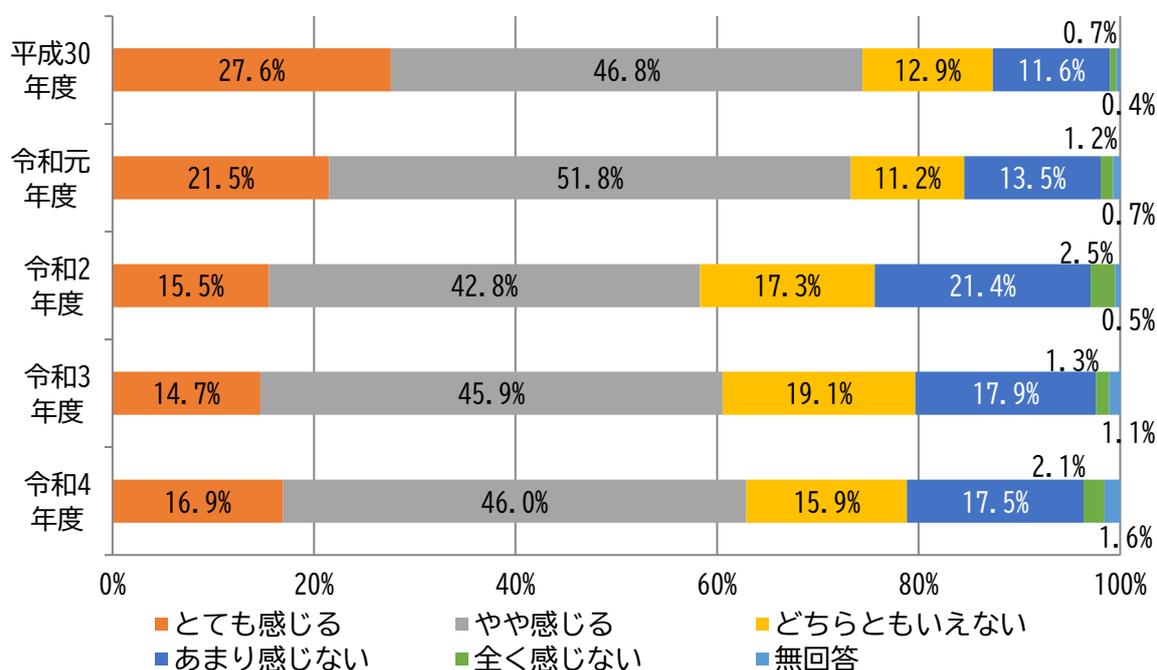
### 問3. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

令和2年度より「熊本市の街なかに緑が多いと感じますか」との設問を修正したものである。

「やや感じる」が46.0%と最も高く、次いで「あまり感じない」が17.5%、「とても感じる」が16.9%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は62.9%で、前回調査と比較すると2.3ポイント増加している。

設問が修正されているので単純比較はできないが、「とても感じる」または「やや感じる」と回答した割合は昨年と比べると増加している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が71.8%、次いで50歳代(71.5%)、10歳代(66.6%)となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が88.8%と最も高く、次いでその他(69.2%)、主婦・主夫(65.6%)となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は中央区が66.1%と最も高く、次いで南区(65.5%)、西区(63.6%)となっている。

■属性別回答

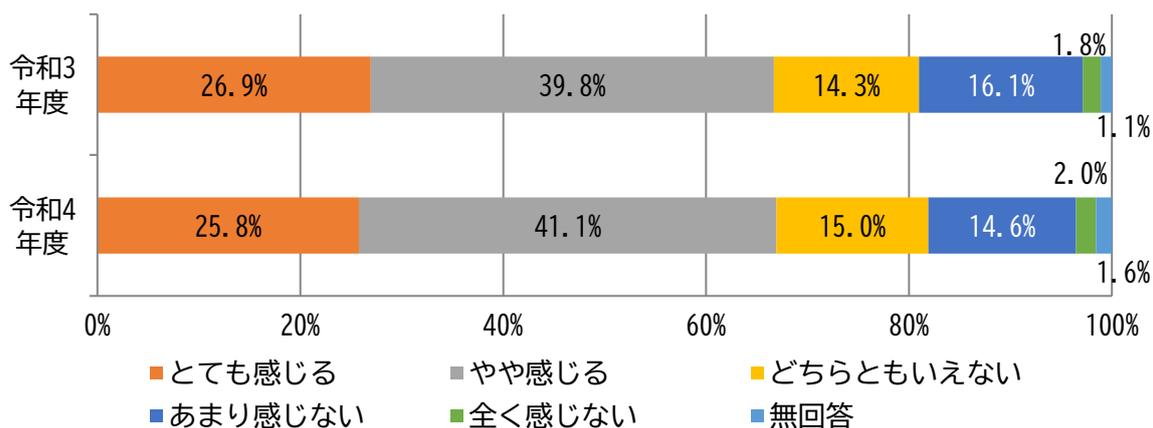
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	16.9%	46.0%	15.9%	17.5%	2.1%	1.6%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳代	85	8.2%	36.5%	27.1%	25.9%	2.4%	0.0%
30歳代	109	9.2%	46.8%	13.8%	24.8%	2.8%	2.8%
40歳代	166	15.7%	48.2%	16.9%	17.5%	1.8%	0.0%
50歳代	154	26.0%	45.5%	14.9%	11.0%	1.3%	1.3%
60歳代	182	12.6%	46.2%	14.8%	21.4%	3.3%	1.6%
70歳代	195	22.1%	49.7%	10.8%	14.9%	2.1%	0.5%
80歳以上	84	19.0%	45.2%	17.9%	10.7%	0.0%	7.1%
<b>職業別</b>							
会社員	421	16.9%	46.1%	16.6%	17.6%	1.7%	1.2%
自営業	65	12.3%	43.1%	7.7%	27.7%	7.7%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	68	20.6%	39.7%	20.6%	17.6%	1.5%	0.0%
学生	27	14.8%	44.4%	22.2%	18.5%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	17.6%	48.0%	11.5%	17.6%	2.7%	2.7%
無職	227	17.2%	48.0%	16.3%	15.4%	1.3%	1.8%
その他	26	7.7%	61.5%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
<b>地区別</b>							
中央区	236	17.8%	48.3%	13.1%	16.1%	2.5%	2.1%
東区	264	15.2%	46.6%	15.2%	20.8%	1.5%	0.8%
西区	121	22.3%	41.3%	18.2%	14.0%	1.7%	2.5%
南区	171	15.2%	50.3%	13.5%	18.7%	1.2%	1.2%
北区	195	15.9%	43.1%	20.5%	16.4%	2.6%	1.5%

#### 問4. お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

令和3年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「やや感じる」が41.1%と最も高く、次いで「とても感じる」が25.8%、「あまり感じない」が15.0%となっている。

「とても感じる」、「やや感じる」を合わせた割合は66.9%で、前回の調査と比較すると0.2ポイント増加している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は70歳代が72.8%と最も高く、次いで40歳代（72.3%）、10歳代（72.2%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで学生（74.0%）、主婦・主夫（69.6%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は北区が75.4%と最も高く、次いで東区（67.8%）、西区（67.7%）となっている。

■属性別回答

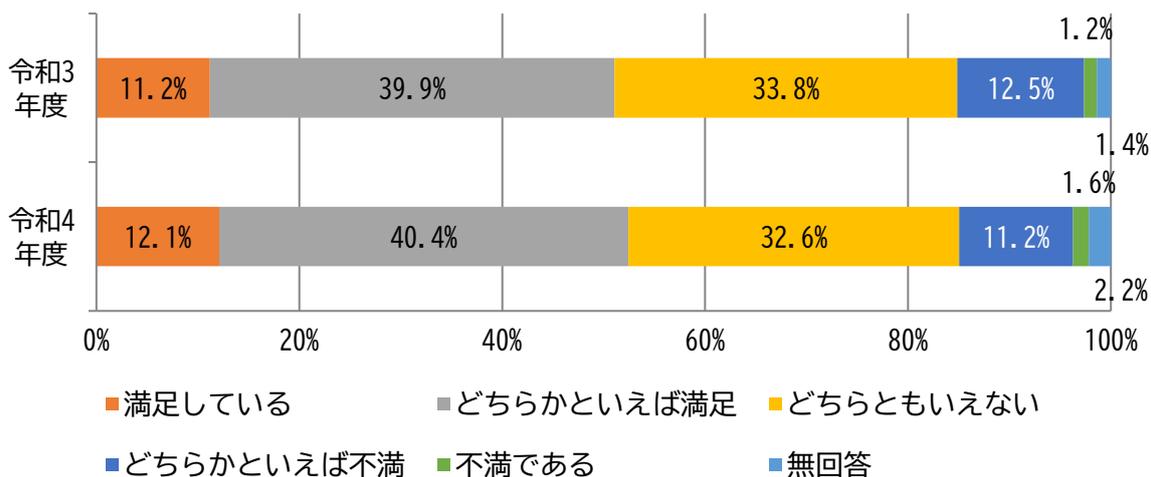
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	25.8%	41.1%	15.0%	14.6%	2.0%	1.6%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	27.8%	44.4%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳代	85	22.4%	42.4%	16.5%	15.3%	3.5%	0.0%
30歳代	109	20.2%	32.1%	23.9%	18.3%	3.7%	1.8%
40歳代	166	23.5%	48.8%	12.0%	14.5%	1.2%	0.0%
50歳代	154	31.8%	39.0%	14.3%	12.3%	1.3%	1.3%
60歳代	182	23.6%	40.7%	12.6%	17.6%	3.3%	2.2%
70歳代	195	29.2%	43.6%	14.4%	11.8%	0.5%	0.5%
80歳以上	84	29.8%	34.5%	15.5%	13.1%	0.0%	7.1%
<b>職業別</b>							
会社員	421	25.4%	43.0%	14.0%	13.8%	2.6%	1.2%
自営業	65	24.6%	43.1%	7.7%	18.5%	4.6%	1.5%
農林漁業	9	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
公務員	68	27.9%	36.8%	13.2%	22.1%	0.0%	0.0%
学生	27	37.0%	37.0%	18.5%	7.4%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	24.3%	45.3%	14.2%	12.2%	1.4%	2.7%
無職	227	25.6%	38.8%	19.8%	13.2%	0.9%	1.8%
その他	26	19.2%	38.5%	11.5%	30.8%	0.0%	0.0%
<b>地区別</b>							
中央区	236	20.8%	40.7%	17.8%	16.1%	2.5%	2.1%
東区	264	20.1%	47.7%	13.3%	16.3%	1.5%	1.1%
西区	121	38.8%	28.9%	17.4%	9.9%	2.5%	2.5%
南区	171	20.5%	44.4%	13.5%	18.1%	2.3%	1.2%
北区	195	36.4%	39.0%	13.3%	9.7%	0.5%	1.0%

### 問5. 中心市街地の「緑の質」に満足していますか。(1つだけ)

令和3年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「どちらかといえば満足」が40.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.6%、「満足している」が12.1%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は52.5%で、前回の調査と比較すると1.4ポイント増加している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は50歳代が59.1%と最も高く、次いで70歳代が(58.0%)、10歳代(55.6%)となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで無職(55.5%)、公務員(54.4%)となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は中央区が54.2%と最も高く、次いで南区(52.6%)、東区(52.3%)となっている。

■属性別回答

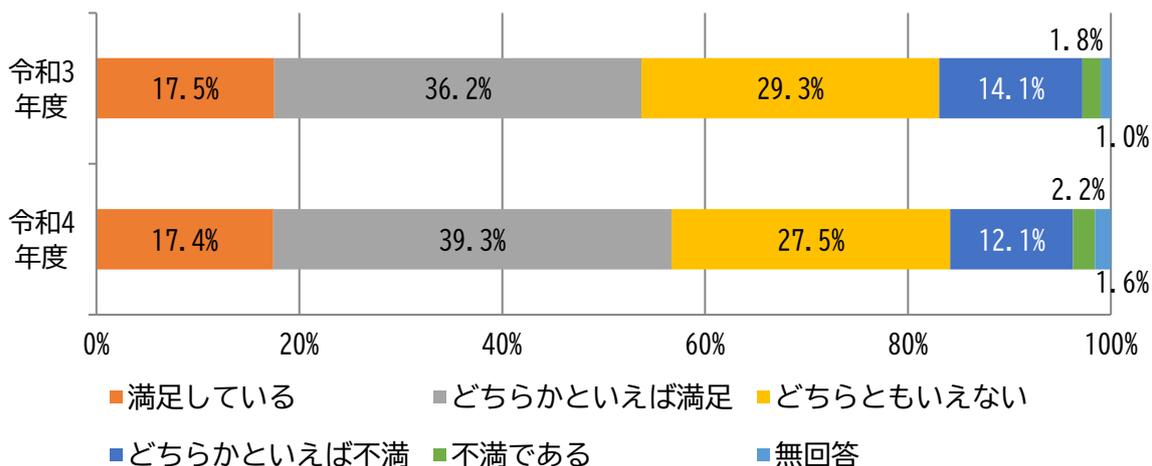
	合計	満足している	どちらかといえば満足	どちらかともいえない	どちらかといえば不満	不満である	無回答
全体	1,016	12.1%	40.4%	32.6%	11.2%	1.6%	2.2%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	27.8%	27.8%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳代	85	9.4%	37.6%	41.2%	7.1%	4.7%	0.0%
30歳代	109	4.6%	42.2%	35.8%	11.9%	2.8%	2.8%
40歳代	166	16.3%	36.7%	33.1%	11.4%	2.4%	0.0%
50歳代	154	18.8%	40.3%	29.9%	8.4%	0.6%	1.9%
60歳代	182	6.6%	40.1%	33.5%	16.5%	0.5%	2.7%
70歳代	195	11.8%	46.2%	28.2%	11.3%	1.0%	1.5%
80歳以上	84	16.7%	36.9%	31.0%	7.1%	0.0%	8.3%
<b>職業別</b>							
会社員	421	10.5%	43.0%	34.2%	9.3%	1.4%	1.7%
自営業	65	9.2%	40.0%	24.6%	20.0%	4.6%	1.5%
農林漁業	9	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	68	14.7%	39.7%	32.4%	13.2%	0.0%	0.0%
学生	27	29.6%	18.5%	37.0%	11.1%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	14.9%	31.8%	36.5%	12.2%	1.4%	3.4%
無職	227	11.0%	44.5%	28.2%	12.3%	0.9%	3.1%
その他	26	19.2%	30.8%	42.3%	3.8%	3.8%	0.0%
<b>地区別</b>							
中央区	236	12.7%	41.5%	33.1%	9.7%	0.8%	2.1%
東区	264	10.6%	41.7%	31.1%	14.4%	0.4%	1.9%
西区	121	16.5%	35.5%	32.2%	11.6%	1.7%	2.5%
南区	171	10.5%	42.1%	31.6%	12.3%	1.2%	2.3%
北区	195	13.3%	38.5%	34.9%	8.2%	3.6%	1.5%

## 問6. お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1つだけ)

令和3年度より「緑の基本計画」の検証指標として新規で設問を追加したものである。

「どちらかといえば満足」が39.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.5%、「満足している」が17.4%となっている。

「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は56.7%で、前回の調査と比較すると3.0ポイント増加している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は10歳代が66.6%と最も高く、次いで70歳代（62.6%）、40歳代（61.5%）となっている。

職業別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで自営業（61.5%）、学生（59.2%）となっている。

地区別：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合は北区が60.0%と最も高く、次いで東区（58.7%）、西区（57.9%）となっている。

■属性別回答

	合計	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である	無回答
全体	1,016	17.4%	39.3%	27.5%	12.1%	2.2%	1.6%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳代	85	17.6%	38.8%	24.7%	14.1%	4.7%	0.0%
30歳代	109	12.8%	30.3%	36.7%	14.7%	3.7%	1.8%
40歳代	166	17.5%	44.0%	27.1%	9.0%	2.4%	0.0%
50歳代	154	19.5%	37.7%	31.8%	8.4%	1.3%	1.3%
60歳代	182	12.6%	40.1%	26.9%	15.9%	2.2%	2.2%
70歳代	195	20.0%	42.6%	23.1%	11.8%	1.5%	1.0%
80歳以上	84	22.6%	34.5%	23.8%	13.1%	0.0%	6.0%
<b>職業別</b>							
会社員	421	15.0%	39.9%	31.6%	10.2%	2.4%	1.0%
自営業	65	21.5%	40.0%	16.9%	13.8%	6.2%	1.5%
農林漁業	9	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	68	19.1%	39.7%	29.4%	11.8%	0.0%	0.0%
学生	27	37.0%	22.2%	25.9%	11.1%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	15.5%	41.2%	23.6%	14.2%	2.0%	3.4%
無職	227	18.9%	40.1%	24.7%	13.2%	1.3%	1.8%
その他	26	15.4%	26.9%	30.8%	26.9%	0.0%	0.0%
<b>地区別</b>							
中央区	236	14.4%	39.8%	30.5%	11.0%	2.5%	1.7%
東区	264	16.7%	42.0%	24.2%	14.8%	1.5%	0.8%
西区	121	20.7%	37.2%	26.4%	9.9%	3.3%	2.5%
南区	171	14.0%	39.8%	29.8%	13.5%	1.2%	1.8%
北区	195	22.6%	37.4%	25.6%	10.8%	2.6%	1.0%

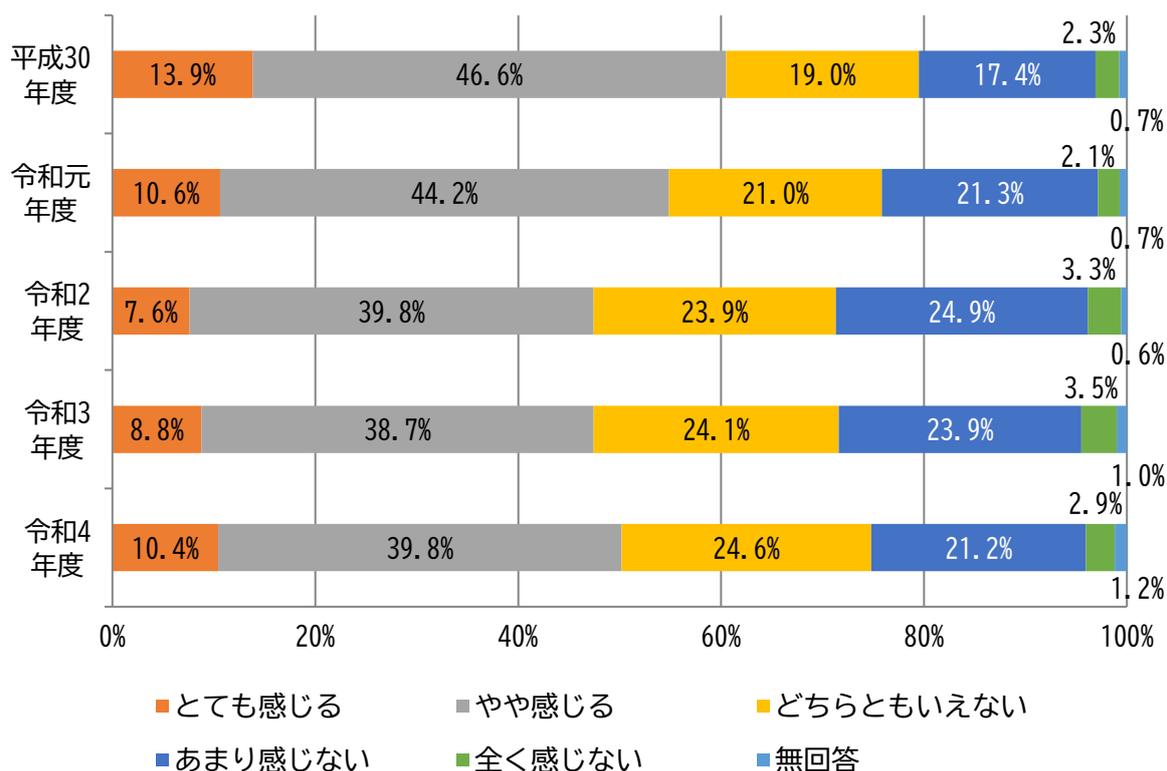
問7. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。

（1つだけ）

「やや感じる」が39.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.6%、「あまり感じない」が21.2%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は50.2%で、前回調査と比較すると2.7ポイント増加している。

前回調査と比較すると、「とても感じる」と「やや感じる」、「どちらともいえない」は増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が66.6%と最も高く、次いで20歳代（61.1%）、80歳以上（57.2%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が77.7%と最も高く、次いで学生（59.2%）、その他（57.7%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が54.3%と最も高く、次いで西区（53.7%）、中央区（50.5%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	10.4%	39.8%	24.6%	21.2%	2.9%	1.2%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	44.4%	22.2%	27.8%	5.6%	0.0%	0.0%
20歳代	85	17.6%	43.5%	24.7%	11.8%	2.4%	0.0%
30歳代	109	10.1%	39.4%	26.6%	20.2%	1.8%	1.8%
40歳代	166	9.0%	38.6%	25.3%	24.1%	3.0%	0.0%
50歳代	154	9.7%	45.5%	24.7%	15.6%	3.9%	0.6%
60歳代	182	7.7%	35.2%	23.6%	28.0%	4.4%	1.1%
70歳代	195	7.7%	36.4%	25.6%	26.2%	1.5%	2.6%
80歳以上	84	14.3%	42.9%	22.6%	16.7%	1.2%	2.4%
<b>職業別</b>							
会社員	421	7.8%	43.7%	27.1%	19.0%	1.9%	0.5%
自営業	65	7.7%	38.5%	20.0%	23.1%	9.2%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
公務員	68	13.2%	38.2%	26.5%	20.6%	1.5%	0.0%
学生	27	40.7%	18.5%	25.9%	14.8%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	8.8%	31.1%	27.7%	25.7%	4.1%	2.7%
無職	227	11.9%	37.9%	22.9%	23.3%	2.2%	1.8%
その他	26	11.5%	46.2%	7.7%	26.9%	3.8%	3.8%
<b>地区別</b>							
中央区	236	8.1%	42.4%	22.5%	21.6%	5.1%	0.4%
東区	264	9.8%	38.6%	28.0%	20.8%	0.8%	1.9%
西区	121	14.9%	38.8%	24.0%	19.8%	0.8%	1.7%
南区	171	9.9%	44.4%	21.1%	21.1%	2.3%	1.2%
北区	195	11.8%	32.8%	28.2%	22.1%	4.1%	1.0%

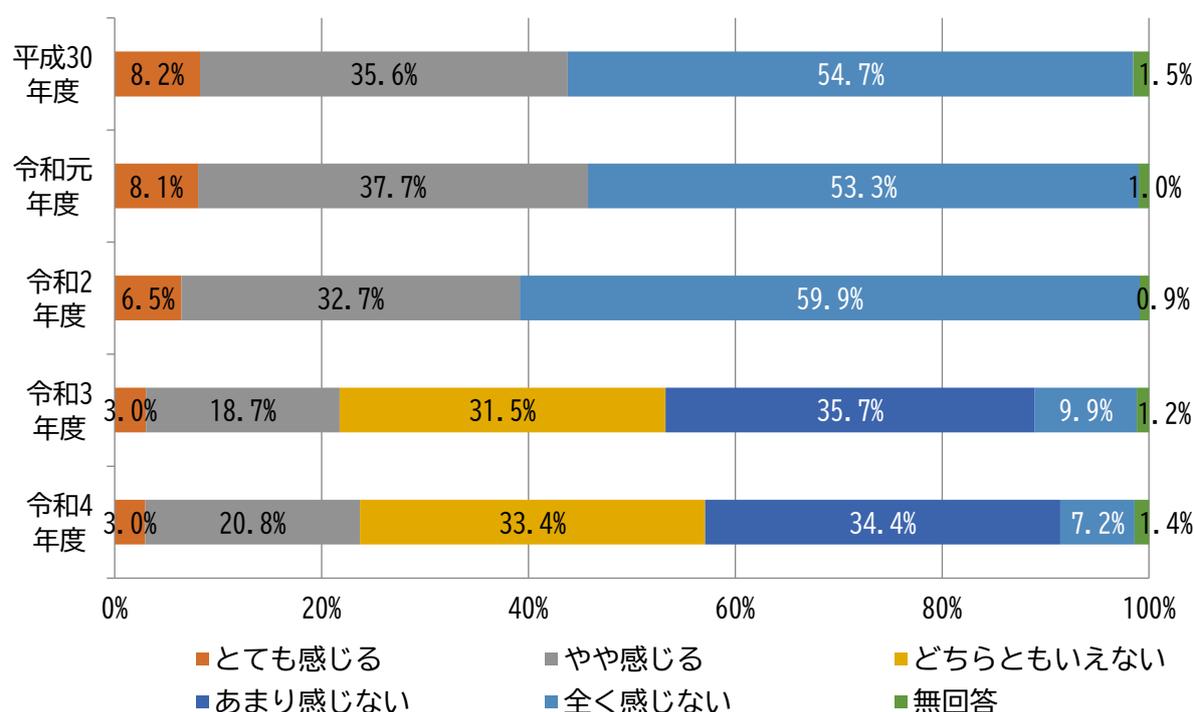
問8. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。

（1つだけ）

令和4年度より、選択肢を「感じる」、「やや感じる」、「感じない」から、「とても感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」に変更したものである。

「あまり感じない」が34.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.4%、「やや感じる」が20.8%となっている。

「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は23.8%で、前回の調査と比較すると2.1ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が38.9%と最も高く、次いで80歳以上（34.6%）、50歳代（29.9%）となっている。

職業別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は学生が37.0%と最も高く、次いで農林漁業（33.3%）、その他（30.7%）となっている。

地区別：「とても感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は南区が25.7%と最も高く、次いで西区（25.6%）、北区（23.1%）となっている。

■属性別回答

	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	3.0%	20.8%	33.4%	34.4%	7.2%	1.4%
<b>年齢別</b>							
10 歳代	18	5.6%	33.3%	16.7%	38.9%	5.6%	0.0%
20 歳代	85	2.4%	17.6%	31.8%	35.3%	12.9%	0.0%
30 歳代	109	2.8%	14.7%	36.7%	30.3%	14.7%	0.9%
40 歳代	166	3.0%	16.9%	34.3%	38.0%	7.8%	0.0%
50 歳代	154	6.5%	23.4%	39.0%	27.3%	3.9%	0.0%
60 歳代	182	1.6%	20.3%	36.8%	33.5%	6.0%	1.6%
70 歳代	195	0.5%	21.5%	27.2%	44.1%	4.1%	2.6%
80 歳以上	84	3.6%	31.0%	32.1%	23.8%	6.0%	3.6%
<b>職業別</b>							
会社員	421	3.6%	17.6%	35.9%	34.7%	7.8%	0.5%
自営業	65	0.0%	20.0%	27.7%	38.5%	10.8%	3.1%
農林漁業	9	0.0%	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
公務員	68	5.9%	22.1%	38.2%	26.5%	7.4%	0.0%
学生	27	7.4%	29.6%	25.9%	25.9%	11.1%	0.0%
主婦・主夫	148	0.7%	19.6%	38.5%	34.5%	5.4%	1.4%
無職	227	2.2%	24.2%	29.5%	35.7%	6.2%	2.2%
その他	26	3.8%	26.9%	15.4%	46.2%	3.8%	3.8%
<b>地区別</b>							
中央区	236	3.8%	19.1%	32.2%	33.9%	10.2%	0.8%
東区	264	3.4%	17.4%	33.0%	39.4%	5.3%	1.5%
西区	121	4.1%	21.5%	38.0%	28.9%	5.8%	1.7%
南区	171	2.3%	23.4%	34.5%	32.2%	5.8%	1.8%
北区	195	0.0%	23.1%	33.3%	34.9%	8.2%	0.5%

問9. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

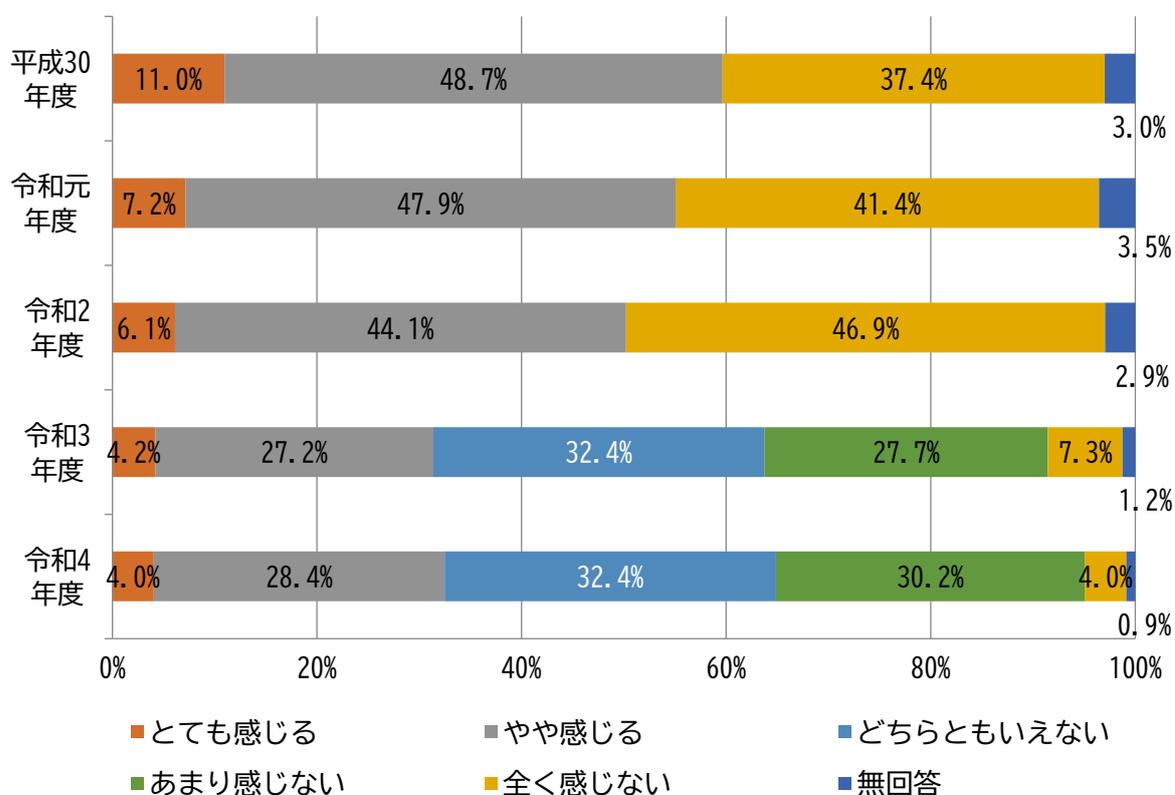
(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

令和3年度より、選択肢を「感じる」、「やや感じる」、「感じない」から、「とても感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「全く感じない」に変更したものである。

「どちらともいえない」が32.4%と最も高く、次いで「あまり感じない」が30.2%、「やや感じる」が28.4%となっている。

「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた割合は34.2%で、前回の調査と比較すると0.8ポイント減少している。

令和2年(2021年)以前とは、選択肢を修正されているので単純比較はできない。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は10歳代が55.6%と最も高く、次いで80歳以上(52.3%)、50歳代(36.4%)となっている。

職業別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は農林漁業が77.8%と最も高く、次いで学生(40.7%)、無職(39.2%)となっている。

地区別：「感じる」と「やや感じる」を合わせた割合は西区が37.2%と最も高く、次いで南区(35.1%)、北区(33.3%)となっている。

■属性別回答

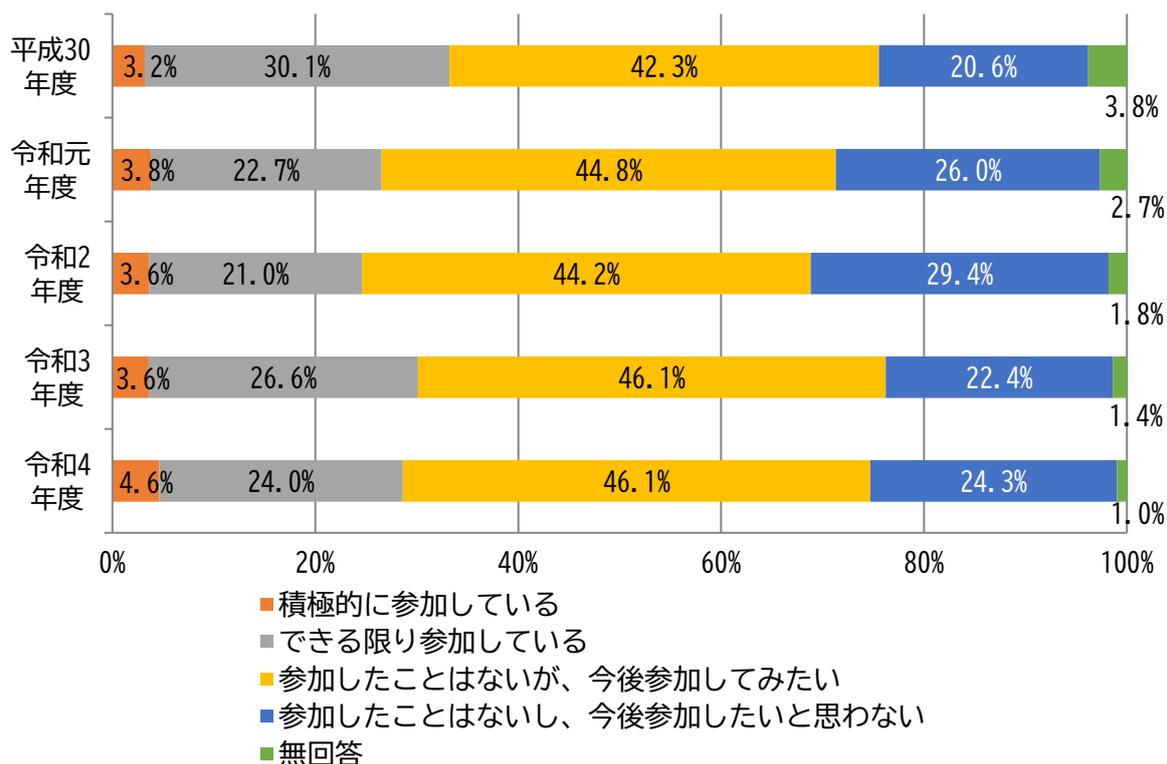
	合計	とても感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	全く感じない	無回答
全体	1,016	4.0%	28.4%	32.4%	30.2%	4.0%	0.9%
<b>年齢別</b>							
10歳代	18	16.7%	38.9%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%
20歳代	85	3.5%	28.2%	32.9%	29.4%	5.9%	0.0%
30歳代	109	0.9%	17.4%	39.4%	35.8%	4.6%	1.8%
40歳代	166	3.0%	25.3%	34.3%	31.3%	6.0%	0.0%
50歳代	154	5.2%	31.2%	32.5%	27.3%	3.9%	0.0%
60歳代	182	2.7%	25.8%	35.2%	30.8%	4.4%	1.1%
70歳代	195	4.6%	30.8%	29.2%	32.8%	2.1%	0.5%
80歳以上	84	7.1%	45.2%	21.4%	21.4%	1.2%	3.6%
<b>職業別</b>							
会社員	421	3.3%	25.2%	35.2%	32.1%	4.0%	0.2%
自営業	65	0.0%	29.2%	23.1%	38.5%	7.7%	1.5%
農林漁業	9	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
公務員	68	2.9%	26.5%	36.8%	26.5%	5.9%	1.5%
学生	27	14.8%	25.9%	29.6%	22.2%	7.4%	0.0%
主婦・主夫	148	2.7%	30.4%	33.1%	30.4%	2.7%	0.7%
無職	227	5.3%	33.9%	28.6%	28.6%	2.2%	1.3%
その他	26	7.7%	23.1%	23.1%	34.6%	7.7%	3.8%
<b>地区別</b>							
中央区	236	3.8%	28.0%	32.2%	28.8%	6.4%	0.8%
東区	264	4.9%	23.5%	34.5%	34.8%	1.1%	1.1%
西区	121	5.0%	32.2%	34.7%	24.8%	2.5%	0.8%
南区	171	4.7%	30.4%	29.2%	31.0%	4.1%	0.6%
北区	195	1.5%	31.8%	30.8%	29.7%	5.6%	0.5%

問10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

「参加したことはないが、今後参加してみたい」が46.1%と最も高く、次いで「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」が24.3%、「できる限り参加している」が24.0%となっている。

前回の調査と比較すると、「積極的に参加している」は1.0ポイント増加、「できる限り参加している」は2.6ポイント減少している。

「積極的に参加している」、「できる限り参加している」を合わせた割合は28.6%で、前回と比較すると1.6ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は80歳以上が47.6%と最も高く、次いで、70歳代(46.2%)、40歳代(27.1%)となっている。

また、「参加したことはないし、今後参加したいと思わない」は10歳代が94.4%と最も高く、次いで20歳代(88.2%)、30歳代(83.5%)となっている。

職業別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は農林漁業が77.8%と最も高く、次いで、自営業(46.1%)、無職(37.5%)となっている。

地区別：「積極的に参加している」と「できる限り参加している」を合わせた割合は西区が40.5%と最も高く、次いで、南区(36.8%)、北区(31.3%)となっている。

■属性別回答

	合計	積極的に参加している	できる限り参加している	参加したことはないが、今後参加してみたい	参加したことはないし、今後参加したいと思わない	無回答
全体	1,016	4.6%	24.0%	46.1%	24.3%	1.0%
<b>年齢別</b>						
10歳代	18	0.0%	5.6%	61.1%	33.3%	0.0%
20歳代	85	2.4%	9.4%	55.3%	32.9%	0.0%
30歳代	109	0.0%	15.6%	47.7%	35.8%	0.9%
40歳代	166	4.8%	22.3%	45.2%	27.7%	0.0%
50歳代	154	0.6%	19.5%	53.9%	25.3%	0.6%
60歳代	182	4.4%	22.0%	52.2%	19.2%	2.2%
70歳代	195	6.7%	39.5%	36.9%	15.9%	1.0%
80歳以上	84	14.3%	33.3%	29.8%	20.2%	2.4%
<b>職業別</b>						
会社員	421	2.9%	14.7%	52.3%	29.7%	0.5%
自営業	65	1.5%	44.6%	41.5%	9.2%	3.1%
農林漁業	9	22.2%	55.6%	11.1%	11.1%	0.0%
公務員	68	2.9%	25.0%	54.4%	17.6%	0.0%
学生	27	7.4%	7.4%	55.6%	29.6%	0.0%
主婦・主夫	148	4.1%	31.8%	42.6%	20.3%	1.4%
無職	227	7.5%	30.0%	37.4%	23.8%	1.3%
その他	26	7.7%	26.9%	42.3%	19.2%	3.8%
<b>地区別</b>						
中央区	236	2.1%	19.9%	49.6%	26.7%	1.7%
東区	264	3.0%	18.9%	51.9%	25.4%	0.8%
西区	121	7.4%	33.1%	37.2%	21.5%	0.8%
南区	171	7.6%	29.2%	38.0%	24.0%	1.2%
北区	195	5.1%	26.2%	48.2%	20.0%	0.5%

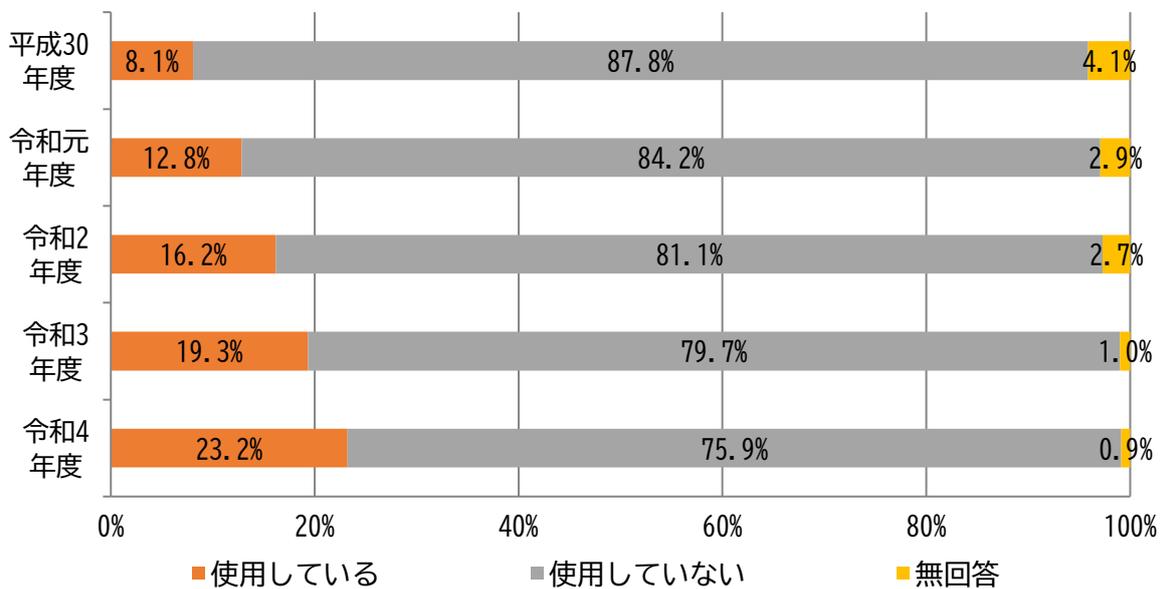
■「ごみ問題への関心と地域におけるごみ出しマナー」について

問11. スマートフォン・タブレット向けの紙のごみカレンダーをもっと便利にした「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1つだけ)

令和3年度より「スマートフォン・タブレット向けの「熊本市ごみ分別アプリ」を知っていますか」との設問を修正したものである。

「使用していない」が75.9%と最も高く、次いで「使用している」が23.2%、「無回答」が0.9%となっている。

設問が修正されているので単純比較はできないが、「使用している」と回答した割合は過去5年間で最も高い割合となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「使用していない」は10歳代が88.9%と最も高く、次いで70歳代（85.1%）、60歳代（83.0%）となっている。

職業別：「使用していない」は無職が83.3%と最も高く、次いで自営業（83.1%）、主婦・主夫（82.4%）となっている。

地区別：「使用していない」は中央区が78.4%と最も高く、次いで南区（77.2%）、東区（76.5%）となっている。

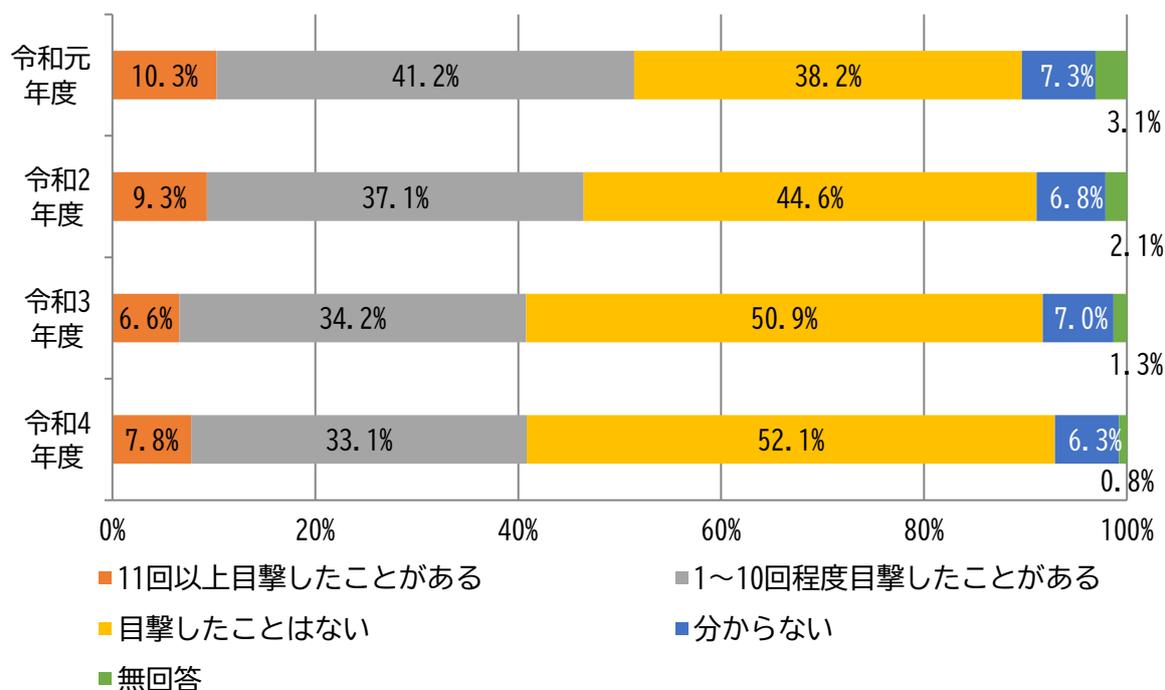
■属性別回答

	合計	使用している	使用していない	無回答
全体	1,016	23.2%	75.9%	0.9%
<b>年齢別</b>				
10歳代	18	11.1%	88.9%	0.0%
20歳代	85	35.3%	64.7%	0.0%
30歳代	109	33.0%	65.1%	1.8%
40歳代	166	34.3%	65.7%	0.0%
50歳代	154	22.1%	77.9%	0.0%
60歳代	182	16.5%	83.0%	0.5%
70歳代	195	13.3%	85.1%	1.5%
80歳以上	84	20.2%	77.4%	2.4%
<b>職業別</b>				
会社員	421	28.7%	70.8%	0.5%
自営業	65	16.9%	83.1%	0.0%
農林漁業	9	55.6%	44.4%	0.0%
公務員	68	35.3%	64.7%	0.0%
学生	27	25.9%	74.1%	0.0%
主婦・主夫	148	16.9%	82.4%	0.7%
無職	227	15.0%	83.3%	1.8%
その他	26	19.2%	76.9%	3.8%
<b>地区別</b>				
中央区	236	21.6%	78.4%	0.0%
東区	264	22.3%	76.5%	1.1%
西区	121	29.8%	69.4%	0.8%
南区	171	21.6%	77.2%	1.2%
北区	195	24.6%	74.4%	1.0%

問12. この1年間でごみステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1つだけ)

「目撃したことはない」が52.1%で最も高く、次いで「1～10回程度目撃したことがある」が33.1%、「11回以上目撃したことがある」が7.8%となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「11回以上目撃したことがある」は50歳代が14.3%と最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」は70歳代が37.4%、「目撃したことはない」は10歳代が72.2%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合は50歳代が50%以上となっているのに対し、それ以外の年代は半数を下回っている。

職業別：「11回以上目撃したことがある」と「1～10回程度目撃したことがある」は会社員が44.9%と最も高く、「目撃したことはない」は学生が59.3%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合はいずれの職業でも半数を下回っている。

地区別：「11回以上目撃したことがある」は南区が9.9%と最も高く、「1～10回程度目撃したことがある」は東区が39.4%、「目撃したことはない」は西区が60.3%と最も高くなっている。

「11回以上目撃したことがある」、「1～10回程度目撃したことがある」を合わせた割合はいずれの地区でも半数を下回っている。

■属性別回答

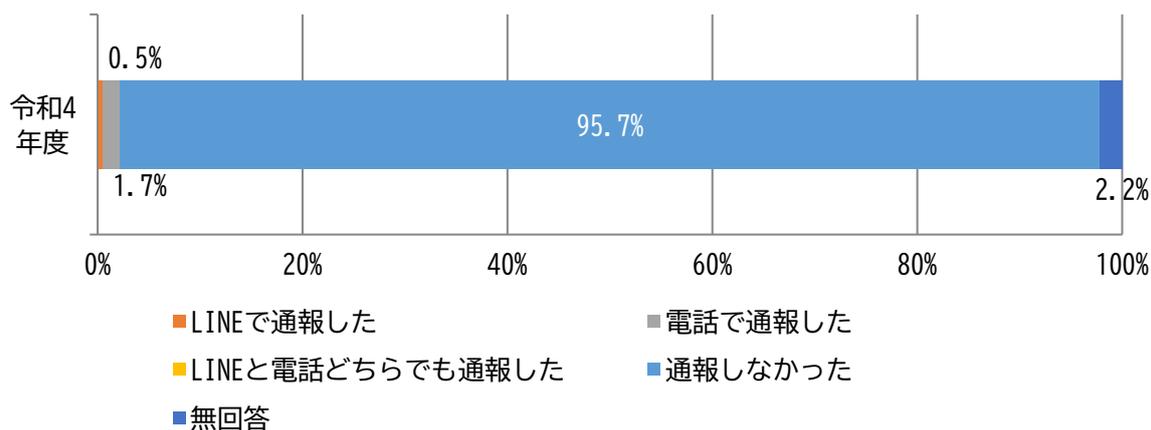
	合計	11 回以上 目撃した ことがある	1~10 回程度 目撃した ことがある	目撃 したことは ない	分から ない	無回 答
全体	1,016	7.8%	33.1%	52.1%	6.3%	0.8%
<b>年齢別</b>						
10歳代	18	0.0%	11.1%	72.2%	16.7%	0.0%
20歳代	85	4.7%	17.6%	70.6%	7.1%	0.0%
30歳代	109	4.6%	25.7%	65.1%	3.7%	0.9%
40歳代	166	9.6%	37.3%	47.6%	5.4%	0.0%
50歳代	154	14.3%	37.0%	44.2%	4.5%	0.0%
60歳代	182	8.2%	34.1%	51.1%	4.4%	2.2%
70歳代	195	6.2%	37.4%	47.2%	8.2%	1.0%
80歳以上	84	3.6%	32.1%	52.4%	10.7%	1.2%
<b>職業別</b>						
会社員	421	9.0%	35.9%	50.1%	4.3%	0.7%
自営業	65	7.7%	32.3%	53.8%	6.2%	0.0%
農林漁業	9	0.0%	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%
公務員	68	5.9%	30.9%	58.8%	2.9%	1.5%
学生	27	7.4%	14.8%	59.3%	18.5%	0.0%
主婦・主夫	148	9.5%	31.1%	52.7%	5.4%	1.4%
無職	227	6.2%	31.3%	53.7%	8.4%	0.4%
その他	26	0.0%	30.8%	46.2%	19.2%	3.8%
<b>地区別</b>						
中央区	236	6.8%	34.3%	50.0%	8.5%	0.4%
東区	264	9.5%	39.4%	44.7%	5.3%	1.1%
西区	121	6.6%	27.3%	60.3%	4.1%	1.7%
南区	171	9.9%	30.4%	52.6%	6.4%	0.6%
北区	195	5.1%	30.3%	59.0%	5.1%	0.5%

問12-1. 問12で1、2を選択された方にお尋ねします。

目撃情報をLINEや電話で市に通報しましたか。(1つだけ)

令和4年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

問12. で「11回以上目撃したことがある」又は「1～10回程度目撃したことがある」と回答した415人については、「通報しなかった」が95.7%と最も高く、次いで「無回答」が2.2%、「電話で通報した」が1.7%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「電話で通報した」は70歳代が1.5%と最も高く、次いで60歳代（1.1%）、40歳代（0.6%）となっている。

「通報しなかった」は50歳代が50.6%と最も高く、次いで40歳代（46.4%）、70歳代（40.5%）となっている。

「LINEで通報した」は70歳代が0.5%となっている。

職業別：母数が少ない職種があるため、特段の分析を行わない。

地区別：「電話で通報した」は西区が1.7%と最も高く、次いで東区、南区（0.8%、0.8%）となっている。

「通報しなかった」東区が47.0%と最も高く、次いで中央区（39.8%）、南区（38.0%）となっている。

「LINEで通報した」は東区が0.8%となっている。

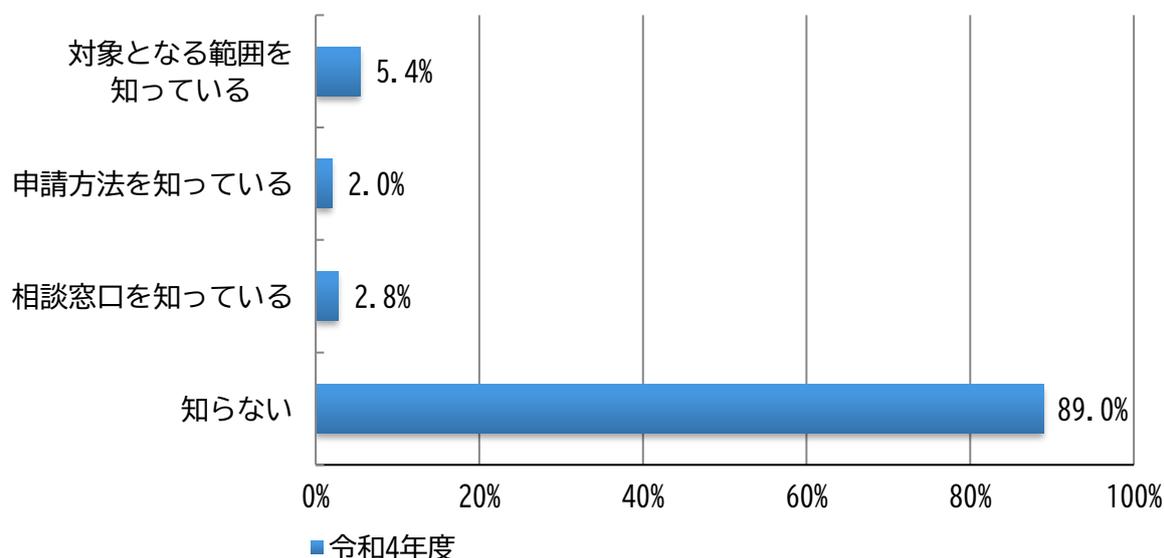
■属性別回答

	合計	LINEで通報した	電話で通報した	LINEと電話どちらでも通報した	通報しなかった	無回答
全体	415	0.5%	1.7%	0.0%	95.7%	2.2%
<b>年齢別</b>						
10歳代	18	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%
20歳代	85	0.0%	0.0%	0.0%	22.4%	77.6%
30歳代	109	0.0%	0.0%	0.0%	30.3%	69.7%
40歳代	166	0.0%	0.6%	0.0%	46.4%	53.0%
50歳代	154	0.0%	0.0%	0.0%	50.6%	49.4%
60歳代	182	0.0%	1.1%	0.0%	40.1%	58.8%
70歳代	195	0.5%	1.5%	0.0%	40.5%	57.4%
80歳以上	84	0.0%	0.0%	0.0%	32.1%	67.9%
<b>職業別</b>						
会社員	421	0.0%	0.7%	0.0%	43.9%	55.3%
自営業	65	0.0%	1.5%	0.0%	38.5%	60.0%
農林漁業	9	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%
公務員	68	0.0%	0.0%	0.0%	36.8%	63.2%
学生	27	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	77.8%
主婦・主夫	148	0.7%	0.0%	0.0%	37.8%	61.5%
無職	227	0.0%	0.9%	0.0%	35.2%	63.9%
その他	26	0.0%	0.0%	0.0%	30.8%	69.2%
<b>地区別</b>						
中央区	236	0.0%	0.0%	0.0%	39.8%	60.2%
東区	264	0.8%	0.8%	0.0%	47.0%	51.5%
西区	121	0.0%	1.7%	0.0%	32.2%	66.1%
南区	171	0.0%	0.6%	0.0%	38.0%	61.4%
北区	195	0.0%	0.5%	0.0%	34.4%	65.1%

問13. 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

令和4年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「知らない」が89.0%と最も高く、次いで「対象となる範囲を知っている」が5.4%、「相談窓口を知っている」が2.8%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「対象となる範囲を知っている」は80歳以上が15.5%と最も高く、70歳代(7.2%)、60歳代(6.0%)となっている。

「申請方法を知っている」は70歳代が2.6%、80歳以上(2.4%)、50歳代(1.9%)となっている。

「相談窓口を知っている」は40歳代が5.4%、70歳代が(3.6%)、60歳代(3.3%)となっている。

「知らない」は10歳代が100%と最も高く、20歳代(96.5%)、50歳代(93.5%)となっている。

職業別：「対象となる範囲を知っている」は無職が8.8%と最も高く、主婦・主夫(6.8%)、自営業(4.6%)、「申請方法を知っている」公務員は4.4%、自営業(3.1%)、無職(2.2%)、「相談窓口を知っている」は公務員が4.4%と最も高く、主婦・主夫(4.1%)、その他(3.8%)、「知らない」は農林漁業が100.0%と最も高く、会社員と学生(92.6%、92.6%)となっている。

地区別：「対象となる範囲を知っている」は北区が6.2%と最も高く、西区(5.8%)、南区(5.3%)、「申請方法を知っている」は北区が3.1%と最も高く、南区(2.3%)、西区(1.7%)、「相談窓口を知っている」北区が5.6%と最も高く、西区(3.3%)、南区(2.3%)、「知らない」は東区が91.7%、中央区91.5%、南区87.7%となっている。

■属性別回答

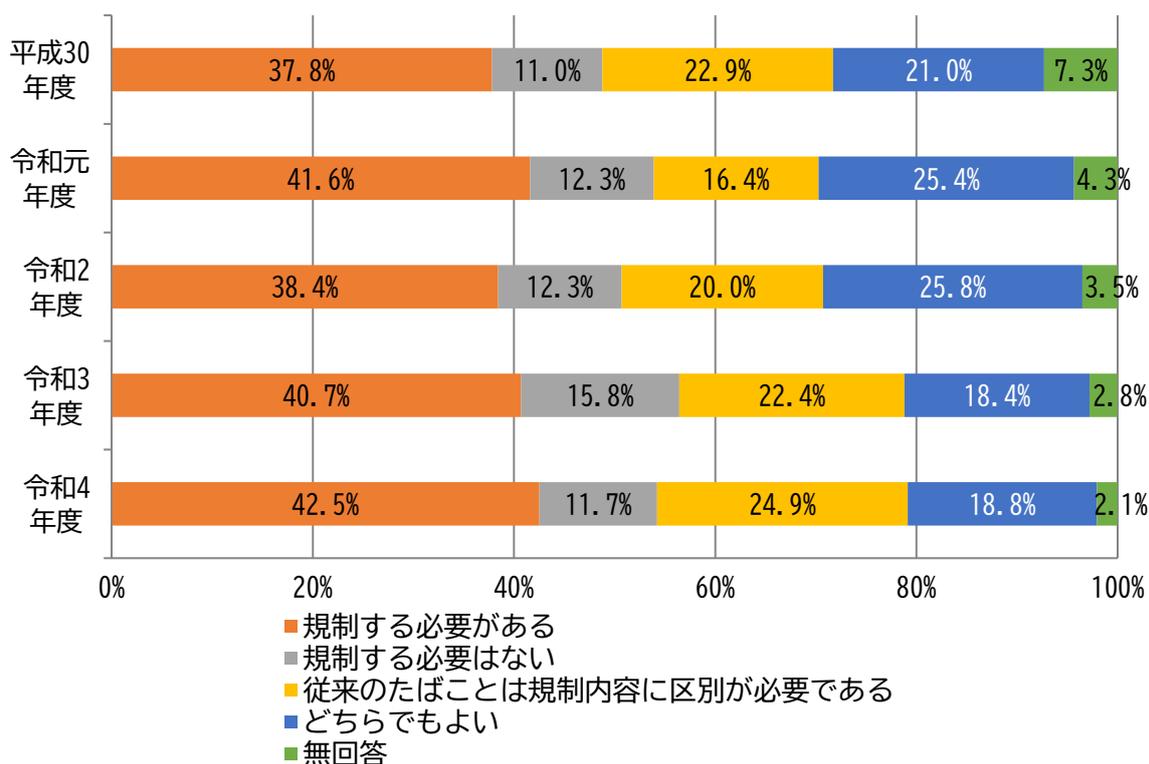
	合計	対象となる範囲を知っている	申請方法を知っている	相談窓口を知っている	知らない
全体	1,016	5.4%	2.0%	2.8%	89.0%
<b>年齢別</b>					
10 歳代	18	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20 歳代	85	2.4%	1.2%	0.0%	96.5%
30 歳代	109	1.8%	1.8%	1.8%	92.7%
40 歳代	166	3.6%	1.8%	5.4%	89.8%
50 歳代	154	1.9%	1.9%	1.9%	93.5%
60 歳代	182	6.0%	1.6%	3.3%	87.9%
70 歳代	195	7.2%	2.6%	3.6%	86.7%
80 歳以上	84	15.5%	2.4%	1.2%	76.2%
<b>職業別</b>					
会社員	421	3.1%	1.7%	2.1%	92.6%
自営業	65	4.6%	3.1%	1.5%	90.8%
農林漁業	9	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
公務員	68	4.4%	4.4%	4.4%	88.2%
学生	27	3.7%	0.0%	3.7%	92.6%
主婦・主夫	148	6.8%	1.4%	4.1%	86.5%
無職	227	8.8%	2.2%	3.1%	84.6%
その他	26	3.8%	0.0%	3.8%	88.5%
<b>地区別</b>					
中央区	236	3.8%	1.3%	1.7%	91.5%
東区	264	4.9%	1.5%	1.9%	91.7%
西区	121	5.8%	1.7%	3.3%	87.6%
南区	171	5.3%	2.3%	2.3%	87.7%
北区	195	6.2%	3.1%	5.6%	86.2%

## ■「受動喫煙防止」について

問14. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。（1つだけ）

「規制する必要がある」が42.5%と最も高く、次いで「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」が24.9%、「どちらでもよい」が18.8%となっている。

前回調査と比較すると、「規制する必要がある」と「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」はそれぞれ1.8ポイント、2.5ポイント増加し、「規制する必要はない」は4.1ポイント減少している。



### 【回答者の属性別に見た結果】

年代別：「規制する必要がある」は50歳代が48.7%と最も高く、「規制する必要はない」は10歳代が22.2%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は40歳代が28.3%、「どちらでもよい」は80歳以上が26.2%と最も高くなっている。

職業別：「規制する必要がある」は公務員が58.8%と最も高く、「規制する必要はない」は自営業が16.9%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」は主婦・主夫が31.1%、「どちらでもよい」はその他が34.6%と最も高くなっている。

地区別：「規制する必要がある」は西区が46.3%と最も高く、「規制する必要はない」は東区が13.3%、「従来のたばこは規制内容に区別が必要である」と「どちらでもよい」は南区が29.8%、20.5%となっている。

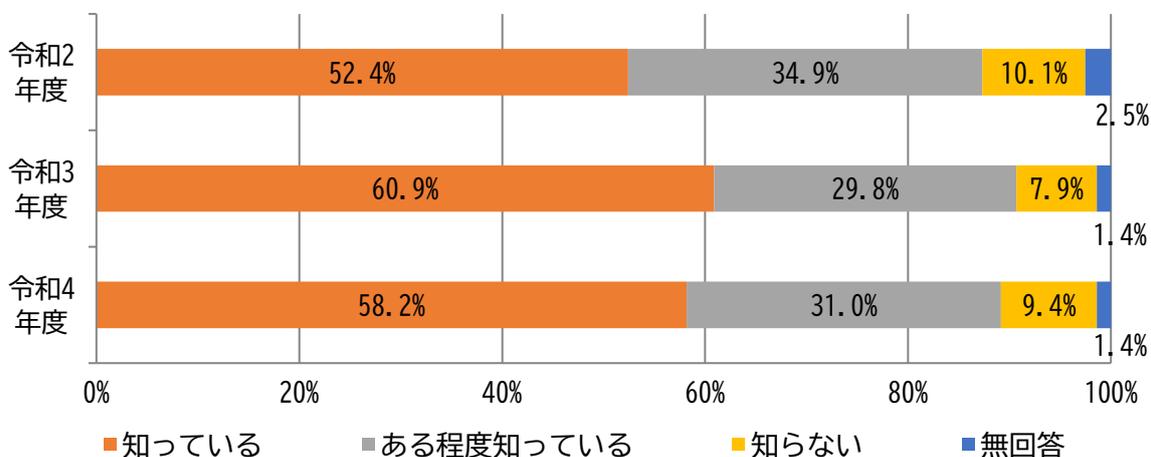
■属性別回答

	合計	規制する必要がある	規制する必要はない	従来のたばこは規制内容に区別が必要である	どちらでもよい	無回答
全体	1,016	42.5%	11.7%	24.9%	18.8%	2.1%
<b>年齢別</b>						
10歳代	18	38.9%	22.2%	22.2%	16.7%	0.0%
20歳代	85	34.1%	16.5%	23.5%	25.9%	0.0%
30歳代	109	47.7%	8.3%	25.7%	16.5%	1.8%
40歳代	166	42.2%	14.5%	28.3%	15.1%	0.0%
50歳代	154	48.7%	11.7%	25.3%	13.0%	1.3%
60歳代	182	46.7%	8.2%	27.5%	16.5%	1.1%
70歳代	195	39.5%	10.3%	23.1%	23.1%	4.1%
80歳以上	84	31.0%	15.5%	20.2%	26.2%	7.1%
<b>職業別</b>						
会社員	421	40.9%	11.6%	28.3%	18.3%	1.0%
自営業	65	36.9%	16.9%	26.2%	18.5%	1.5%
農林漁業	9	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
公務員	68	58.8%	14.7%	22.1%	4.4%	0.0%
学生	27	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
主婦・主夫	148	41.9%	6.8%	31.1%	18.2%	2.0%
無職	227	42.7%	14.1%	18.1%	21.1%	4.0%
その他	26	38.5%	3.8%	15.4%	34.6%	7.7%
<b>地区別</b>						
中央区	236	45.8%	11.0%	23.3%	19.1%	0.8%
東区	264	43.6%	13.3%	23.1%	18.2%	1.9%
西区	121	46.3%	11.6%	24.0%	14.9%	3.3%
南区	171	37.4%	9.4%	29.8%	20.5%	2.9%
北区	195	39.5%	12.8%	26.7%	19.0%	2.1%

## ■「プラスチック問題」について

### 問15. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

「知っている」が58.2%と最も高く、次いで「ある程度知っている」が31.0%、「知らない」が9.4%となっている。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は10歳代が100.0%と最も高く、次いで60歳代（93.4%）、70歳代（93.3%）となっている。

「知らない」は20歳代が29.4%と最も高く、次いで30歳代（16.5%）、80歳以上（10.7%）となっている。

職業別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は学生が96.3%と最も高く、次いで自営業（92.3%）、無職（91.2%）となっている。

「知らない」は公務員が11.8%と最も高く、次いでその他（11.5%）、農林漁業（11.1%）となっている。

地区別：「知っている」と「ある程度知っている」を合わせた割合は中央区が90.7%と最も高く、次いで西区（89.3%）、北区（89.2%）となっている。

「知らない」は東区が10.6%と最も高く、次いで南区（9.4%）北区（9.2%）となっている。

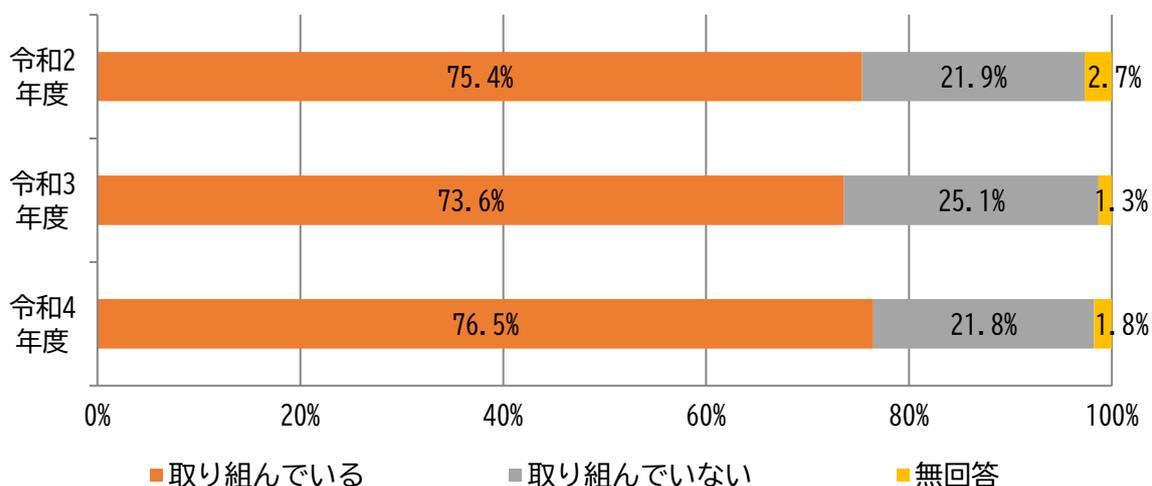
■属性別回答

	合計	知っている	ある程度知っている	知らない	無回答
全体	1,016	58.2%	31.0%	9.4%	1.4%
<b>年齢別</b>					
10歳代	18	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
20歳代	85	50.6%	20.0%	29.4%	0.0%
30歳代	109	42.2%	39.4%	16.5%	1.8%
40歳代	166	60.2%	32.5%	7.2%	0.0%
50歳代	154	63.0%	29.2%	6.5%	1.3%
60歳代	182	62.6%	30.8%	6.0%	0.5%
70歳代	195	60.0%	33.3%	4.6%	2.1%
80歳以上	84	58.3%	26.2%	10.7%	4.8%
<b>職業別</b>					
会社員	421	53.7%	34.4%	10.9%	1.0%
自営業	65	64.6%	27.7%	7.7%	0.0%
農林漁業	9	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
公務員	68	66.2%	22.1%	11.8%	0.0%
学生	27	81.5%	14.8%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	54.7%	34.5%	9.5%	1.4%
無職	227	61.7%	29.5%	7.0%	1.8%
その他	26	61.5%	19.2%	11.5%	7.7%
<b>地区別</b>					
中央区	236	59.3%	31.4%	8.5%	0.8%
東区	264	59.5%	29.2%	10.6%	0.8%
西区	121	61.2%	28.1%	9.1%	1.7%
南区	171	56.1%	32.2%	9.4%	2.3%
北区	195	55.9%	33.3%	9.2%	1.5%

問16. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

「取り組んでいる」が76.5%と最も高く、次いで「取り組んでいない」が21.8%となり、「取り組んでいる」が「取り組んでいない」を大きく上回る結果となった。

前回調査と比較すると、「取り組んでいる」は2.9ポイント増加し、「取り組んでいない」は3.3ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「取り組んでいる」は50歳代が81.2%と最も高く、次いで70歳代(80.5%)、60歳代(80.2%)となっている。

「取り組んでいない」は10歳代が38.9%と最も高く、次いで20歳代(34.1%)、40歳代(27.1%)となっている。

職業別：「取り組んでいる」は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで学生(85.2%)、主婦・主夫(83.8%)となっている。

「取り組んでいない」はその他が34.6%と最も高く、次いで会社員(25.9%)、自営業(24.6%)となっている。

地区別：「取り組んでいる」は中央区が79.7%と最も高く、次いで西区(79.3%)、北区(79.0%)となっている。

「取り組んでいない」は南区が26.3%と最も高く、次いで東区(23.5%)となっている。

■属性別回答

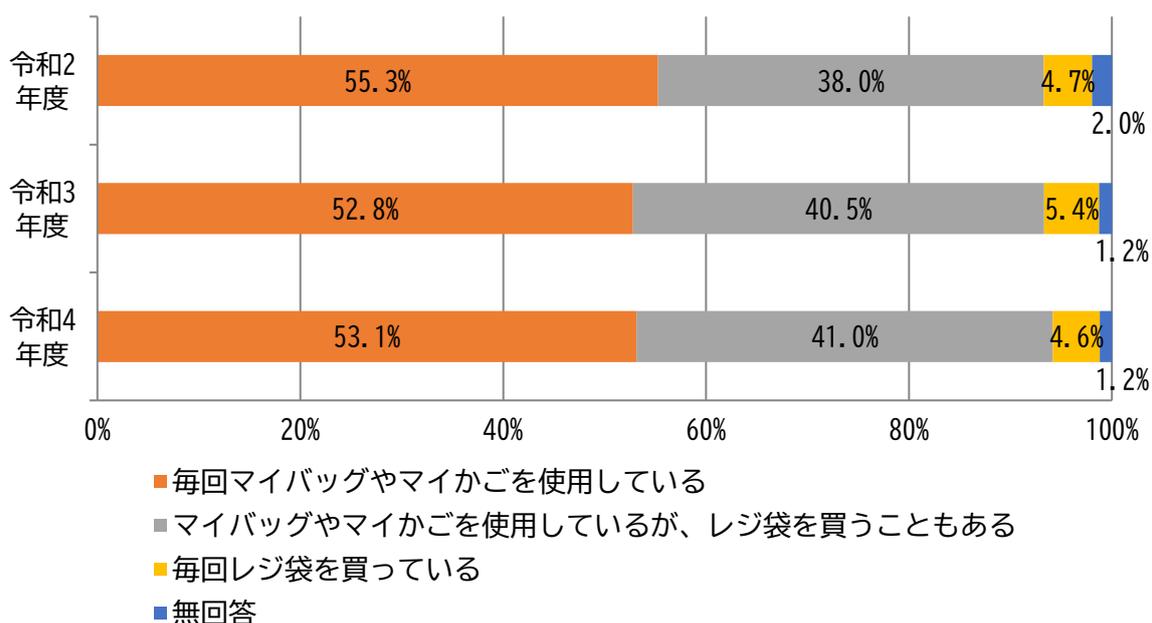
	合計	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体	1,016	76.5%	21.8%	1.8%
<b>年齢別</b>				
10歳代	18	61.1%	38.9%	0.0%
20歳代	85	65.9%	34.1%	0.0%
30歳代	109	72.5%	25.7%	1.8%
40歳代	166	72.9%	27.1%	0.0%
50歳代	154	81.2%	18.2%	0.6%
60歳代	182	80.2%	18.1%	1.6%
70歳代	195	80.5%	16.4%	3.1%
80歳以上	84	76.2%	17.9%	6.0%
<b>職業別</b>				
会社員	421	73.4%	25.9%	0.7%
自営業	65	73.8%	24.6%	1.5%
農林漁業	9	88.9%	11.1%	0.0%
公務員	68	76.5%	23.5%	0.0%
学生	27	85.2%	14.8%	0.0%
主婦・主夫	148	83.8%	13.5%	2.7%
無職	227	78.9%	18.5%	2.6%
その他	26	57.7%	34.6%	7.7%
<b>地区別</b>				
中央区	236	79.7%	19.5%	0.8%
東区	264	75.0%	23.5%	1.5%
西区	121	79.3%	19.0%	1.7%
南区	171	70.2%	26.3%	3.5%
北区	195	79.0%	19.5%	1.5%

問17. プラスチックの過剰な使用を抑制することを目的として、令和2年(2020年)7月1日からレジ袋有料化が始まりました。

スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)

「毎回マイバッグやマイかごを使用している」が53.1%と最も高く、次いで「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」が41.0%、「毎回レジ袋を買っている」が4.6%となっている。

「毎回マイバッグやマイかごを使用している」と「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」を合わせた割合は94.1%で、前回調査と比較すると0.8ポイント増加している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」と「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」を合わせた割合は60歳代が96.7%と最も高く、次いで70歳代(95.9%)、50歳代(95.5%)となっている。

職業別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」と「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」を合わせた割合は主婦・主夫が98.7%と最も高く、次いで公務員、無職(95.6%、95.6%)となっている。

地区別：「毎回マイバッグやマイかごを使用している」と「マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある」を合わせた割合は西区が95.9%と最も高く、次いで中央区(95.8%)、東区(94.7%)となっている。

■属性別回答

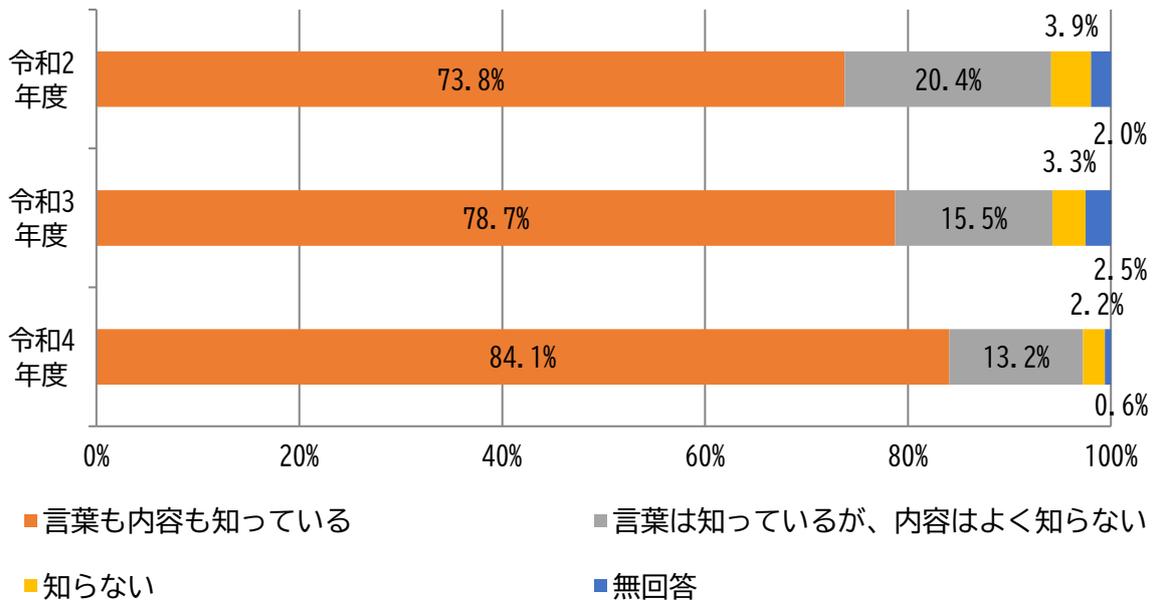
	合計	毎回マイバッグやマイかごを使用 している	マイバッグやマイかごを使用して いるが、レジ袋を買うこともある	毎回レジ袋を買っている	無回答
全体	1,016	53.1%	41.0%	4.6%	1.2%
<b>年齢別</b>					
10歳代	18	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%
20歳代	85	24.7%	68.2%	7.1%	0.0%
30歳代	109	32.1%	59.6%	6.4%	1.8%
40歳代	166	45.2%	47.0%	7.8%	0.0%
50歳代	154	61.7%	33.8%	3.9%	0.6%
60歳代	182	67.0%	29.7%	2.7%	0.5%
70歳代	195	60.5%	35.4%	2.6%	1.5%
80歳以上	84	64.3%	28.6%	2.4%	4.8%
<b>職業別</b>					
会社員	421	47.3%	45.4%	6.7%	0.7%
自営業	65	53.8%	41.5%	4.6%	0.0%
農林漁業	9	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
公務員	68	41.2%	54.4%	4.4%	0.0%
学生	27	37.0%	51.9%	11.1%	0.0%
主婦・主夫	148	67.6%	31.1%	0.0%	1.4%
無職	227	59.9%	35.7%	3.1%	1.3%
その他	26	42.3%	42.3%	7.7%	7.7%
<b>地区別</b>					
中央区	236	58.9%	36.9%	3.4%	0.8%
東区	264	48.5%	46.2%	4.9%	0.4%
西区	121	50.4%	45.5%	2.5%	1.7%
南区	171	55.0%	36.8%	5.8%	2.3%
北区	195	51.8%	41.5%	5.6%	1.0%

## ■「食品ロス」について

### 問18. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

「言葉も内容も知っている」が84.1%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、内容はよく知らない」が13.2%、「知らない」が2.2%となっている。

前回調査と比較すると、「言葉も内容も知っている」は5.4ポイント増加し、「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は2.3ポイント減少している。



### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も内容も知っている」は60歳代が91.2%と最も高く、次いで50歳代(89.6%)、10歳代(88.9%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は80歳以上が23.8%と最も高く、次いで70歳代(17.9%)、30歳代(15.6%)となっている。

「知らない」は10歳代が5.6%と最も高く、80歳以上(4.8%)、50歳代(3.9%)となっている。

職業別：「言葉も内容も知っている」は学生が92.6%と最も高く、次いで公務員(88.2%)、自営業(87.7%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は無職が20.7%と最も高く、次いで自営業(12.3%)、会社員(12.1%)となっている。

「知らない」は農林漁業が11.1%と最も高く、その他(7.7%)、学生(3.7%)となっている。

地区別：「言葉も内容も知っている」は中央区が87.7%と最も高く、次いで北区(85.6%)、東区(84.1%)となっている。

「言葉は知っているが、内容はよく知らない」は南区が18.7%と最も高く、次いで西区(13.2%)、北区(12.3%)となっている。

「知らない」は東区が3.4%と最も高く、西区(2.5%)となっている。

■属性別回答

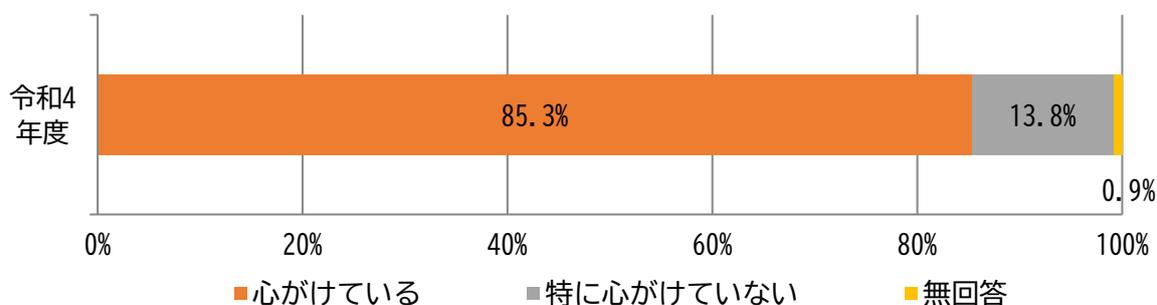
	合計	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,016	84.1%	13.2%	2.2%	0.6%
<b>年齢別</b>					
10歳代	18	88.9%	5.6%	5.6%	0.0%
20歳代	85	85.9%	10.6%	3.5%	0.0%
30歳代	109	81.7%	15.6%	2.8%	0.0%
40歳代	166	84.9%	13.9%	1.2%	0.0%
50歳代	154	89.6%	6.5%	3.9%	0.0%
60歳代	182	91.2%	8.2%	0.0%	0.5%
70歳代	195	79.5%	17.9%	1.5%	1.0%
80歳以上	84	67.9%	23.8%	4.8%	3.6%
<b>職業別</b>					
会社員	421	85.5%	12.1%	2.1%	0.2%
自営業	65	87.7%	12.3%	0.0%	0.0%
農林漁業	9	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
公務員	68	88.2%	10.3%	1.5%	0.0%
学生	27	92.6%	3.7%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	87.2%	9.5%	2.0%	1.4%
無職	227	76.2%	20.7%	2.2%	0.9%
その他	26	80.8%	7.7%	7.7%	3.8%
<b>地区別</b>					
中央区	236	87.7%	10.2%	2.1%	0.0%
東区	264	84.1%	12.1%	3.4%	0.4%
西区	121	83.5%	13.2%	2.5%	0.8%
南区	171	78.9%	18.7%	1.8%	0.6%
北区	195	85.6%	12.3%	0.5%	1.5%

問19. 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。

(1つだけ)

令和4年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「心がけている」が85.3%と最も高く、次いで「特に心がけていない」が13.8%となり、「心がけている」が「特に心がけていない」を大きく上回る結果となった。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「心がけている」は70歳代が88.7%と最も高く、次いで60歳代（88.5%）、50歳代（86.4%）となっている。

「特に心がけていない」は10歳代が27.8%と最も高く、次いで20歳代（20.0%）、40歳代（16.9%）となっている。

職業別：「心がけている」は学生が92.6%と最も高く、次いで主婦・主夫（90.5%）、その他（88.5%）となっている。

「特に心がけていない」は農林漁業が44.4%と最も高く、次いで公務員（22.1%）、自営業（16.9%）となっている。

地区別：「心がけている」は中央区が89.8%と最も高く、次いで北区（86.7%）、西区（85.1%）となっている。

「特に心がけていない」は南区が19.9%と最も高く、次いで東区（15.9%）となっている。

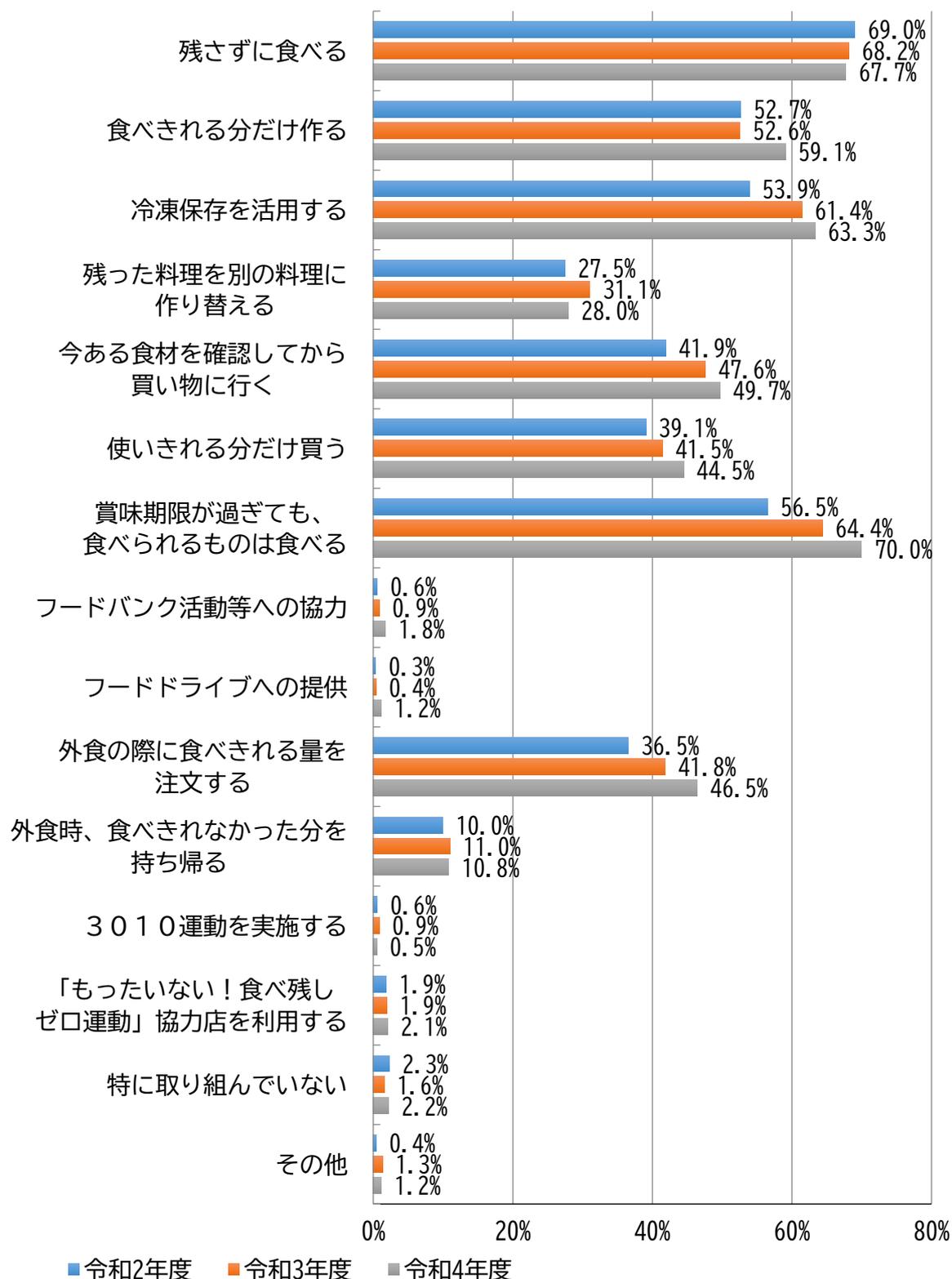
■属性別回答

	合計	心がけている	特に心がけていない	無回答
全体	1,016	85.3%	13.8%	0.9%
<b>年齢別</b>				
10歳代	18	72.2%	27.8%	0.0%
20歳代	85	80.0%	20.0%	0.0%
30歳代	109	83.5%	16.5%	0.0%
40歳代	166	83.1%	16.9%	0.0%
50歳代	154	86.4%	12.3%	1.3%
60歳代	182	88.5%	11.0%	0.5%
70歳代	195	88.7%	10.3%	1.0%
80歳以上	84	83.3%	11.9%	4.8%
<b>職業別</b>				
会社員	421	83.8%	15.4%	0.7%
自営業	65	83.1%	16.9%	0.0%
農林漁業	9	55.6%	44.4%	0.0%
公務員	68	77.9%	22.1%	0.0%
学生	27	92.6%	7.4%	0.0%
主婦・主夫	148	90.5%	8.1%	1.4%
無職	227	87.2%	11.5%	1.3%
その他	26	88.5%	7.7%	3.8%
<b>地区別</b>				
中央区	236	89.8%	9.7%	0.4%
東区	264	84.1%	14.8%	1.1%
西区	121	85.1%	14.0%	0.8%
南区	171	80.1%	19.3%	0.6%
北区	195	86.7%	11.8%	1.5%

問20. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」が70.0%と最も高く、次いで「残さずに食べる」が67.7%、「冷凍保存を活用する」が63.3%となっている。

前回調査と比較すると、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」は5.6ポイント増加、「残さずに食べる」は0.5ポイント減少、「冷凍保存を活用する」は1.9ポイント増加している。



## 【参考】

### 「その他」の内容（15件）

- ・ 買いすぎない。作りすぎない。残さない。食べきれぬ量を作る。
- ・ 作りすぎたらご近所へおすそ分けして友好的に消費する。
- ・ 食べ物を腐らせないようにしている。
- ・ 外食は控えめにして家で食べるようにしている。
- ・ 野菜など、皮も調理して食べる。
- ・ スーパーなどでは「手前とり」を心がけている。
- ・ 当日使う食材は先におつとめ品（賞味期限の近いもの）のコーナーから先に購入する。
- ・ 食品ロスの品物を利用する。
- ・ 使用済みのコーヒーかすや落ち葉、米ぬかなどで腐葉土を作り肥料として使用している。
- ・ 子どもの時から、食品ロスの取り組みをあたり前としてやってきた。

## 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「残さずに食べる」と「使いきれぬ分だけ買う」、「外食の際に食べきれぬ量を注文する」は30歳代が最も高く、「食べきれぬ分だけ作る」、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」は60歳代、「冷凍保存を活用する」は50歳代、「残った料理を別の料理に作り替える」と「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「3010運動を実施する」、「もったいない！食べ残しゼロ運動」は70歳代、「フードバンク活動等への協力」、「フードドライブへの提供」は40歳代、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」は80歳代が最も高くなっている。

職業別：「残さずに食べる」と「フードバンク活動等への協力」は学生が最も高く、「食べきれぬ分だけ作る」、「使いきれぬ分だけ買う」は会社員、「冷凍保存を活用する」、「残った料理を別の料理に作り替える」、「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」、「3010運動を実施する」は主婦・主夫、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」、「特にしていない」は農林漁業、「フードドライブへの提供」公務員、「外食の際に食べきれぬ量を注文する」はその他、「もったいない！食べ残しゼロ運動」は自営業となっている。

地区別：「残さずに食べる」と「残った料理を別の料理に作り替える」、「フードバンク活動等への協力」、「もったいない！食べ残しゼロ運動」は西区、「食べきれぬ分だけ作る」、「冷凍保存を活用する」、「フードドライブへの提供」は中央区、「今ある食材を確認してから買い物に行く」、「賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる」、「3010運動を実施する」は北区、「使いきれぬ分だけ買う」、「外食の際に食べきれぬ量を注文する」は東区が最も高く、「外食時、食べきれなかった分を持ち帰る」、「特にしていない」は南区が最も高くなっている。

■属性別回答

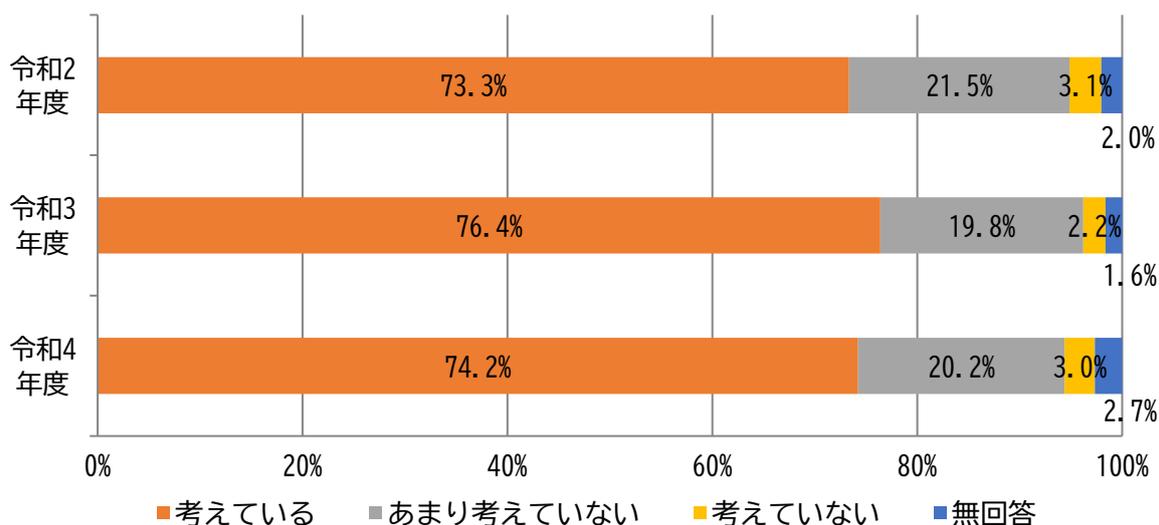
	合計	残さずに食べる	食べきれない分だけ作る	冷凍保存を活用する	残った料理を別の料理に作り替える	今ある食材を確認してから買い物に行く	使いきれない分だけ買う	賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる	フードバンク活動等への協力	フードドライブへの提供	外食の際に食べきれない量を注文する	外食時、食べきれなかった分を持ち帰る	3010運動を実施する	「もったいない!食べ残しゼロ運動」協力店を利用する	特に取り組んでいない	その他
全体	1,016	67.7%	59.1%	63.3%	28.0%	49.7%	44.5%	70.0%	1.8%	1.2%	46.5%	10.8%	0.5%	2.1%	2.2%	1.2%
年代別																
10歳代	18	72.2%	55.6%	33.3%	11.1%	22.2%	38.9%	44.4%	0.0%	0.0%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	85	76.5%	56.5%	55.3%	18.8%	55.3%	40.0%	60.0%	1.2%	0.0%	38.8%	8.2%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
30歳代	109	78.9%	60.6%	68.8%	18.3%	48.6%	58.7%	68.8%	1.8%	0.9%	56.0%	8.3%	0.0%	1.8%	0.0%	0.9%
40歳代	166	68.7%	59.6%	64.5%	23.5%	43.4%	46.4%	69.3%	4.2%	3.0%	50.0%	6.6%	0.0%	1.2%	11.1%	3.6%
50歳代	154	70.1%	61.0%	69.5%	33.1%	48.1%	50.0%	70.1%	1.3%	1.3%	46.8%	8.4%	1.3%	2.6%	22.2%	0.6%
60歳代	182	67.0%	62.1%	64.3%	33.0%	52.2%	47.8%	74.2%	1.6%	0.0%	45.6%	12.6%	0.0%	1.6%	16.7%	0.0%
70歳代	195	63.1%	54.9%	63.1%	33.8%	55.9%	37.9%	73.8%	1.0%	1.0%	41.0%	13.8%	1.5%	4.6%	27.8%	1.0%
80歳以上	84	47.6%	58.3%	56.0%	29.8%	47.6%	27.4%	65.5%	1.2%	1.2%	46.4%	17.9%	0.0%	0.0%	27.8%	1.2%
職業別																
会社員	421	73.9%	61.8%	65.3%	25.4%	48.7%	50.1%	72.2%	2.6%	1.0%	48.9%	9.7%	0.5%	1.0%	1.0%	1.0%
自営業	65	66.2%	56.9%	67.7%	32.3%	44.6%	46.2%	70.8%	1.5%	0.0%	55.4%	13.8%	0.0%	4.6%	1.5%	0.0%
農林漁業	9	55.6%	44.4%	66.7%	22.2%	33.3%	33.3%	77.8%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
公務員	68	61.8%	60.3%	61.8%	14.7%	35.3%	44.1%	52.9%	2.9%	2.9%	39.7%	4.4%	0.0%	4.4%	2.9%	1.5%
学生	27	81.5%	59.3%	37.0%	18.5%	33.3%	33.3%	55.6%	3.7%	0.0%	44.4%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	60.1%	58.8%	71.6%	42.6%	64.2%	41.9%	77.0%	0.7%	1.4%	51.4%	18.2%	1.4%	2.0%	2.7%	2.7%
無職	227	61.7%	54.2%	57.3%	28.2%	49.3%	38.3%	66.5%	0.9%	1.3%	37.4%	8.8%	0.4%	2.2%	3.5%	0.4%
その他	26	65.4%	61.5%	57.7%	30.8%	61.5%	42.3%	65.4%	0.0%	0.0%	57.7%	15.4%	0.0%	3.8%	3.8%	3.8%
地区別																
中央区	236	68.6%	61.4%	69.5%	30.5%	50.4%	47.0%	69.9%	1.7%	2.1%	49.2%	12.7%	0.8%	1.7%	1.3%	0.4%
東区	264	66.7%	58.0%	62.5%	24.6%	50.4%	47.7%	65.5%	1.9%	1.5%	49.6%	10.2%	0.4%	2.3%	2.3%	1.5%
西区	121	72.7%	60.3%	58.7%	35.5%	48.8%	43.0%	71.1%	2.5%	0.0%	43.0%	9.1%	0.0%	3.3%	0.8%	1.7%
南区	171	62.0%	56.1%	57.3%	26.9%	42.7%	38.0%	71.3%	1.8%	0.6%	45.0%	13.5%	0.0%	0.6%	4.7%	1.8%
北区	195	69.2%	57.9%	65.1%	26.7%	55.4%	44.1%	73.8%	1.5%	0.5%	41.0%	7.7%	1.0%	1.5%	1.0%	1.0%

## ■「地球温暖化対策」について

### 問21. 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1つだけ)

「考えている」が74.2%と最も高く、次いで「あまり考えていない」が20.2%、「考えていない」が3.0%となっている。

前回調査と比較すると、「考えている」は2.2ポイント減少し、「あまり考えていない」と「考えていない」はそれぞれ0.4ポイント、0.8ポイント増加している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「考えている」は50歳代が81.8%と最も高く、次いで60歳代（79.1%）、10歳代（77.8%）となっている。

「あまり考えていない」は40歳代が27.1%と最も高く、次いで20歳代（25.9%）、30歳代（24.8%）となっている。

「考えていない」は30歳代が6.4%と最も高く、80歳以上（4.8%）、20歳代（4.7%）となっている。

職業別：「考えている」は学生が88.9%と最も高く、次いでその他（84.6%）、公務員（79.4%）となっている。

「あまり考えていない」は農林漁業が33.3%と最も高く、次いで自営業（23.1%）、会社員（23.0%）となっている。

「考えていない」はその他が7.7%と最も高く、公務員（5.9%）、自営業（3.1%）となっている。

地区別：「考えている」は西区が81.0%と最も高く、次いで北区（76.9%）、東区（73.9%）となっている。

「あまり考えていない」は中央区が23.7%と最も高く、次いで南区（23.4%）、東区（19.3%）となっている。

「考えていない」は中央区が3.8%と最も高く、東区（3.0%）、南区（2.9%）となっている。

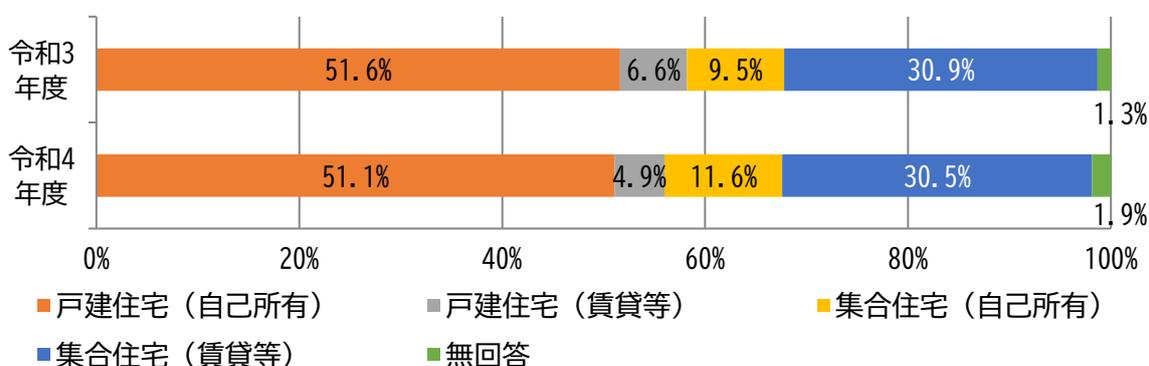
■属性別回答

	合計	考えている	あまり考えていない	考えていない	無回答
全体	1,016	74.2%	20.2%	3.0%	2.7%
<b>年齢別</b>					
10歳代	18	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
20歳代	85	68.2%	25.9%	4.7%	1.2%
30歳代	109	67.9%	24.8%	6.4%	0.9%
40歳代	166	71.1%	27.1%	1.8%	0.0%
50歳代	154	81.8%	12.3%	4.5%	1.3%
60歳代	182	79.1%	17.6%	0.5%	2.7%
70歳代	195	75.4%	18.5%	1.0%	5.1%
80歳以上	84	64.3%	21.4%	4.8%	9.5%
<b>職業別</b>					
会社員	421	72.4%	23.0%	2.6%	1.9%
自営業	65	72.3%	23.1%	3.1%	1.5%
農林漁業	9	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
公務員	68	79.4%	14.7%	5.9%	0.0%
学生	27	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
主婦・主夫	148	77.0%	18.9%	1.4%	2.7%
無職	227	72.2%	19.4%	2.6%	5.7%
その他	26	84.6%	7.7%	7.7%	0.0%
<b>地区別</b>					
中央区	236	70.3%	23.7%	3.8%	2.1%
東区	264	73.9%	19.3%	3.0%	3.8%
西区	121	81.0%	15.7%	0.8%	2.5%
南区	171	71.9%	23.4%	2.9%	1.8%
北区	195	76.9%	17.9%	2.1%	3.1%

問22. あなたの住宅について教えてください。(1つだけ)

令和3年度より、新規で設問を追加し調査を行った。

「戸建住宅（自己所有）」が51.1%と最も高く、次いで「集合住宅（賃貸等）」が30.5%、「集合住宅（自己所有）」が11.6%となっている。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「戸建住宅（自己所有）」は80歳以上が67.9%と最も高く、次いで70歳代（65.1%）、60歳代（56.0%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は20歳代が8.2%と最も高く、次いで40歳代（6.0%）、30歳代（5.5%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」は50歳代が16.9%と最も高く、次いで60歳代（14.8%）、40歳代（13.9%）となっている。

「集合住宅（賃貸等）」は10歳代が55.6%と最も高く、次いで20歳代（54.1%）、30歳代（47.7%）となっている。

職業別：「戸建住宅（自己所有）」は農林漁業が88.9%と最も高く、次いで自営業（63.1%）、主婦・主夫（59.5%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は会社員が6.4%と最も高く、次いで主婦・主夫（6.1%）、公務員（5.9%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」はその他が23.1%と最も高く、次いで主婦・主夫（14.2%）、会社員（12.6%）となっている。

「集合住宅（賃貸等）」は学生が51.9%と最も高く、次いで公務員（41.2%）、会社員（34.7%）となっている。

地区別：「戸建住宅（自己所有）」は南区が70.8%と最も高く、次いで北区（57.4%）、東区（51.5%）となっている。

「戸建住宅（賃貸等）」は北区が7.2%と最も高く、次いで西区（6.6%）、東区（4.5%）となっている。

「集合住宅（自己所有）」は中央区が22.9%と最も高く、次いで東区（15.2%）、西区（7.4%）となっている。

「集合住宅（賃貸等）」は中央区が38.6%と最も高く、次いで西区（32.2%）、北区（28.7%）となっている。

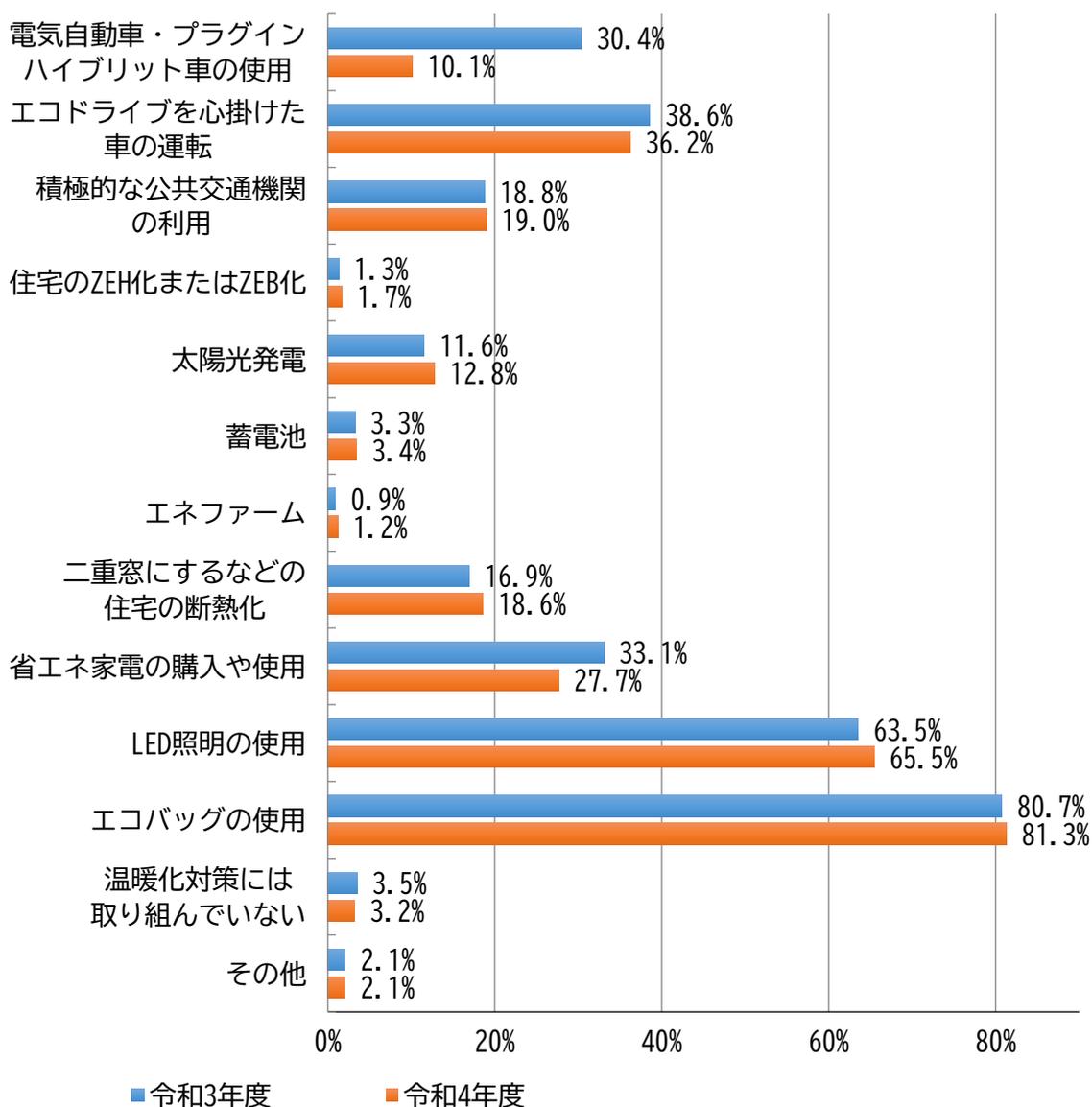
■属性別回答

	合計	戸建住宅 (自己所有)	戸建住宅 (賃貸等)	集合住宅 (自己所有)	集合住宅 (賃貸等)	無回答
全体	1,016	51.1%	4.9%	11.6%	30.5%	1.9%
<b>年齢別</b>						
10歳代	18	38.9%	0.0%	5.6%	55.6%	0.0%
20歳代	85	27.1%	8.2%	9.4%	54.1%	1.2%
30歳代	109	38.5%	5.5%	7.3%	47.7%	0.9%
40歳代	166	52.4%	6.0%	13.9%	27.7%	0.0%
50歳代	154	41.6%	5.2%	16.9%	35.1%	1.3%
60歳代	182	56.0%	4.4%	14.8%	23.6%	1.1%
70歳代	195	65.1%	3.6%	9.2%	19.0%	3.1%
80歳以上	84	67.9%	3.6%	6.0%	14.3%	8.3%
<b>職業別</b>						
会社員	421	44.9%	6.4%	12.6%	34.7%	1.4%
自営業	65	63.1%	3.1%	9.2%	24.6%	0.0%
農林漁業	9	88.9%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
公務員	68	42.6%	5.9%	10.3%	41.2%	0.0%
学生	27	37.0%	0.0%	11.1%	51.9%	0.0%
主婦・主夫	148	59.5%	6.1%	14.2%	18.2%	2.0%
無職	227	58.6%	3.1%	8.4%	26.0%	4.0%
その他	26	46.2%	0.0%	23.1%	30.8%	0.0%
<b>地区別</b>						
中央区	236	33.9%	3.4%	22.9%	38.6%	1.3%
東区	264	51.5%	4.5%	15.2%	27.3%	1.5%
西区	121	50.4%	6.6%	7.4%	32.2%	3.3%
南区	171	70.8%	4.1%	2.3%	21.1%	1.8%
北区	195	57.4%	7.2%	4.1%	28.7%	2.6%

問23. 地球温暖化対策として実際に導入している（されている）、もしくは取り組んでいることはありますか。（いくつでも可）

「エコバッグの使用」が81.3%と最も高く、次いで「LED照明の使用」が65.5%、「エコドライブを心掛けた車の運転」が36.2%となっている。

前回調査と比較すると、「エコバッグの使用」が0.6ポイント、「LED証明の使用」が2.0ポイント増加し、「エコドライブを心掛けた車の運転」は2.4ポイント減少している。



【参考】

「その他」の内容（18件）

- ・ 電気自動車を購入することを想定し、新築時に外壁にEVコンセントを設置した。
- ・ エアコンの温度設定を夏は28度、冬は21度になっている。
- ・ 室温が上下してもできるだけ冷暖房に頼らず、厚着や薄着で対応しようとしています。
- ・ 太陽熱温水器、太陽光発電、蓄電池を設置している。
- ・ 待機電力を減らすため、冷蔵庫、天井照明以外のコンセントは必ず抜く。
- ・ 車での移動を極力さけ、自転車を使った通勤や移動を心がけている。
- ・ 雨水の利用（トイレの水として使用）。
- ・ 自転車やバイクを使用する。
- ・ 近場の移動は車を使用せず、自転車や徒歩で移動するよう心がけている。
- ・ エコバックもよいが、スーパーの食品パックをポリから植物性に変えてほしい。

【回答者の属性別にみた結果】

- 年代別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」と「エネファーム」、「LED照明の使用」、「エコバッグの使用」は60歳代が15.9%、2.7%、75.3%、89.0%と最も高くなっている。「エコドライブを心掛けた車の運転」と「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は40歳代が46.4%、23.5%と最も高く、「積極的な公共交通機関の利用」は70歳代が29.2%、「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」は30歳代がそれぞれ4.6%、18.3%、「蓄電池」は20歳代が7.1%、「省エネ家電の購入や使用」は50歳代が35.1%、「温暖化対策には取り組んでいない」は10歳代が11.1%と最も高くなっている。
- 職業別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」と「蓄電池」、「温暖化対策には取り組んでいない」はその他がそれぞれ11.5%、7.7%、11.5%と最も高く、「エコドライブを心掛けた車の運転」と「蓄電池」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」、「省エネ家電の購入や使用」は自営業が43.1%、7.7%、24.6%、38.5%、「積極的な公共交通機関の利用」は学生が25.9%、「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」は公務員がそれぞれ2.9%、25.0%、「エネファーム」と「エコバッグの使用」は主婦・主夫が2.7%、89.2%、「LED照明の使用」は農林漁業が77.8%と最も高くなっている。
- 地区別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」は西区が10.7%と最も高く、「エコドライブを心掛けた車の運転」と「蓄電池」は東区が40.2%、5.3%、「積極的な公共交通機関の利用」と「エネファーム」は中央区が25.4%、3.0%、「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」、「温暖化対策には取り組んでいない」は南区が4.1%、19.9%、22.8%、5.3%、「省エネ家電の購入や使用」と「LED照明の使用」、「エコバッグの使用」は北区が32.3%、69.7%、84.1%と最も高くなっている。
- 住宅別：「電気自動車・プラグインハイブリッド車の使用」と「住宅のZEH化またはZEB化」、「太陽光発電」、「蓄電池」、「エネファーム」、「二重窓にするなどの住宅の断熱化」は戸建住宅（自己所有）がそれぞれ11.4%、2.9%、22.9%、5.2%、2.1%、28.9%と最も高く、「エコバッグの使用」は戸建住宅（賃貸等）が88.0%、「エコドライブを心掛けた車の運転」と、「省エネ家電の購入や使用」、「LED照明の使用」は集合住宅（自己所有）がそれぞれ41.5%、35.6%、77.1%と最も高く、「積極的な公共交通機関の利用」、「温暖化対策には取り組んでいない」は集合住宅（賃貸等）が22.9%、6.5%となっている。

■属性別回答

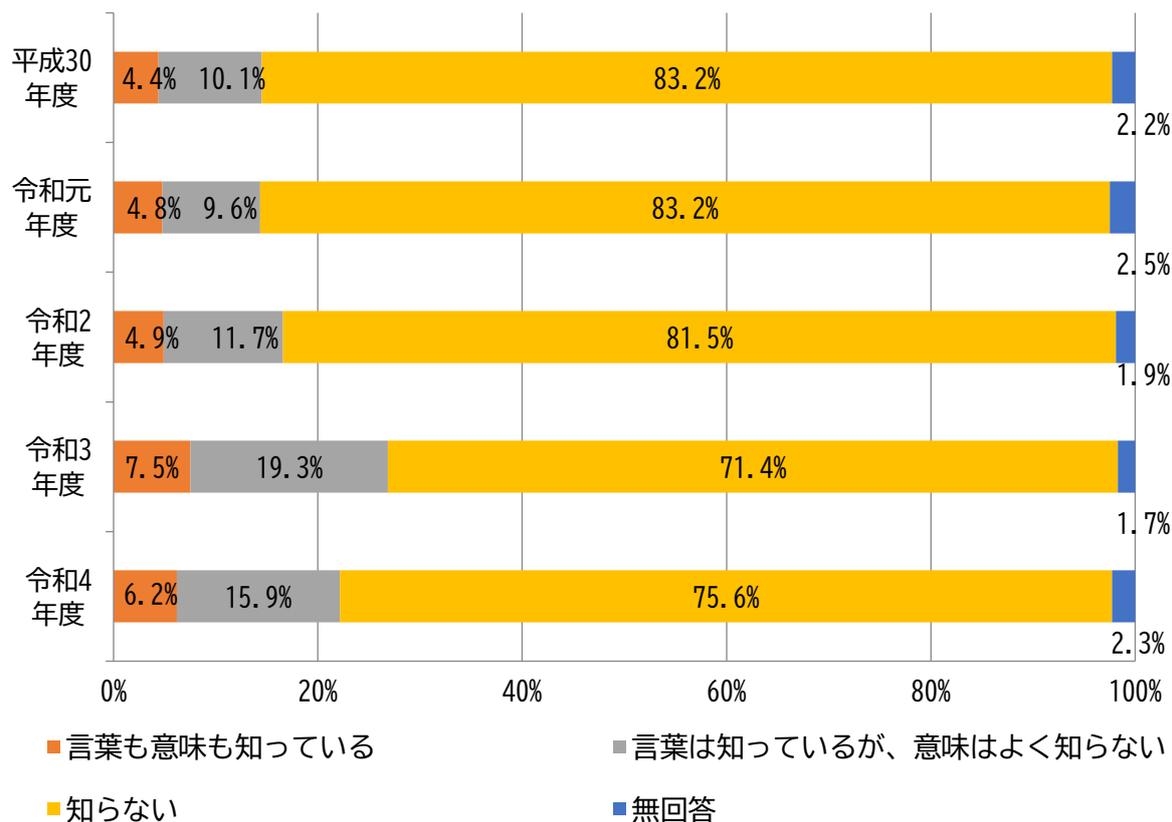
	合計	電気自動車・プラグインハイブリット車の使用	エコドライブを心掛けた車の運転	積極的な公共交通機関の利用	住宅のZEB化またはZEB化	太陽光発電	蓄電池	エネファーム	二重窓にするなどの住宅の断熱化	省エネ家電の購入や使用	LED照明の使用	エコバッグの使用	温暖化対策には取り組んでいない	その他
全体	1,016	10.1%	36.2%	19.0%	1.7%	10.1%	3.4%	1.2%	18.6%	27.7%	65.5%	81.3%	3.2%	2.1%
年齢別														
10歳代	18	0.0%	16.7%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%	61.1%	72.2%	11.1%	0.0%
20歳代	85	9.4%	34.1%	14.1%	2.4%	12.9%	7.1%	0.0%	7.1%	15.3%	44.7%	76.5%	2.4%	0.0%
30歳代	109	8.3%	37.6%	11.9%	4.6%	18.3%	3.7%	1.8%	18.3%	24.8%	63.3%	83.5%	2.8%	2.8%
40歳代	166	10.2%	46.4%	10.2%	1.8%	16.9%	3.6%	2.4%	23.5%	26.5%	65.1%	77.7%	3.6%	4.8%
50歳代	154	12.3%	35.7%	16.9%	1.9%	12.3%	5.8%	0.6%	23.4%	35.1%	62.3%	85.1%	4.5%	1.3%
60歳代	182	15.9%	43.4%	22.5%	1.1%	12.6%	1.6%	2.7%	22.0%	34.1%	75.3%	89.0%	2.2%	2.2%
70歳代	195	6.2%	28.2%	29.2%	0.5%	12.3%	2.1%	0.0%	16.9%	29.7%	73.8%	80.0%	1.5%	1.0%
80歳以上	84	6.0%	23.8%	23.8%	0.0%	2.4%	3.6%	0.0%	11.9%	20.2%	59.5%	73.8%	4.8%	1.2%
職業別														
会社員	421	10.9%	42.0%	14.7%	2.6%	15.0%	4.5%	1.2%	21.4%	27.1%	64.1%	81.9%	3.3%	2.4%
自営業	65	9.2%	43.1%	16.9%	1.5%	12.3%	7.7%	1.5%	24.6%	38.5%	66.2%	76.9%	3.1%	7.7%
農林漁業	9	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	77.8%	66.7%	0.0%	0.0%
公務員	68	8.8%	36.8%	17.6%	2.9%	25.0%	4.4%	1.5%	19.1%	25.0%	64.7%	73.5%	1.5%	2.9%
学生	27	3.7%	18.5%	25.9%	0.0%	14.8%	3.7%	0.0%	3.7%	11.1%	44.4%	81.5%	3.7%	0.0%
主婦・主夫	148	11.5%	30.4%	25.0%	0.7%	8.8%	1.4%	2.7%	17.6%	35.8%	74.3%	89.2%	2.0%	0.7%
無職	227	8.4%	28.6%	24.2%	0.4%	8.4%	1.3%	0.4%	14.1%	24.2%	65.2%	80.6%	3.1%	0.9%
その他	26	11.5%	42.3%	19.2%	0.0%	11.5%	7.7%	0.0%	23.1%	26.9%	69.2%	76.9%	11.5%	0.0%
地区別														
中央区	236	9.3%	30.5%	25.4%	1.3%	5.9%	2.1%	3.0%	18.2%	26.3%	62.7%	83.5%	3.0%	1.3%
東区	264	10.6%	40.2%	21.2%	1.1%	13.6%	5.3%	0.0%	21.2%	29.2%	64.4%	79.5%	2.7%	2.7%
西区	121	10.7%	38.0%	22.3%	0.8%	11.6%	1.7%	1.7%	18.2%	28.9%	66.9%	80.2%	3.3%	1.7%
南区	171	9.9%	38.0%	10.5%	4.1%	19.9%	4.7%	1.2%	22.8%	23.4%	67.3%	80.1%	5.3%	1.2%
北区	195	9.2%	36.4%	13.3%	1.0%	14.9%	3.1%	0.5%	13.3%	32.3%	69.7%	84.1%	2.1%	2.6%
住宅別														
戸建住宅（自己所有）	519	11.4%	40.7%	17.1%	2.9%	22.9%	5.2%	2.1%	28.9%	35.3%	73.0%	82.7%	2.1%	2.1%
戸建住宅（賃貸等）	50	6.0%	28.0%	16.0%	0.0%	6.0%	2.0%	0.0%	16.0%	16.0%	66.0%	88.0%	2.0%	4.0%
集合住宅（自己所有）	118	11.0%	41.5%	21.2%	0.0%	0.8%	1.7%	0.8%	16.1%	35.6%	77.1%	86.4%	0.8%	1.7%
集合住宅（賃貸等）	310	9.0%	30.3%	22.9%	0.6%	2.3%	1.6%	0.0%	3.9%	15.5%	51.9%	80.3%	6.5%	1.9%

## ■「COOL CHOICE」について

### 問24. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

「知らない」が75.6%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味はよく知らない」が15.9%、「言葉も意味も知っている」が6.2%となっている。

「言葉も意味も知っている」と「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は22.1%となり、前回調査から4.7ポイント減少している。



#### 【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は70歳代が31.3%と最も高く、次いで80歳以上(29.7%)、60歳代(21.4%)となっている。

職業別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合はその他が30.8%と最も高く、次いで公務員(28.0%)、無職(26.5%)となっている。

地区別：「言葉も意味も知っている」、「言葉は知っているが、意味はよく知らない」を合わせた割合は東区が24.3%と最も高く、次いで中央区(22.9%)、北区(21.1%)となっている。

■属性別回答

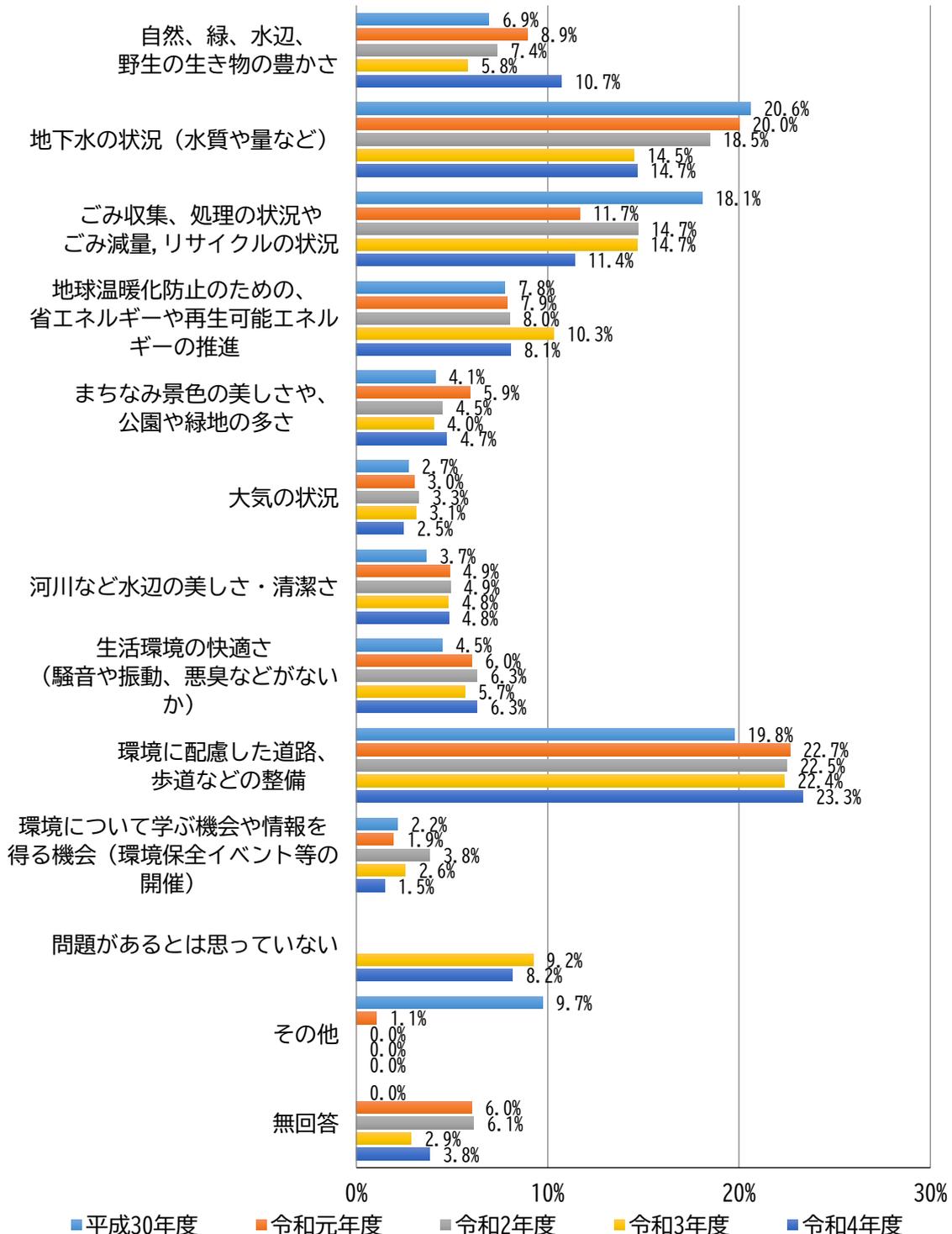
	合計	言葉も意味も知っている	言葉は知っているが、意味はよく知らない	知らない	無回答
全体	1,016	6.2%	15.9%	75.6%	2.3%
<b>年齢別</b>					
10歳代	18	5.6%	11.1%	83.3%	0.0%
20歳代	85	3.5%	8.2%	87.1%	1.2%
30歳代	109	3.7%	16.5%	78.9%	0.9%
40歳代	166	6.0%	10.8%	83.1%	0.0%
50歳代	154	3.2%	15.6%	79.9%	1.3%
60歳代	182	6.0%	15.4%	76.4%	2.2%
70歳代	195	9.2%	22.1%	66.2%	2.6%
80歳以上	84	10.7%	19.0%	59.5%	10.7%
<b>職業別</b>					
会社員	421	4.5%	13.3%	80.5%	1.7%
自営業	65	6.2%	16.9%	75.4%	1.5%
農林漁業	9	0.0%	11.1%	77.8%	11.1%
公務員	68	5.9%	22.1%	72.1%	0.0%
学生	27	7.4%	11.1%	81.5%	0.0%
主婦・主夫	148	6.1%	16.9%	74.3%	2.7%
無職	227	8.4%	18.1%	70.0%	3.5%
その他	26	15.4%	15.4%	69.2%	0.0%
<b>地区別</b>					
中央区	236	6.4%	16.5%	75.4%	1.7%
東区	264	8.0%	16.3%	73.9%	1.9%
西区	121	3.3%	17.4%	76.0%	3.3%
南区	171	4.1%	15.8%	77.8%	2.3%
北区	195	6.7%	14.4%	76.4%	2.6%

■「熊本市内の環境問題」について

問25. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

「環境に配慮した道路、歩道などの整備」が23.3%と最も高く、次いで「地下水の状況（水質や量）」が14.7%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」が11.4%、となっている。

前回調査と比較すると、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」と「地下水の状況（水質や量）」はそれぞれ0.9ポイント、0.2ポイント増加し、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」は3.3ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「生活環境の快適さ」は20歳代が23.5%、11.8%、「地下水の状況」は70歳代が18.5%、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」と「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は60歳代が15.4%、3.8%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」は80歳以上が14.3%、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「大気の状態」、「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は10歳代が11.1%、5.6%、11.1%、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は30歳代が3.9%と最も高くなっている。

職業別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「地下水の状況」、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」は公務員がそれぞれ19.1%、17.6%、17.6%と最も高く、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」はその他が23.1%、「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は学生が11.1%、14.8%、「大気の状態」と「生活環境の快適さ」は農林漁業が11.1%、22.2%、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は主婦・主夫が27.0%、「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は無職が1.8%と最も高くなっている。

地区別：「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」と「河川など水辺の美しさ・清潔さ」は西区がそれぞれ19.0%、6.6%、「地下水の状況」と「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」、「環境に配慮した道路、歩道などの整備」は中央区が20.3%、5.9%、27.5%と最も高く、「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」と「大気の状態」は東区が14.4%、3.8%、「生活環境の快適さ」は南区が8.8%、「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」と「環境について学ぶ機会や情報を得る機会」は北区が10.3%、2.6%と最も高くなっている。

■属性別回答

	合計	自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ	地下水の状況（水質や量）	ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況	地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進	まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ	大気の状態	河川など水辺の美しさ・清潔さ	（騒音や振動、悪臭などがいいのか）生活環境の快適さ	環境に配慮した道路、歩道などの整備	環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）	問題があるとは思っていない	無回答
全体	1,016	10.7%	14.7%	11.4%	8.1%	4.7%	2.5%	4.8%	6.3%	23.3%	1.5%	8.2%	3.8%
年代別													
10歳代	18	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%	11.1%	5.6%	27.8%	0.0%	11.1%	0.0%
20歳代	85	23.5%	9.4%	9.4%	3.5%	8.2%	1.2%	5.9%	11.8%	21.2%	0.0%	4.7%	1.2%
30歳代	109	11.9%	11.9%	9.2%	3.7%	7.3%	2.8%	8.3%	7.3%	30.3%	0.9%	5.5%	0.9%
40歳代	166	13.3%	16.3%	10.2%	4.8%	2.4%	5.4%	6.6%	9.0%	21.7%	1.2%	7.8%	1.2%
50歳代	154	12.3%	13.0%	11.0%	9.7%	3.2%	1.9%	0.6%	5.2%	29.9%	1.3%	9.7%	1.9%
60歳代	182	6.6%	15.9%	15.4%	9.3%	5.5%	2.2%	4.4%	6.6%	20.9%	3.8%	6.6%	2.7%
70歳代	195	7.2%	18.5%	13.3%	9.7%	4.6%	1.0%	3.6%	3.1%	19.0%	1.0%	10.3%	8.7%
80歳以上	84	8.3%	15.5%	8.3%	14.3%	2.4%	0.0%	4.8%	4.8%	17.9%	1.2%	13.1%	9.5%
職業別													
会社員	421	13.1%	14.3%	11.6%	5.9%	4.8%	2.1%	5.5%	6.9%	24.7%	1.7%	7.8%	1.7%
自営業	65	18.5%	16.9%	6.2%	12.3%	9.2%	4.6%	3.1%	1.5%	18.5%	0.0%	3.1%	6.2%
農林漁業	9	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
公務員	68	19.1%	17.6%	17.6%	1.5%	1.5%	4.4%	1.5%	7.4%	20.6%	1.5%	7.4%	0.0%
学生	27	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	3.7%	14.8%	7.4%	11.1%	0.0%	7.4%	0.0%
主婦・主夫	148	6.8%	12.2%	10.8%	8.1%	6.8%	3.4%	2.7%	6.8%	27.0%	1.4%	8.8%	5.4%
無職	227	7.0%	16.7%	11.5%	10.6%	2.6%	0.4%	4.8%	5.3%	21.1%	1.8%	11.0%	7.0%
その他	26	0.0%	15.4%	7.7%	23.1%	3.8%	0.0%	3.8%	11.5%	19.2%	0.4%	0.9%	14.1%
地区別													
中央区	236	7.2%	20.3%	8.5%	5.5%	5.9%	1.3%	4.2%	4.2%	27.5%	0.0%	11.9%	3.4%
東区	264	11.0%	12.9%	14.4%	7.2%	5.3%	3.8%	4.2%	7.6%	21.2%	1.1%	9.5%	1.9%
西区	121	19.0%	9.9%	12.4%	9.9%	2.5%	2.5%	6.6%	6.6%	23.1%	2.5%	2.5%	2.5%
南区	171	11.7%	15.8%	11.7%	9.4%	2.9%	1.2%	5.8%	8.8%	17.5%	2.3%	8.2%	4.7%
北区	195	9.7%	12.8%	9.7%	10.3%	5.1%	3.1%	4.1%	5.6%	25.1%	2.6%	6.2%	5.6%

問26. あなたが問25で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われますか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

◆いただいた意見を問25の項目に分類し、重複するものを除きそのまま以下に列挙する。なお、特に必要と思われる意見については、回答者の居住校区を記載している。

#### 1「自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ」についての意見

##### ●自然について

- ・ 今の小川が下水のように汚れていてフナもメダカも住めるように努力改善してほしいと切に思います。昔は川で泳ぎ小川でメダカやフナを網ですくったものです。
- ・ 熊本はとても自然豊かな土地だと思います。森は人が手を加えて育つという話を聞いたので、放置されている森林をきれいに手入れすることで野生の生物、水などの豊かさを守ることができると思います。
- ・ 私が子どもの時に捕まえていた虫や水辺の生き物が今の子供たちは知らない。区画整理で田んぼがなくなり自然にふれさせるには自然がある場所まで車で行く必要がある。虫取りあみをもって子どもたち同士で遊んでほしい。
- ・ 4年前、引っ越してきたときはキジをよく見かけていたが、ここ数年で住宅が増えたので自然が少なくなってきたからか見かけなくなってきた。新しく開発するのではなく空き地、空き家がある土地を新しく住宅にできるといいのかなと思った。
- ・ 自然や緑を保つためには管理が必要ですが、管理が不自由なところが多いと思う。
- ・ 自然を大事にする、大切に守っていくことが必要だと思う。
- ・ 自然を守る活動をもっと活発的に実施すべきだと思います。
- ・ 熊本の水はたいへんおいしい。この水の質を保つため、山の木の管理が必要だと思う。

##### ●生物多様性について

- ・ 水辺の生物で、外来種が多くなっている。カラス等も多くなっている。ツバメ等が少なくなっているように思われます。
- ・ 江津湖の湖面のウォーターレタスやブラジルチドメグサでおおわれている面積がどんどん増えているのを目の当たりにし、とても悲しい気分です。また、上江津湖「みんなの広場」の南側に小川があり、子どもたちの格好の遊び場になっていたのに今は背の高い葦のような植物が生い茂り目も当てられません。全く小川では遊べません。除去作業をもっとしっかり行っていただきたいです。
- ・ 秋津川の外来種植物の繁殖がすさまじく、水量も減ってしまって水鳥たちが苦しそうに感じます。なかなか個人の力では難しいと思いますが、身近な団体、たとえば地域ささえ隊、老人会、自治体などで声かけをしてもらったら身近な住人は協力し、少しずつでも清掃活動ができると思います。年2回の一斉清掃もご近所さんとの貴重な触れ合いの場になっています。
- ・ 熊本市民の憩いの場である江津湖に数年前頃から外来生物が増殖していることで、日本古来の生物が減少していることだと思います。加勢川で増殖しているウォーターレタスの件も同様です。江津湖には日本古来の生物が増殖して、以前の江津湖になってもらいたいです。

##### ●その他

- ・ 熊本市は他と比べても緑もあり地下水を活用され街並みもきれいだと思っています。景観を損なうことなくこれからも自然のある熊本市を保ってほしいと思います。

## 2「地下水の状況（水質や量など）」についての意見

### ●地下水保全について

- ・ 今のところ大きな問題はないかもしれないが今後、環境が悪化していけば地下水に問題が出てくるだろうし、地下水のおかげで生活が成りたっているものだから困ると思います。
- ・ 問題があるわけではないが、熊本の地下水は絶対を守るべきだと思う。熊本の地下水なくして自然環境は守ることができないと思う。
- ・ 熊本市に誘致企業と地下水の利用状況が全く不明であり経済の活性化と大事な水資源のバランスをどう行政はみているのか？コントロールする意思の有無も不明。手遅れになってはいけないと思います。
- ・ 大手半導体企業のよいことばかり報道されていますが、水の保全についてはどうなのでしょう。市長、知事、報道機関も、水、環境についての対策あたりをもっと周知すべきだと思います。
- ・ 今後、田んぼを増やし、ビル、マンションを減らし、太陽が降り注ぐ田園都市を広げ緑の世界をこれから作り上げればCO2も減り明るい未来と水が豊かな熊本となるはずだと思います。
- ・ 大切な熊本は特別な地下水で恵まれています。河川を美しく保っていただけるとも思っています。
- ・ 家も多くできている現在、いかに雨水を地下に流れるように工夫するかが地下水を守ることだと思います。熊本は水の都だと思うので、これをいつまでも守ってもらいたいと思います。
- ・ 熊本の地下水を毎日おいしく飲めることに感謝しております。大切な熊本の大自然、地下水は後世まできちんと残していくべきだと思います。美しい自然があつての熊本ではないでしょうか。環境を守りながら、経済発展していくことは難しいと思いますが、目先の利益よりも重要なことだと思います。
- ・ 複数の都市に住んだことがあります。熊本市の水のおいしさは格別だと思います。ぜひ、質を保ったまま将来に残したいです。
- ・ 熊本市は水が美しいことで全国に知られています。この環境を大切にしていってほしい！
- ・ 全国的にも地下水で有名な熊本をもっとアピールし、水質保全などに力を入れていくべきだと思います。
- ・ 熊本市は地下水が頼りなので、特に災害時、「水が無い」ことが一番困ることを知りました。大事に使わせていただきながら、全国に誇れる熊本の地下水を守ることに力を入れていただきたいと思います。
- ・ 大手半導体企業や周辺企業の企業誘致で地下水を大量に使う事になるので下流地域の水源枯渇を懸念しています。県の調査井戸の水位などを調べて大丈夫な事を伝えていただきたいです。熊本は降雨の推移が極端なので誘致するならそれなりの山林の貯水効果を高める約束を企業と締結した上で参入企業が林業のスポンサーになると今まで通りの素敵な熊本市が持続可能だと思います。
- ・ このまま良質の水質や水量を確保するための長期的対策が望まれる。水の都、森の都という言葉に甘んじてはいけないと思います。
- ・ 県外から引っ越してきて、水がとてもきれいだと思いました。未来にこのきれいな水を残したいので、自分ができることは台所の排水に気をつけたいと思いました。
- ・ 熊本地震で一番困ったことは水。百年たっても守ってほしい。
- ・ 地下水の状況について、今後、半導体企業による地下水利用増加が見込まれ近い将来水不足や汚染などによる環境問題の悪化が心配されるのではないかと非常に懸念しております。

### ●水質について

- ・ 自宅は地下水使用のため、地下水に汚水(油など)が流入し混ざったりしていない

か心配しています。

- ・ 熊本は以前、地下水がきれいと言われていたが、他県の方に、農業や牧場等で使う消毒などの規制がゆるく、それらが地面から地下水となって水質が悪くなっていると聞いたことがあります。水は生きていくうえで最も大切なものなので気になります。
- ・ 現在生活排水や農業排水等によって地下水質汚染が悪化しております。(硝酸性窒素濃度等)そのため、これ以上悪化すると人体に健康被害が出るおそれがあります。
- ・ 地下水が茶色に濁っている地区がある。もっときれいになればと思う。
- ・ 熊本は地下水が豊かでおいしい水が飲めると言われてました。しかし、最近の地下水は大丈夫かなあと思います。熊本地震の時、井戸の水が硫黄のにおい、色が変わったりして飲料水としては使ってません。熊本市には関係があるかわかりませんが、菊池方面に大手の半導体が進出など経済は良くなるかもしれませんが、大量の水を使うと聞いてます。心配です。

#### ●水量について

- ・ 熊本市は地下水が豊富だと誇りをもっていました。水道水もおいしく、濁りもなくきれいでした。熊本地震のあと、水前寺公園の池を見てびっくりしました。だんだんと水源が厳しくなっていると聞きます。どうぞ、熊本の誇れる水を絶やさないでください。
- ・ 地下水は無限ではないので、大手半導体企業等の進出に伴う地下水の大量利用にて、枯渇危惧します。(熊本市や近郊の市町村や企業が進出することで繁栄することはいいことだと思いますが)個人個人の節水も大変大切なことであり、一人一人が心がけていきたい。
- ・ 水前寺公園に行くときよく理解できるが、地下水の湧き水量は激減している。池の水がよく底が見えている。今回、県北に大手半導体企業が参入して、大量の地下水を利用するものと思われ、質・量共に地下水への影響を懸念している。
- ・ TSMC 進出に伴い、地下水をかなり使用すると聞いているのでその対策や影響が大きいのではと危惧している。また、年々、田(稲作)をする農家も減っているため、地下水の量など貴重な資源が無くなるのではないかと心配がある。
- ・ 近年、地下水の量が減ってきているということをメディアで知り、今後、今のよう生活できる分の量が保たれるのか気になります。
- ・ TSMC が熊本にやってくるのは良いことだとは思いますが、熊本市の地下水が減るのではないかと心配です。企業の中で、できるだけ水を循環させるとは聞いていますが、かなり地下水が減ると思います。
- ・ 農地が減り宅地が増えていることで地下水の減少等を心配します。地形を考えると阿蘇方面の影響も大きいと思いますが、農業就労者の減少を止めるための対策も必要かと思います。若い人が積極的に農業を仕事として働ける仕組みが作れるとよいと感じます。

#### ●広報啓発について

- ・ 熊本市が奇跡の水循環都市であり、水道水が地下水で賄われるなど、地下水がとても重要であることをあまり知らない人が多い。地下水を守るために、市民が行動すべきこと、できること(田を守るために米を積極的に食べる、購入する、節水、森林保全に取り組む企業の応援など)をもっと認識啓発したが良いと思います。(小中学校で必ず勉強するなど)熊本市の地下水を育む構造を守ることが大切と思っています。
- ・ 家庭の水道を地下水だけでまかなっているのは熊本だけと聞いています。ぜひ、ずっとずっと続けていけたらと期待しています。水を大事にするという事をぜひ今から子どもたちに伝えていけたらと思います。
- ・ 地下水も限りある資源だと思います。水質や量など、保全活動が必要だと思います。

す。今後、大手半導体工場ができると思いますが半導体製造に水処理が必要なようですが、大量の地下水が使用されるのか、処理後の配水で汚染されないだろうか気になります。私の子どもが通っている小学校では、水検定の勉強をして受験していました。3級合格していました。子どもたちへの教育はとても大事だと思います。子どもの頃からの水の学習で大事な地下水を守っていきたいです。

- ・ 熊本市は地下水が豊富ですが、市民の意識が水を大切さが薄れていると思います。常に水の使用に対し、資源の重要性を高める機会を増やしたほうが良いと考えます。

#### ●節水について

- ・ 熊本市民の節水意識が低いと思う。現在のように水をどんどん使っていて、今後地下水が枯渇しないか心配。
- ・ 仕事柄、県外への出張が多いのですが、いつも感じるのは熊本の水の美味しさです。普段お世話になっている水道水でも格別です。本当に感謝しています。ただ、年々地下水量が減少していることも聞いており、個人的には節水を意識して生活することは必要だと思っています。この地下水資源を後世に繋いでいくためにも県を中心とした熊本市や周辺市町村など広域圏でのかん養地の保全対策を今まで以上に進めていただきたいと思います。
- ・ 地下水に恵まれている熊本は県民にとって誇りですが、永遠に続くようにしたいですね。まずは、こまめに水道水は出しっぱなしにしないようにする。
- ・ 地下水は一生あり続けるものでもないの、地震で経験したので、もう少し節水の努力をしていきたいと思っています。
- ・ 熊本の豊かな水資源にも限りがあることをひとりひとりが意識をして、水を大事に節水に日々心がけが必要と思う。
- ・ 熊本の地下水はミネラルウォーターで優良な水。その水をトイレの水や水まきに使っては本当にもったいない。水で戦争になることも将来は可能性あると思います。水まきの利用など検討してほしいと思います。
- ・ 節水型の洗濯機の購入促進やすすぎ1回の洗剤の購入促進をしてほしい。
- ・ トイレの水も地下水なのはもったいないなと感じます。ありがたい地下水なので、ずっとつかえるようにできたらいいなと思います。
- ・ 世界を旅して思ったことは、安全でおいしい水が飲めることに感謝しています。行列に並び水を得、汚れた水を飲まなくてよく、汚れた風呂に入らなくてよいことにありがたさを感じます。そのためには水の無駄使い、出しっぱなしをしない様にする。野菜を洗った水、洗濯のすすぎ水をトイレに流す。歯磨きにはコップ一杯の水ですすぐなど。汚れたものは紙で拭いた後、洗うなど心がけたいと思います。
- ・ 熊本は地下水が豊富といわれているが、いつ何が起こるかわからない。もっと大事に使ってほしい。白川の河川敷にゴミが散らばっています。食べたり飲んだものは持ち帰りをお願いしたい。散歩していやな気分です。
- ・ 潤沢だと言われる熊本の地下水を、未長く後世に残してあげるために、多くの人に努力して欲しい。

#### ●その他

- ・ 水道のカルキが多いなと感じる。
- ・ 我々の年齢になると現状で困ること望むことはあまりない。十分、整備機能していると思う。
- ・ 熊本市は他の都市などと違って上水道を100%地下水でまかなっている。その水は大変おいしくて自慢できるし満足している。
- ・ 地下水の汲み上げ量、湧出量のバランスの完全把握が難しいのではないかと。地盤沈下等の危険性は大丈夫なのか心配します。
- ・ 近所を流れる下水がすごく色がきたなく汚れている。生活排水が直接出てきてい

るのも考えられるが、それが処理されず流れている状態なのも気になる。匂いがする時もある。各家庭でできる事は行うべきだし、今後下水等について問題視していきたい。

### 3 「ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況」についての意見

#### ●ルール違反ごみや不法投棄について

- ・ 公園にごみやポイ捨てなどがいなくなってくれたらいいと思う。
- ・ 高速道路付近には多くのごみがポイ捨てされている。外国や県外から旅行客、バスが来るようになると思うのでないほうが好印象ではないかと思う。
- ・ ごみ収集が守られていない。ごみカレンダーを見ていないのではないかと思う。自分の家が良ければいいのかなあと考えています。
- ・ ゴミ収集のルールを守らない方が多いように思える。ゴミの種類、分別、時間など。ゴミカレンダーを確認していれば間違えることなど無いはずなのに、意識が低いのかなと思う。熊本市のアプリはかなり良くできていて、毎日チェック、利用しているのもっと周知したらいいと思う。
- ・ 自宅近くにながれる川沿いを散歩していてもごみの多さに残念な気持ちになる。ごみのポイ捨て防止の呼び込みかけとともに、ごみを収集する市民全体の取り組みが最近薄れているような気がする。
- ・ ゴミ出しルール違反はもちろんのこと、カラス等によるごみの散らかし、道端への使い捨てマスクのポイ捨てなど、とても気になります。ごみの分別がきちんとできていてももう少しごみの量が減らないものかと考えてしまいます。
- ・ お一人お一人が相手の立場に立ってすること。ごみを出すにもマナーがあるので、市の職員さんはお仕事かもしれませんが住民のため、市のため、働いておられると思います。皆が「きれいに」を心がけたらもっと住みよい市となると思います。
- ・ ごみカレンダーをいただいているのにルールを守られない人がいるのが残念です。組でごみ収集後の当番を決めているのですが、若い方は働いておられるので大変と思い私たちができることはしたいといつも心がけています。(ごみ収集される方々に感謝しています。私たちの組は植木の手入れ草取りとみんなで心がけています。)
- ・ ごみがそこら中に転がっているのをよく見る。他の地域に比べて景観の美しさを保つための取り組みは積極的に行われているとは思いますが、道端にごみを放置してしまう人達を取り締まる必要があると思う。
- ・ 熊本市というより自宅周辺の住民の意識が直接的な要因になりますが、ごみをポイ捨てしたり、ゴミ出し日の前日にゴミを自宅外に置いている為、カラスに散らかされたりする事例があります。
- ・ どの地域にもゴミステーションの設置はあるはずですがルールを守らない人が多い。
- ・ ポイ捨てなどをしている人がいるのでその人が自然を壊していると思う。
- ・ 一番身近なごみ出しが気になります。地区によってはごみに対し場所が悪かったり、件数に応じてのゲージが小さい、カラスが食品等取り出すなど、もう少し工夫して行えるとよいと思う。
- ・ 近くの公園にゴミが捨ててあることがある。ゴミを持ち帰らず、道路などに捨てる行為がとても多い。

#### ●リサイクルについて

- ・ 出来るだけ量を少なくして出しているが限界を感じてしまう。ペットボトルや食品トレーは近所のスーパーへの回収へ出すようにしています。
- ・ 衣類など、リサイクル品を集める所に持参不可能なこと。
- ・ 外出先で飲んだジュースの空きビンやペットボトルは自宅に持って帰り、水洗いしてリサイクルに出したり、野菜や果物の皮は2日ほど室内で干して水気を取り、

燃えるゴミに出したりしています。あと、電気やガスは必要以上に使わないようにとか、自分なりの環境にやさしい生活をめざしています。

- ・ 不要な食器(新しい)や花びんなど、それに家具などリサイクルできるしくみ(場所)を作ってもらいたい。徳島県上勝町の、分別してリサイクルする取り組みが参考になると思います。(リユースショップに持ち込み、だれでも無料で好きなものを持って帰れる取り組みなど)
- ・ リサイクルできそうな家具家電日用品など、交換会、譲渡会フリーマーケットなどができたらいいなと思います。ただリサイクル品を出しただけだとその後どうなってるかわからないからあまり出たく無いです。
- ・ ごみの分別で有料のゴミ袋を使用していますが、ゴミ袋もプラゴミなので袋もなくなるゴミ、リサイクル品回収になればいいと思います。ドイツのような細かな分類でリサイクル率が高くなるような仕組みを考えていけたらいいと思います。それに伴い、小さい頃からの教育も大切だと思います。

#### ●ごみの分別について

- ・ ゴみの分別が大変。分からないままゴミを出して、後々間違えていたことを知り、理解するのが大変です。
- ・ 生ごみと瓶、缶、ペットボトルをよそから持ってきて、同じ袋の中に一緒に入れて置いてある。
- ・ ゴみの分別が皆わかられていないと思います。リサイクルできる物も製品になるまでをわかりやすく伝えていけたらいいと思います。

#### ●持ち去りについて

- ・ リサイクルごみを持ち帰り、リサイクル工場でお金に換えている。その場合、買い取りをせずお金を出さないようにしてほしい。また、ごみで出された家具、家電を修理して安く売る等、捨てるより再利用を心がける。
- ・ アルミ缶等のリサイクルできるごみの持ち去りがひどい。出してすぐ待っていたかのように車が来て持っていく。市の収入源となる缶や新聞紙の持ち去りパトロールをしてほしい。きれいに分別して知らない人に持ち去られると気分を害します。人件費やガソリン代もかかるので予算など大変でしょうけど全体的に考えたらマイナスにはならないのではと愚考いたします。

#### ●ごみの減量、ゴミ袋有料化について

- ・ ゴミステーションのごみの多さにびっくりします。
- ・ 家庭ごみの削減。100均等で安く便利なプラスチック製品を買う機会が多く、ごみを出してしまっている。必要なものを必要なだけ買い、大切に使うことを心がけたいと思います。
- ・ ごみの量が多すぎる。生ごみは家庭で土に返せるようにしたほうがよい。家電ごみ、大型ごみなどは買った店で処分できるようにする(ポイントなどに変える)。食品で残ったものは家庭で食べる。レストランなどでは食べられるうちに安い金額で食べられるようにする。給食の材料は昆布やいりこなど再利用する。残食がないように取り分けする。コンビニなどでは食品ボックスを作り処分前のものを配布する。
- ・ 各家庭ではごみの減量化に何らかの努力をすることもなく不要物を無分別にすべて排出していると思われる。
- ・ 物が溢れていて何でも購入出来るので、ゴミ削減やリサイクルが難しいと思う時がある。
- ・ ゴミステーションのごみの量の多さ。分別なく捨てられたゴミ袋や鳥による散乱等の問題が目につきます。

#### ●プラスチック問題について

- ・ プラゴミなどについて意識が低いのでは？些細なことですが、スーパーのレジで、豆腐や肉などのパッケージをビニール袋に入れるところがほとんどです。昔、豆腐のパッケージから水もれする、肉のパッケージから肉汁がもれる、など、セロハンやラップの技術が低い時代の名残だと思います。しかし、スーパーはこれを「サービス」として、意識しています。必要のある人がビニールを購入する、などの打診を行政がしてくださったらと感じます。

#### ●収集・回収について

- ・ 福岡のように、住宅前、時間指定、夜のみ、とするとゴミも散乱することもないし、違反者も出ない。本人の責任でゴミ出しをする高齢者や体の不自由な方にもやさしいゴミ出しルールを作り美しい街作りにもなるのではないかと思う。
- ・ 生ごみを家の前、及び横に出してよい場所に住んでいる。真夏の暑い日に交通渋滞が起きてないのに昼の3時ごろまで収集しない日がたびたびあります。暑い日なので天気も良く生ごみは腐ります。臭いがすごくしてしまいます。このようなことが度々起こります。解消方法をご検討ください。
- ・ ゴミ回収場が減らされたので困る。家庭にあるがゴミ回収してくれないもの(消火器など)の回収業者を教えてください。
- ・ カラス等によるごみの散乱。福岡市のように夜間収集していただけたら嬉しいです。

#### ●清掃活動について

- ・ 道路にポイ捨てゴミ（ビニール袋、空き缶、パックごみ等）が最近多いと感じます。地域やボランティア等で清掃を呼び掛け美しい街づくりが定着していくといいなと思います。

#### ●食品ロスについて

- ・ 必要なものだけ買う。

#### ●たばこ規制について

- ・ 街中の禁煙ブースが撤去されたにもかかわらず、平気で路上でタバコを吸っている人やごみをそのまま道路に捨てていく方が多数います。朝からボランティアの方々や子どもたちが一生懸命ごみを回収しているにもかかわらず悲しくなります。また、自分自身、釣りをするのですが、水俣港や天草の本土はとても港がきれいでした。ごみ一つありませんでした。ごみのポイ捨てやタバコの路上での禁煙をもっと厳罰化するべきだと思いました。

#### ●広報啓発について

- ・ ゴミのポイ捨てが散見される。それも大量の生活ゴミを道路脇などで見受けられます。各例等で厳罰化して規制する必要があると思います。（たばこの吸い殻含む）
- ・ 3年ほど前から民間の生ごみコンポストを使って生ごみ処理をしています。熊本市の生ごみ処理機の購入が簡単にできるようになればいいと思います。道を歩けばゴミが落ちています。一人ひとりの意識を高めるためにはどうしたらいいのかも考えてほしいと思います。
- ・ プラスチックごみによる自然環境の汚染は、熊本市だけの問題ではありません。プラごみの排出や廃棄を規制する国際条約作りが動き出したという新聞記事（R5/1/7付 朝日）を読みました。画一な規制は難しそうです。今、私たちができることは市民一人ひとりが意識を高く持ち、少しずつでもごみの減量やアップサイクルなどに取り組み実践していくことだと思います。現在はもちろん次世代を担う子どもたちのため、ひいては人類のためより良き環境を強く願います。

●その他

- ・ ゴミ収集場所がガラスや猫などでゴミが散乱している所を見かける。
- ・ プラスチック製品に貼ってあるシールがはがれない。もしくは、はがれにくいいため、プラスチックゴミとして処理していいのか迷う。
- ・ ゴミ収集の場所が道路なのでいつも割り当てて掃除をしているところでこの頃きれいになっている所です。ガラスも来ないですよ。
- ・ ゴミ分別は当然だが、ゴミを少なくする意識の欠如。
- ・ 不法投棄されたゴミの撤去を進める仕組み、費用の補助など。一般家庭のゴミとして出せないルールの改善。

4「地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進」についての意見

●気候変動・温暖化について

- ・ 地球が温暖化していくと自然災害が大きくなっていくので、省エネや再生可能エネルギーに力を入れて少しでも温暖化を防ぎたいと思う。
- ・ 大雪、大型台風等が多くなった。春と秋がなくなった。
- ・ 熊本市内に限ってのことではないが近年の異常気象、特に夏の気温上昇で（熊本は特に盆地ということもあり）厳しい猛暑の中、冷房を使うことが必須となりますが電気代や地球環境への対策も必要だと思う。
- ・ 地球温暖化による異常気象が世界中で起きていて、自身が幼少期の頃と比べて、確実に災害が激化していると感じる。
- ・ この先、地球温暖化にて海水が上昇し水没してしまう国や島があることを何年も前から知っていて対策は進んでいるのでしょうか。
- ・ 地球温暖化のため、失うものが大きい。未来の子どもたちのために、私たちにできることは難しいと思う。日本のような小さな国だけ行動しても限界があり、大国、中国、米国の協力が必要。（もちろん全世界）
- ・ 個々の心がけ、暖冷機運転の禁止などに気を付ける。
- ・ 地球温暖化防止はとても広範囲であるし、難しいけれど次世代のためにもいい状態をつなぎたいと思います。（私たちは平和な世代でしたから）具体的には、国民に実態や問題点、解決のためのアイデア等を問い、可能な課題から処理していくなど。

●省エネルギーについて

- ・ 住民がもっと省エネできるように、太陽光パネル設置やクールチョイスをすることへの補助金など支援しやすいようにする。
- ・ 家庭単位で省エネを通し、環境に関心を持ちつつ冷暖房、給湯、照明等に関わる機器の選定から始まり、使い方、消費方法を無理しない範囲で心掛けるよう毎日の生活環境に目配りし、未来の課題を少しでもスローさせる努力が必要と考えます。

●再生可能エネルギーについて

- ・ ネオン、イベントの照明などの小型化 LED 照明への切り替えなどを推奨。各家庭で電力の使用量を 10%削減などの努力をする。再生可能エネルギーを生み出す企業を援助することによって、こうした取り組みをしてほしい。
- ・ 電気代やガス代などが値上がりするほか、ガソリン代の高騰など市民にとって生活に欠かせない資源不足をひしひしと感じます。一人一人がもっと再生可能エネルギーに関心を持って取り組んでいく必要があると感じています。市の環境を考えながら市民が学ぶ機会や情報の場を提供していただき、皆が協力して推進していくべきだと考えます。
- ・ 再生可能エネルギーをもっと身近に感じられたり利用できたりすることも大事だと思う。

- ・ エネルギーを極力風力や太陽光の再生可能なものに転換していくこと。公共施設の（庁舎・学校の屋上など）太陽光発電施設の設置。都市バスのEV化による排気ガスの削減。健軍電停から市民病院までの電車の計画は止めてほしい。中央分離帯の緑がなくなり軌道により車の走行が不便。低床バスのEV化で充分対応できる。
- ・ 再生可能エネルギーの一般家庭への普及がもっと安価で進んでほしい。

#### ●脱炭素について

- ・ 太陽光パネルやEV車など、とてもいいなと憧れますが高くて簡単には手が出ません。自治体、市、県、国でもっと導入しやすくしてもらえると嬉しいです。

#### ●その他

- ・ 温暖化防止はいろんなやり方があると思うが、今の私が気になるのは、買い物に行くのに車がないといけなところが多いこと。バスの路線がない。乗り換えがわからない。本数が少ない。など、どうしても車を利用せざるを得ないことです。
- ・ 地球温暖化防止について、一人一人が意識して取り組んで欲しい。ゴミの分別、ゴミを出す量を減らす取り組み等が飲食店での食べ残しを一人一人が心がければいいと思います。すぐに取り組むのは難しいと思いますが、意識を変えていくといいと思います。
- ・ 地球温暖化防止の問題は世界で行わなければならないが、個人個人が本気でやれば成功すると思います。私は、徹底してごみの分別、また、雨水を溜めて植木散水等を行っています。
- ・ 山や畑に太陽光発電パネルを設置するところが増えている。近年の温暖化による異常気象によって大雨で土砂災害の危険性が益々増加するのではと思う。勉強不足であるが、ソーラーパネルは自然破壊にはならないだろうか。
- ・ 熊本の夏は特別に暑いので、エアコンを使用しないと生きていけないです。温暖化防止になにもできていないと毎年思います。行政が温暖化防止のために緑地を増やしたり、豊富な水を使ってなにかできないかと思います。
- ・ 寒い日は重ね着するよりもエアコンで部屋を暖めるし、便利な生活を見直すことは本当に難しいです。環境について、一人ひとりがしっかりと意識して取り組むようにするにはどうしたらいいのか教えてください。
- ・ 東京都のように、新築の際に（賃貸アパート新築も含む）太陽光パネルの設置を義務付ける。太陽光パネルを設置する際の向きが近所迷惑になるものは除く。その際、断熱性、耐久性の条件も付しておく。
- ・ 何か協力しなきゃとは思っているが自分ができる地球温暖化防止に繋がる具体的な行動がよくわかっていない。また、行動するとお得なご褒美があると、より励みになる。（トイレトーパーなどの日用品がもらえるとか）
- ・ 区役所間で（特に夏）空調が入っているのだろうか？と思いたくなる区役所、寒くて一か所には居れない区役所があります。「節電しなくてはならない。」しかし「お客さまファースト。」との葛藤の上に生じた現象なのだろうと思いますが、統一感がないと本当に設定温度が必要なのだろうか。と混乱してしまいます。
- ・ 日頃より、環境の美化活動に意識をもって活動する心構えを持つ。
- ・ 行政の力で防止を考えてほしい。が、自分自身でできることは、わずかでも努力したい。水のむだ使いをしない。プラごみを出さないなど。
- ・ なんでもエコに協力したいがそれにはお金もかかるしなかなか難しい。
- ・ 太陽光発電への助成を増やす。
- ・ 税金や補助金等のエコカーへの補助を増やしてほしい。

### 5 「まちなみ景色の美しさや、公園や緑地の多さ」についての意見

#### ●街並みについて

- ・ イチョウ並木の道路を通るとき感じるのは、落ち葉になると道路脇とかその他に乱雑に舞い上がっています。植え込みの中とか汚くなっていてとても残念です。定

期的に清掃があるのは知っていますが、3~4か月後くらいです。歩道を見ると年配の方がイチヨウの葉を踏んですべっている姿をみかけることもありましたが。熊本にとってイチヨウの木は大事なのでどうすることもできませんね。

- ・ 街路樹が大きくなりすぎて特にイチヨウはやっかい。間引きしてほしい。
- ・ 近くの街路樹が市の予算の関係で切ってしまうこと。
- ・ 街路樹について、老木・大木が多く現存するなか、台風、地震、病害、寿命(折れ)、落葉などの弊害が多くなり、生命を及ぼす危険による事案も出てきています。交通信号、道路標識が視認。木の根による道路破損。木と木の間隔が狭く見通し。街灯の照明など、大義名分で樹種を植栽するとメンテナンス(剪定作業)などに高額な予算が必要として、後世に弊害をもたらします。【緑多い町づくり】には将来見据えた政策をお願いいたします。
- ・ 他県から来たが、道路事情は今まで住んだ土地の中で一番悪い。街路樹も少なく街灯も少ない。道が狭く、くねくねしている。もっと先を見据えて道路計画をねるべき。公共交通機関を使って文化施設、公共施設を利用することもできないため、車が必須で環境を悪くしている。もっと長崎や福岡のようにおしゃれな街並みにしてほしい。
- ・ 私は道路沿いの木々が電線を超えていたり、雑草が生い茂っていると何とかならないものかと思いながら車を走らせています。
- ・ 中心地はきれいだが、少し郊外になると街路樹や花など荒れている。
- ・ 河川(大小の川)と街並みの調和した街づくりをしてほしい。
- ・ 新町に代表されるように熊本の古き良き風景がなくなった。
- ・ 地区ごとの特色が活かされていない。(特に城下町など)
- ・ 新町など、久々に数年ぶりに行ったら、古き良き雰囲気(霧)の街並みがなくなってがっかりでした。細工町、二本木町等も若いころは古くさくて変わらないと思っていましたが、年を取って、熊本は城下町でその城の囲いは昔ながらの町であってほしいと思っています。よいものを残してほしいです。
- ・ 街並み(市内中心部にしても)に統一感がなく、色があふれている(看板・のぼり等)。のぼりの使用、色の指定などをもっといいのではないかと。街なかを歩いても、木陰で少し休み小さな公園ベンチなども少なく、建物がギリギリで作られている。余裕のある造り方をしてほしい。
- ・ 低層住宅地が代替わりで空き家となり、それが取り壊され空き地となることで、緑地がどんどん無くなってきている。その空き地には、マンション、アパート、駐車場などが無造作に作られている状況で、街並みの景観など全く考慮されていない現状です。
- ・ 自己所有の土地の木々の手入れが出来ないのか、しないのか、道路側に出たり、生い茂っている中にゴミを捨てて行く人がおり、景観が損なわれている。
- ・ 草木の剪定、補修等定期的な整備の実施。

#### ●公園や緑地について

- ・ 職場が山鹿市であることもあり、自宅(東区)と比較すると伝統的な建物が並ぶ道や自然あふれる緑の多い公園などはないなと感じる。また、自宅の近くは、熊本地震で仮設住宅を置くため、一度使えなくなった公園や、規制のかかったままの道路などあまりにもイレギュラーのままが多く、落ち着けないと思います。
- ・ 広範囲なので、各区にとって(区内においても)かなりの実態差(地域差)があることは明白ですが、北区においては「小野泉水公園」や「田原坂公園」など、看板他、劣化のひどくみられるところもあり、整備を進めてもらい、地域住民の集いの場のみならずもっと他から多くの方が訪れてもらえるスポットに広めてほしい。特に北区でも最北の住居区である我が地区はごく身近でも何軒もの空き家があり放置状態。市のほうで何か対処し、有効活用できないものかと思う。
- ・ 市電に緑のカーテン(ジュータン)を増やしてほしい。道路にパンジーなどのお花を生けてほしい。公園の草取りの取り組み。

- ・ 富合町に住んでおりますが、田んぼをつぶし、どんどん住宅が建設されて子どもの人口がどんどん増えていると実感するのですが（小学校の校舎の新設中であることから）子どもの人数に対して“遊ぶ場所”の少なさに悩まされます。迴江校区に住んでおり、住宅が近くに2〜3カ所、ほんとに小さな公園（5〜6人くらいしか入れない）しかないし、小学校は校舎新設中で重機などが行きかっている。遊具もない。必然的に“道路”や“人の家”で遊ぶことも多く、決められた“ルール”を守らない子ども（親も）が目につきま（道路族が大勢います。いつか事故します！）。東区にある“江津湖”が大好きで遠いですが頻繁に出かけます。遊具はなくても何もなただ広い公園があれば子どもたちの遊び方も幅が広がって豊かな感性が生まれるのではないのでしょうか。
- ・ 市街地にももう少し休憩できるような公園や子どもたちが遊べる公園があればいいなと思います。
- ・ 森の都と言われている割には、市内中心部に緑は少なく広場や憩いの場所も少ない。ゆとりある街並みの感じがしない。もう少し緑化運動に力を入れてほしい。緑化はすべてを良い方向に変えていくことができると思います。
- ・ 公園や緑地が増えてきたと思うが、花博の時はきれいに整備してあった花も終わった後、伸びきっていた場所もあり、維持は大変かと思うがもう少し花や緑が増えて欲しいと思う。そして、花の名前が書いてあるとわかりやすいです。
- ・ 現在植木町に住んでいますが、植木町内には子どもたちが遊べる公園が少ないように思う。文化センター横に運動公園ができましたがそこに行くまでは遠くて住宅地に殆ど公園がなく、小さい子が遊べる環境がないのが寂しいです。
- ・ 公園や緑地の整備に力を入れてほしい。
- ・ 友人の案内で東京や横浜に出かけたときに、都会なのに街並みの景観が美しく、素敵な公園がたくさんあることに驚きました。熊本は水や空気がきれいで緑が多い都市だと思っていたので他の都市に劣っていることが衝撃的で残念でした。電車通りや県庁プロムナードのイチョウ並木の美しさや江津湖公園、坪井川緑地公園など、きれいな所はありますが、現状維持だけでなく「新たな魅力あるまちづくり」に力を注いでもらいたいなあと感じています。課題実現には予算の問題があり、難しいと思いますが、例えば「緑のまちづくり」の賛助会員(1,000円)、正会員(5,000円)で寄付を募るのもよいのでは？市民に「まちづくりを推し進めよう」という意識を高めると共に、予算も集まるのではないかと思います。協力のお礼として、金額に応じて、花の種や野菜の種、ホームセンターやナーセリー等で交換できる花の苗プレゼント券などがあれば喜ばれるし、各家庭での「緑ある暮らし」にも役立つと思います。
- ・ 近所に公園がない。子供が近くに安全に遊べる場がない。熊本全体的に道路の作りが整っておらず、安全面でも環境面、景観についても課題と感じている。
- ・ 中心街に大規模な公園を設置してほしい。現在は熊本城以外の樹々も少なく中心街が殺風景なイメージが強いと思います。樹々へのイルミネーションとかも実施してほしい。
- ・ 他の自治体がない熊本市独自の街づくりを期待している。
- ・ もっと街中にも緑が増えたらと思います。サクラマチももっと緑があって、涼しい場所であつたらと思います。セントラルパークみたく、森の木陰ができればよいのに、お城も見えてとても素敵になるかと。

## 6 「大気の状態」についての意見

- ・ トラックの排気ガス。工事現場の騒音（土日は休みにしてほしい）。
- ・ 地球温暖化による災害等の発生は大気の状態の異常だと思います。長年の汚染なので、これからの未来の子ども達のために少しでも良くなっていけばいいと思います。
- ・ 熊本市は渋滞が多いので、それによる大気汚染が心配です。
- ・ 近くにある業者から出る、廃棄する際に出ている煙に色がついていたり、臭いが

- ひどかったりするため、大気汚染がひどいのではないかと心配になることがある。
- ・ いろいろ思っても自分だけでは何もできない。皆一人一人が今までいろいろとわからず汚染してきたので何をどうしたらよいか自分でわからない。悪いことは行わないよう気を付けていく。
  - ・ バイパスも周囲道路も渋滞によって、CO2 排出量も増えるから、道路整備を最優先すべきだと思う。年に1度ほどしかないが、バス0円の日は渋滞緩和だけでなく、環境にも優しい。年に何回かあればよいと思う。バスも電気にしたり、車以外の交通手段が使いやすいよう整備してほしい。
  - ・ 住宅区域でも車の塗装業が近くにあって、薬品を燃やしたようなスモッグ臭がするようになった。大気汚染をモニターして、注意できるような枠組みが欲しいと思います。あと、バイクのツーリングなどで集合してしまうと、エンジン自慢みたいなことをするので、それで10台程度のバイクが排ガスを排出して30分以上たむろすることになります。私はタバコを吸いませんが、正直、分煙よりも、バイク好きが排ガスと騒音をまき散らしていることの方が有害のような気がします。ごみとか景観は非常に良いと思う。目よりも鼻とか耳の分野に力を入れてほしい。
  - ・ 黄砂やPM2.5の問題をどうにかしてほしい。
  - ・ 渋滞緩和による自動車排気ガスの削減対策。路線拡充による公共交通機関利用者数増加。公共交通機関の再生可能エネルギー対応促進。を取り組んでもらいたい。
  - ・ 大気の状態と静けさがどれだけ保全できているかが今後の課題だと思っています。

## 7 「河川など水辺の美しさ、清潔さ」についての意見

- ・ 坪井川が臭く感じる（四王寺橋あたり）。
- ・ 河川の水不足等により、雑草や汚れているところがみられる。
- ・ 健軍川の除草を年2回はしてください。今は年1回しかされていません。
- ・ 加勢川で大繁殖するウォーターレタスの駆除。
- ・ 外来植物の異常増殖、在来種の減少、水源地の水質悪化、今取り組まないと悪くなる一方。
- ・ 家庭からの排水が直接川に流れていることがある。
- ・ 城下町を感じさせる河川設備。
- ・ 幼い頃は蛍がいた場所からいなくなっている。
- ・ 昔は白川などで遊んでいましたが、最近は他の河川も含めて濁っており、近づきがたいですし流れ出る海も心配です。
- ・ 白川などごみなどが多くみられ水の都とは言えず観光客に恥ずかしい。
- ・ ここ数年「線状降水帯」が多く発生し、川の氾濫のニュース（全国で）をよく観ます。私が住んでいる所は白川のそばで川のカーブが90度くらいあるので水量が増えると外側の土がえぐり取られたり、水の勢いで氾濫しないか不安です。
- ・ 環境に対する勉強会を自治体と一緒に進めたらどうか。自治会にも色んな会があります。環境推進会等を作ったらと思います。
- ・ 一人一人の河川の意識を深める。ゴミを見つけたら拾う。水辺の生き物の配慮（生活污水の縮小化）。
- ・ ポイ捨てのごみが河川等に多くゴミ拾いボランティアを実行しているので感じる。
- ・ 河川や海岸のごみ清掃をするだけでも大々的にやればかなりの環境整備になるし、水をきれいにすることは生活をするうえで、一番大事かと思っています。子どもたちの世代に難題を残さないようにするのも今、社会を担っている我々の責任かと思っています。
- ・ 熊本市内で川がよどんでごみがたまって草がいっぱい生えているのをいくつか見たけど、目を避けたくらい心が痛みました。せめて、ゴミだけでもなんとかとれないかと思ったことがありました。小さな川でしたけれど、こういう小さなことからこつこつときれいにするのも大切かなあと思いました。

- ・ 川沿いの土手など、草が生えて汚い（年一ぐらい、11～12月頃切つてあるが、回数を増やしてほしい）。

## 8 「生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）」についての意見

### ●騒音・振動について

- ・ 自宅はあるところが街の近くなので車の騒音や振動がかなりあります。たまに地震？と間違えるくらい振動があります。
- ・ 家庭内からでる騒音（ポイラー、エアコン室外機等）。
- ・ 団地がすぐそばにあり公園もあるため夜遅くまで（21時ごろまで）ボールで遊ぶ子ども（高校生）もいてかなりワーワーギャーギャーうるさい。また、団地の子どものマナーが悪く、道路上で平気でボール遊びしたりチャリを乗り回したりしていて危険。
- ・ 最近、我が家の横を車が通るとき家の中にいるときなど、振動が強く地震かと思う時があります。地下に空洞化しているところがあるのかと思う時があります。
- ・ 道路沿線に住んでいますが、地震以来、大型トラックが走るたびに振動と音がひどく家が揺れます。また、水路も水がない時期は悪臭がすごく困っています。どうにかならないものなのでしょうか。
- ・ 上水道や下水道の工事後割れ目ができ、配送車や大型が通るたびに家が振動する。我が家だけではなく、周りの家も振動すると言っておられます。
- ・ 隣が工場の為、作業の音や話し声、大型トラックの騒音、振動など隣接する住宅に対する配慮が不十分だと思う。

### ●悪臭について

- ・ コンビニなどの屋外に喫煙所があるが、悪臭があり臭い。また、見栄えも良く無い。加熱式にしても悪臭である。
- ・ 電車通りではイチョウがずらりと並んでおり、毎年綺麗な紅葉が見ることができますが、落ち葉や実の処理が追いついておらず、転倒や悪臭の原因となっているので残念です。

### ●動物による被害等について

- ・ カラス、ムクドリの大量のフンが街中だけでなく、住宅地にも多い。街中に車を停めると（立体ではないパーキング）必ずフンが車の窓に落ちていて気持ち悪い。
- ・ 街なかのカラス対策をされているとニュースでも観たが、冬のフン害は見た目も臭いもひどく、せっかく整備された桜町付近も台無しだと感じている。難しい問題だが、市街地、活性化のためにももっと対策に取り組んでほしい。
- ・ ゴミ出し後にカラスがゴミを散乱する。特定の場所にカラスが集まりフンを大量にまき散らす。
- ・ 緑が多いが剪定など管理ができていない。そこに、野鳥、野良猫などがすみ、歩道に糞尿の汚染と悪臭がある。
- ・ 街なかの（飲食店街の道（裏通り））通りにカラスがゴミを食いちぎってあちらこちらに食べカスを散らかして不衛生で不潔で通りが不愉快に思います。裏通りをカラスなどが寄ってこないよう生ごみは始末してほしい。

### ●その他

- ・ 今は問題なく暮らしていますがもし困ったことが発生したときどこに相談したらよいかわからないので教えてほしいです。
- ・ 近所の空き地の管理がなくなって、草がぼうぼうしていて治安や清潔さがない。とても不快。
- ・ 佐賀県から引っ越してきたのですが、中央区辺りがちょっと治安が悪くて怖いなと思う。

## 9 「環境に配慮した道路、歩道などの整備」についての意見

### ●道路の整備について

- ・ 東バイパスの旧市民病院前から浜線までの渋滞を緩和するため、電車通りとの交差点を立体交差にするべき。市電の終点も渋滞するため、電車の降車した人たちが停留所から歩道へ行く場合に信号待ちにすべき。
- ・ 道路や道幅が狭い。ゆとりのある道幅を整備してほしい。
- ・ 交通量が多いところに歩道がないところがあり、運転が怖いことがある。
- ・ 水前寺に子どもの頃から（S22年～）住んでいるが、県道の幅の広さが昔のまま大型バス、大型車、現在の普通車は大きくなっているのに離合するのにしわ寄せは歩道になっていて、高齢にはバス停でさえ狭く、自転車が来たらぶつかりそうです。雨時には傘も差せない歩道。大雨になると道路水があふれなど水の行方が不明。せまい道路、まがった道路と交差点（五差路）など、走りにくいし危ないのでぜひ車は一方通行にして、歩行者を守るつくりにしてもらいたい。車優先が多い熊本だなと感じる。最近見かける、信号右折方式はよいと思います。
- ・ 今、南区に住んでいます（島町）。新しい道路、歩道は安全のために必要でこの周辺は狭い道も多く整備を切実に願っています。また、目の前の道路が新港から浜線に行く57号線なのでバイクの暴走族の騒音が毎日うるさくて困っています。警察の取り締まりも強化していただきたいです。
- ・ 交通渋滞の緩和、自転車専用道路の整備。渋滞するとその分バスが排気ガスをずっと出ていることになるし、自転車が乗りやすいなら近くだと自転車を使う人が増えて少しでも環境に良いと思う。バスレーンも増やしてほしい。
- ・ 歩行者、自転車、車がそれぞれ走行しやすい専用道路がもっと出来ることで事故が防げるので整備を強化していただきたいと思います。
- ・ 段差や狭い道路が多くてすれ違いもできないため危ない。自然素材の手すりや柵など（ガードレールが無理なら）で安全を確保してほしい。景観を配慮して検討してほしい。
- ・ 熊本市内は交通量に比して道幅が狭い道路が多いように思う。そのため歩道の幅も十分ではなく、車と歩行者や自転車との接触事故の危険性を日常生活の中で感じることが多い。
- ・ 朝夕の通勤時、歩道と車道の区分がなく、いつ事故が起きてもおかしくないと思いつながりながら通勤している。
- ・ 道路と歩道の境がわかりづらい道が多く、水を撒いている人に何度も車にぶつかりそうになりとても危険と思った。
- ・ 自転車専用道路が増えればよいと思う。
- ・ 車イスでの移動で不便を感じる。歩道が斜めだったり狭かったり、ガタガタだったりと通れない所もある。横断歩道を渡る時などもガクツとなる。歩道と道路の段差がないようにしてはあるが、もう少し緩やかにしてほしい。
- ・ 歩行者が使いづらい狭い歩道や、信号のない横断歩道（近くの信号等の影響がない限り車が止まることが少ない。）など、車以外の人に対応する整備をしてほしいです。
- ・ 道路が陥没している所が多く、車の運転がしづらい時がある。
- ・ 道路が狭くて離合しにくいところが多く、電線が地下に埋められていない。

### ●歩道・自転車道について

- ・ とにかく道が狭いと思います。道路もガタガタ（デコボコ）のところもあり自転車にも乗りますが危ないところもあります。
- ・ 歩道の狭く斜めになっているところが多く歩きにくいし電柱もじゃま。
- ・ 歩道が狭すぎるところがある。自転車の利用者ともきっちり分けて歩けるくらいの歩道の広さがほしい。
- ・ 景観を考えての歩道のタイル貼りなのですが、雨が降るとかなり滑るところがあり、危険だと思う場所があります。

- ・ 県立劇場の前から産業道路の交差点の箇所の歩道のタイル（テラコッタ風）をすべて変えていただきたいです。特に雨や落ち葉がひどい季節は自転車のタイヤがブレーキをかけると滑り本当に危なくて怖いです。自転車で通勤しておりますが、何度か転びけがをしたことがあります。そのたびに市役所に連絡したく悩んでおりました。本当に雨降りの日は怖いです。高校生もたくさん通学するところなので本当に心配です（何度か転んだ時を見ています）。命に係わる事例だと思えます。何卒ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・ 歩道とかがタイルでしてある処は古くなるとはがれ、私の知人とかが転倒して入院された方もいます。タイルは使わない方がよい。自転車で通っていても危ないと感じたことが数十回以上あります。道路にヒビが入っている処も多い。
- ・ 朝に仁王さん通りを車椅子で移動される方を見かけます。歩道が狭いので車道を通っていらっしやいます。歩道が広がったなら安全なのだと思います。
- ・ 高齢者やベビーカー、車椅子が安心して通れる歩道や横断歩道を整備してほしい。ゆずりあいの車の運転（学校付近の横断歩道等）をしてほしい。
- ・ 道路がななめになっていてカートを使っても歩けません。歩道と道路の段差やいろいろと不便です。若い人や健康な人にはわからないと思いますが、体の悪い人の意見も聞いて工事設計をしてもらいたいと思います。
- ・ 自転車道の整備が進んでいるが、これをもっと広げると自転車通勤や通学が増えていくのではないかと思う。
- ・ 大通り以外の道の歩道は側溝の蓋の上となっているのが現状である。そこに電柱が立っているとそれをよけるために車道にはみ出ねばならない。歩行者だけでなく自転車も通行するので大変危険である。歩道が整備されれば車も減速することなく通行できるので渋滞緩和にもつながると思う。市では渋滞解消に車のことしか考えてないようだが、歩道の整備のことも考えてほしい。また、側溝の蓋の上の歩道では車イス、目の悪い方の通行は難しい。すべてのひとにやさしい歩道の整備をお願いしたい。
- ・ 歩行者（杖の人や車イスの人、ベビーカーなど）が歩きやすい歩道整備がなされると、車ではなく「散歩をしよう」ともっと今より思いやすくなると思います。私は1歳児育児中ですが、自宅を出るとすぐの道がデコボコで子どもが歩きやすい道ではなく狭いため危険と思い散歩や運動のために車を出して歩きやすい場所へ連れて行っています。エコじゃないですよ。ベビーカーでもデコボコで操作しにくいので同様です。また、私は実母が介護2で車イスなのですが、ごく近所への通院も道路状況が悪くて散歩がてら外に車イスを押していくことができず、2分の距離ですが車を出しています。広く、段差のない道が増えればうれしいです。
- ・ 市内は十分な幅の歩道が少なく、児童や障がい者の歩行に支障をきたしていると思う。
- ・ 街灯がもう少し明るいといいなと思う。
- ・ 環境に配慮した道路がどういうものかはわかりませんが、歩道の狭い道路はよく見かけます。交通量の多い狭い道路は歩行者の歩くスペースがほとんどない道路が多いと感じます。特にお年寄りや小さい子ども連れの親御さんは危険で仕方ありません。歩行者用スペースの確保のご検討をよろしくお願いいたします。
- ・ 自分が高齢になり歩きに不安が出てきて始めて道路の段差や道幅が気になってきました。車道と歩道のはっきりした区別があればいいですね。

#### ●通学路について

- ・ 小学校のまわりの道路歩道が整備されてない。
- ・ ある程度の広さがある歩道にしてほしい。私の住んでいるところの前の道路は途中で歩道がないところがある。交通量が多く小学校の近くの道路なので区画整理して歩道を確保してほしい。
- ・ 歩道が一部とぎれているところの用地買収をしてほしい。子どもと通るときに危ないのでお願いします。

- ・ 場所によっては歩道が本当に狭く、登下校児童の安全を守れるか徹底調査していただきたい。
- ・ 通勤、帰宅時間帯の交通渋滞を緩和することによって大気汚染を悪化させない。小中学校の通学路の再考が必要。決められた通学路でも道幅が狭く危険を感じた道がある。また、通学路での警察の取り締まりの強化もお願いしたい。
- ・ 家の近くの通学路（市道）が、木の葉、竹の倒れなどでとてもよい環境といえない。車イスも通れない。
- ・ 徒歩で通学する子どもたちの安全が守れていない道路が多い。大きな通りに入るまでの道路のことを考えて対策してあるようには思えない。白線が完全に消えているのにいつまでもそのままな場所もある。

#### ●渋滞について

- ・ 通勤、帰宅、休日などのラッシュ時には、かなり渋滞する。渋滞する箇所はやはり交通量や歩行者も多いため緩和・改善が必要かと思う。
- ・ 道路が整備されれば車が通り排気ガスが出て大気汚染につながると思います。本当に必要な道路の整備には賛成ですが、現状には疑問が残ります。公共交通機関の整備に力を入れていただければ車も減り高齢者ドライバーの事故も減ると思います。渋滞軽減のためだけの道路整備には疑問です。
- ・ 交通渋滞を解消してほしい。立体型交差点や都市高速、モノレールなどを作ってほしい。
- ・ 交通渋滞を緩和しないと車の排気量が増えると思います。
- ・ どの道も交通渋滞が激しく、狭い道も多い。道路が狭いからなのか自転車マナーも悪い。土地柄なのか狭い道に限って、車同士の離合や本線への合流等、譲り合いが一切感じられず渋滞の原因にもなっている。
- ・ 交通渋滞がワースト1と以前テレビで言っていました。交通渋滞により排気ガスで大気汚染になるのでは。歩道も一部の所は車、自転車、歩道と分けて整備してあるわけではないので、交通渋滞を緩和できるような交通整備と人、車、自転車と安全に走行できるような環境にしてもらいたい。

#### ●運転マナーについて

- ・ 細い道でスピードを出して通る車に驚いたりするのでもう少し他人にも配慮するよう指導してほしい。学生などの並走自転車も恐いので学校などで教室などの指導をしてほしい。

#### ●街路樹や植栽について

- ・ 散歩道の草取り作業をしてくださるのはありがたい。ただ、夏の猛暑を少しでも避けられる樹々が次々と伐られていくのは残念だし気温上昇につながると思う。
- ・ 歩道や道路上に草木が繁殖していて、本来の機能を損なっている。
- ・ 道路わきに植樹されているものの、気が成長し、車を運転する際に信号機が視界の邪魔になるなどしている。植樹する木の種類と交通安全上の調和が必要。
- ・ 街路樹で歩道が狭くなり、自転車の車道通行が増加し危険。また、倒木や大量の落葉など、管理に問題がある。環境への配慮も大切だが、利便性や安全性も考えてほしい。
- ・ 歩道の整備が気になりました。自転車で通学する子どもがいますが雑草（道をおおいかがさる程成長しているとき）や木の枝が伸び歩道まで出ていたり危険度もあります。殺伐とした道も雰囲気悪く見えます。
- ・ 歩道などに緑があるのは良いことだと思うが。そもそも歩道や道路が狭いところが多く、見通しの悪さやより歩道を狭くしているところもある。それを踏まえたくえで整備してほしい。
- ・ 特に問題があるとは思わないが強いて言えば…イチョウの木が沢山あるが、散ると乾かないし滑りやすいし粉々になるし、個人的にはあまり好きではない。道沿い

の雑草は定期的に手入れをされているが、私は個人的にキレイにしたい時がある。ただ、勝手にするわけにもいかないと思うので、手は出さないがもしボランティアでやれるような機会があればやりたい。

#### ●公共交通について

- ・ 公共交通機関を使用しやすい環境へ。→CO2削減、昨今問題の高齢者の免許問題改善につながる。先日の無料DAY、利用させていただきました。職員さんは大変だったと思いますが、普段使用しない人のアピールになったのでは？と思います。
- ・ 交通公共機関が発達、整備されるとマイカー利用が減ると考える。高齢者の移動も便利。事故も減少すると思います。
- ・ 公共交通機関を使用しやすい環境へ。
- ・ 交通公共機関の利便性の悪さが車社会を作り上げていると思います。駅を支点にするのか、街中にするのか、公共交通機関ではとても動きにくく、緑は多く環境は良いのに残念でなりません。
- ・ 交通手段がないところが多いため、車での移動が多い。車がないと思うように行動することが困難。

#### ●都市計画について

- ・ 主要幹線道路にしばしば渋滞が発生し、無駄な時間とガソリンを使ってしまう。それが影響して、公共交通機関であるバスを使っても時間が安定しない。大西市長が進めている市電の延伸や熊本電鉄との接続を実現してほしい。鉄軌道の公共交通の方が定時性に優れているのは明らか。自転車専用レーン設置もお願いしたい。
- ・ 都市高速を一刻も早く整備すべき。

#### ●道路の維持管理について

- ・ 車道のラインが消えて見にくいところがあり、夜の運転が怖い（バイパス系の所にみられるところがある）。
- ・ 市道に水はけが悪い場所がある。大雨の際に水はけを良くできるようにするべき。
- ・ 点字ブロックがわかりにくい箇所がある。
- ・ 道路の路上の線が消えかかっていたり、道の舗装が必要なところがあると感じることがある。
- ・ 朝夕の通勤ラッシュ時に交通渋滞が起きやすい。通勤にバス市電を使いやすいような環境整備。もしくは自転車通勤を増やすなら自転車専用レーンなどを整備する。車と自転車が同じ道を走るのは危ない。故意でなくてもひいてしまったら車が悪くなるので。
- ・ ミラーがあれば多少安全であろう箇所が複数ある。
- ・ 温暖化対策アスファルトを敷設するなど工夫ができるといいと思います。

#### ●その他

- ・ すべてのバス停に最近でも日よけとベンチは設置してもらいたい。老人がこれだけ増えているというのに少しも配慮を感じられない。老人も大いに外出すべきだと考えているが、老人が外出しやすい工夫をぜひ考えてもらいたい。
- ・ 環境問題から少し外れているかもしれませんが、交通渋滞を解消することで地球温暖化を予防できると考えています。さらに通勤している本人だけでなく会社にとってもコスパ&タイパ改善になります。
- ・ 熊本市各所の渋滞が酷く、車のアイドリングで地球温暖化が気になります。道路の整備で改善しそうだと思います。
- ・ 公共交通機関をよく利用していますが、バス停にイスなど休めるところがなく夏などは木陰もなく直射日光を浴びながらバスを待つのは苦痛です。病気で病院に行く際は日傘をさしたまま、もたれるところもなく立ちっぱなしは辛いです。熊本は

道幅がせまいのでどうもならないのですが、これから先、お年寄りの方も交通機関を利用されることが増えると思いますが、優しい公共環境とは言い難いと思います。ご検討くだされば幸いです。

#### 10 「環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）」についての意見

- ・ 地域でのイベントや講習会などを増やしみんなが参加するように案内等をしてほしい。
- ・ 熊本市は環境問題に対し頑張って対処していると感じている。環境問題に関心のある人はそれなりに現状を知っていると思うが、関心のない人が多いのではないだろうか。熊本市(県)が目指している方向などを知る情報をもう少し流してほしいと思う。
- ・ 環境について、なにも知らないと何も始まらないと思うので、公民回答の出前講座などで学ぶ機会を実施してほしい。
- ・ 環境について学ぶというのは大切なことです。勿論、情報を得ることからスタートと思っています。インフルエンザの流行とコロナ禍（フルコロナ）で日頃から興味関心のある人、また、その関係者じゃない限り出かけませんし、イベント等開催しても何かのついでや道路であれば視覚的には目に入るでしょうが内容までは・・・という程度ではないかと思います。情報番組も3分程度で構えることなく自然に情報が入ってくる環境、もう1回観たい人、ちょっと気になった人はそれをYou Tubeで観られるようにすれば徐々にいろんな環境についてのことがわかってくると思います。その学びから現状課題等が明らかとなり、個々がどう感じ、どうすべきか、いろんな意見が出るでしょうし、何か開発するかもしれません。
- ・ イベントの開催ではなく動画配信など片手間で観ることができるものが欲しいです。情報はほしいですが、わざわざイベントまで足を運ぶほどはないと思ってしまっているので、手軽でスキマ時間に観ることができればと思いました。
- ・ 環境問題に関わらず、若い人たちを、どうやって巻き込むか、アウトリーチが課題だと思っています。熊本の若者には期待しています。
- ・ 好ましい熊本市の環境にするための規則を遵守しなければならないことを熊本市民が強く自覚するようなプログラムが必要と思われます。食べ物を歩きながら飲食する悪習、他人に知られないなら規則に反することをやる行動などが熊本市民としていかに恥ずかしいことかを周りの市民と共有すべきです。熊本市民が己に恥じない己を目指すべきです。世代を縦断して考え、行動する集団が欲しいですね。
- ・ 熊本市の環境現状を知りません。知る機会を教えてください。参加したいと思います。
- ・ 今まで一度も熊本市内の環境問題の情報を得たことがありません。

#### 11 問題があるとは思っていない

- ・ 熊本市の緑の多さ、お水のおいしさ、熊本城のすばらしさなど、すべてにおいて満足しています。これからもこのすばらしい熊本の環境などがずっと続くことを願っています。
- ・ 日常満足しています。
- ・ 環境がとてもよく維持し続け皆が住みやすい熊本を残す必要があると思う。特に地下水の豊富なところ、美しい阿蘇山、美しい天草の海を県外の人からも褒めてもらえるように日ごろから意識できる県民性を養ってほしいと思う。
- ・ ほどよく緑もあり、環境面で問題を感じてない。
- ・ 熊本ほど住みやすいところはありますか。市長さんやまた、市役所の方々の小さな気づかいがよい環境を作っているのではないのでしょうか。そしてそれに市民個人個人が気を使いよい環境をつくり出していると思います。

## 12 その他

- ・ これから育ちゆく子どもたちのためにも、きちっとした条例の作成などを急ぎ子どもを含め皆が感謝することが必要と思う。
- ・ 時代の変化に伴う生活環境の変化が今日速い(災害、デジタル、マイナンバー、経済、コロナ)。ゆとりある生活環境を望みます。
- ・ 一人一人の意識改革が必要。生活の中で具体的に取り組めることを知りたい。
- ・ 熊本市民の皆様が心よい環境の中で過ごしていただければよいと思います。
- ・ あまり出歩かなくなったのでわかりません。
- ・ 熊本市が抱えている問題を知らない。一般的な問題にはニュースなどで知り、できることから行っていますが、市の問題を知る機会が欲しい。
- ・ 本市も他都市のように、おしゃれなゴミ袋をレジ袋に使用できるようにすればエコバックになると思います。

### 3 参考資料（調査票）

#### 環境に関する市民アンケート調査（お願い）

市民の皆様へ



「環境に関する市民アンケート調査」へのご協力をお願い

日頃から、市政運営に対しましてご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本市では、令和4(2022年)3月に策定した「第4次熊本市環境総合計画」に基づき環境行政を進めており、その計画に掲げる施策に検証指標を設定し、毎年、進行管理を行っています。

このアンケート調査は、その検証指標等に関連して、市民の皆様お一人おひとりが、環境に対してどのように感じ、考えていらっしゃるのか、また、どう実感され、どのように行動されているのかをお聞きするもので、その結果を今後の環境行政に反映させてまいりたいと考えています。

皆様には、お忙しい中お手数をお掛けいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年(2022年)12月 熊本市長

大西一史

#### ■アンケート調査の対象者について

このアンケートは、令和4年(2022年)12月15日現在で熊本市に住民票がある、満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した3千人の方々にお送りさせていただいております。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。また、アンケートの回答により、個人が特定されたり、ご迷惑をおかけしたりすることはございません。

#### ■回答方法（以下のいずれかの方法）

##### (1) アンケート用紙に直接記入して回答

- 封筒あて名のご本人が回答してください。（※代筆可能）
- 諸事情によりご本人の回答が難しい場合は回答不要です。（書類は破棄してください。）
- 調査票は同封の返信用封筒で令和5年1月31日（火）までに投函してください。（※切手不要）
- 返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。

##### (2) インターネットによる回答

- お手持ちのスマートフォンで、右記二次元コードを読み込んで回答してください。（回答は1人1回・本人のみ）
- 令和5年1月31日（火）までに回答してください。



#### ■お問い合わせ

熊本市役所 環境局 環境推進部 環境政策課

電話 096-328-2427（直通） 電子メール：kankyouseisaku@city.kumamoto.lg.jp

インターネットでの回答方法の詳細については、裏面をご覧ください。

## インターネットでの回答方法について

### ■インターネット回答にあたっての注意点

- ・インターネットでの回答時間の目安は、約15分です。**令和5年1月31日(火)**までにご回答をお願いいたします。
- ・インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。

### ■スマートフォン・携帯電話から

以下の二次元コードを読み取っていただくと、直接アンケート画面へ移行します。



読み取れない場合は、以下のパソコンからの手順か、アドレス

[https://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c\\_id=37&entry\\_ins=273](https://www.city.kumamoto.jp/entry/pub/AnsForm.aspx?c_id=37&entry_ins=273)

を直接

入力して下さい。

### ■パソコンから

熊本市ホームページ (<https://www.city.kumamoto.jp/>) を検索サイト等で検索して下さい。



The screenshot shows the Kumamoto City homepage. At the top left is the city logo and name. A search bar with the text 'キーワード検索' is highlighted with a red box. Below the search bar are utility buttons for audio playback, text size, background color, and foreign language. A navigation menu includes categories like '暮らし・環境', '防災・まちづくり・市民参画', '健康・福祉・子育て', '学び・観光・スポーツ', 'しごと・産業・事業者向け', and '行政情報'. A large yellow banner for '新型コロナウイルスワクチン接種' (COVID-19 Vaccination) is prominent, detailing '追加接種(3~5回目接種)' for those 12 and older, and '小児の3回目接種' for children aged 5-11. On the right side, there are links to the Mayor's Office, City Assembly, and district offices.

トップページ右上の検索画面で、“環境に関する市民アンケート” とご入力いただき、検索して下さい。

## 環境に関する市民アンケート調査

## 調 査 票

※ インターネットでアンケートにお答えいただく方は、依頼文の案内をご覧くださいのうえ、インターネットでご回答をお願いします。この用紙を返送いただく必要はありません。

※ 本アンケート用紙でお答えの方は、以下の質問にお答えください。  
回答にあたっては、該当の番号を「○」で囲むものと、自由記載のものがあります。

問 1. あなたは、熊本市の良好な環境\*が守られていると感じますか。(1つだけ)

<p>1 とても感じる</p> <p>2 やや感じる</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 あまり感じない</p> <p>5 全く感じない</p>	問 1-1 へ
--	---------

→

※「良好な環境」とは  
熊本市では、市民が健康で文化的かつ快適な生活を持続的に営むことができる以下の四つの環境に分類しています。

- ① 生活環境
- ② 自然環境
- ③ 歴史的・文化的環境
- ④ 地球環境

問 1-1. 問 1 で 3、4、5 を選択された方にお尋ねします。

どちらともいえない、あまり感じない、全く感じないと思われる理由は何ですか。

(いくつでも可)

<p>1 騒音・振動・悪臭・大気汚染といった生活環境の悪化</p> <p>2 緑や水などの自然環境の悪化</p> <p>3 歴史的・文化的遺産と調和したまちづくりの後退</p> <p>4 身近な生きものの減少や外来種の増加</p> <p>5 ごみ出しマナーの悪化といったごみに関する問題</p> <p>6 地球温暖化の進行といった地球環境の悪化</p> <p>7 環境教育の機会の減少</p> <p>8 環境保全活動に市民が参加する機会の減少</p> <p>9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自然環境等に触れる機会の減少</p> <p>10 その他 ※「10 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。</p>
--

問 2. 熊本市民の共有財産である地下水が、市民、事業者、行政の保全活動により守られていると感じますか。(1つだけ)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問 3. 熊本市の中心市街地に緑が多いと感じますか。(1つだけ)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問 4. お住まいの周りに緑が多いと感じますか。(1つだけ)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問 5. 中心市街地の「緑の質<sup>\*</sup>」に満足していますか。(1つだけ)

※「緑の質」とは

緑の持つ様々な役割を活用することは、都市機能の強化、魅力の向上につながります。熊本市では、緑の役割を「緑の質」と表現し、以下の五つに分類します。

- ① 都市環境の維持・改善（木陰の提供、気温上昇抑制、生物の生息環境確保）
- ② 良好な都市景観の形成（緑の適切な配置による魅力的な街並みの形成）
- ③ 都市の安全性の確保（火災による延焼防止、水害・土砂災害の防止）

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 満足している     | 2 どちらかといえば満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえば不満 | 5 不満である      |             |

問 6. お住まいの周りの「緑の質」に満足していますか。(1つだけ)

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 満足している     | 2 どちらかといえば満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 どちらかといえば不満 | 5 不満である      |             |

問7. 熊本市の地域ごとに、特色ある街並み（街並みや自然の風景）があると感じますか。

(1つだけ)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問8. 環境について学ぶ機会（学習会やイベント等）が増えてきたと感じますか。

(1つだけ)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問9. 環境保全に関わるまちづくりの活動が増えてきたと感じますか。(1つだけ)

(例：緑化活動、清掃活動、環境学習に関する活動など)

- |           |          |             |
|-----------|----------|-------------|
| 1 とても感じる  | 2 やや感じる  | 3 どちらともいえない |
| 4 あまり感じない | 5 全く感じない |             |

問10. 日頃、地域の環境保全活動に参加していますか。(1つだけ)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 積極的に参加している               |
| 2 できる限り参加している              |
| 3 参加したことはないが、今後参加してみたい     |
| 4 参加したことはないし、今後も参加したいと思わない |

問11. スマートフォン・タブレット向けの紙のごみカレンダーをもっと便利にした「熊本市ごみカレンダーアプリ」を使っていますか。(1つだけ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 使用している | 2 使用していない |
|----------|-----------|

問12. この1年間にゴミステーションから資源物等を持ち去る行為を目撃しましたか。

(1つだけ)

- |                    |
|--------------------|
| 1 11回以上目撃したことがある   |
| 2 1～10回程度目撃したことがある |
| 3 目撃したことはない        |
| 4 分からない            |

問12-1へ

問 12-1. 問 12 で 1、2 を選択された方にお尋ねします。

目撃情報を LINE や電話で市に通報しましたか。(1つだけ)

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1 LINE で通報した        | 2 電話で通報した |
| 3 LINE と電話どちらでも通報した | 4 通報しなかった |

問 13. 同居するすべての方がごみ出しを行うことが困難な場合、それぞれのお宅の玄関先まで収集に伺う「ふれあい収集」を知っていますか。(いくつでも可)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1 対象となる範囲を知っている | 2 申請方法を知っている |
| 3 相談窓口を知っている    | 4 知らない       |

問 14. 現在、急激に普及している火を使わない「電子たばこ（加熱式）」の路上喫煙について、従来のたばこと同様に規制する必要があると考えますか。(1つだけ)

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1 規制する必要がある            | 2 規制する必要はない |
| 3 従来のたばこは規制内容に区別が必要である | 4 どちらでもよい   |

問 15. 海洋プラスチック問題を知っていますか。(1つだけ)

- |         |             |        |
|---------|-------------|--------|
| 1 知っている | 2 ある程度知っている | 3 知らない |
|---------|-------------|--------|

問 16. プラスチックごみの削減に取り組んでいますか。(1つだけ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 取り組んでいる | 2 取り組んでいない |
|-----------|------------|

問 17. プラスチックの過剰な使用を抑制することを目的として、令和 2 年(2020 年)7 月 1 日からレジ袋有料化が始まりました。

スーパーやコンビニ等での買い物の際に袋を利用する場合、どの袋を使用していますか。(1つだけ)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 毎回マイバッグやマイかごを使用している            |
| 2 マイバッグやマイかごを使用しているが、レジ袋を買うこともある |
| 3 毎回レジ袋を買っている                    |

問 18. 「食品ロス」について知っていますか。(1つだけ)

- 1 言葉も内容も知っている
- 2 言葉は知っているが、内容はよく知らない
- 3 知らない

問 19. 食品ロス削減のため、買いすぎ・作りすぎをしないように心がけていますか。  
(1つだけ)

- 1 心がけている
- 2 特に心がけていない

問 20. 食品ロス削減について、取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

- 1 残さずに食べる
- 2 食べきれ的分だけ作る
- 3 冷凍保存を活用する
- 4 残った料理を別の料理に作り替える  
(リメイクする)
- 5 今ある食材を確認してから買い物に行く
- 6 使いきれ的分だけ買う
- 7 賞味期限が過ぎても、食べられるものは食べる
- 8 フードバンク活動等への協力
- 9 フードドライブへの提供
- 10 外食の際に食べきれる量を注文する
- 11 外食時、食べきれなかった分を持ち帰る(ドギーバッグの使用)
- 12 3010運動を実施する
- 13 「もったいない! 食べ残しゼロ運動」協力店を利用する
- 14 特に取り組んでいない
- 15 その他 ※「15 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。

問 21. 地球温暖化対策に積極的に取り組むべきと考えていますか。(1つだけ)

- |         |             |          |
|---------|-------------|----------|
| 1 考えている | 2 あまり考えていない | 3 考えていない |
|---------|-------------|----------|

問 22. あなたの住宅について教えてください。(1つだけ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 戸建住宅（自己所有） | 2 戸建住宅（賃貸等） |
| 3 集合住宅（自己所有） | 4 集合住宅（賃貸等） |

問 23. 地球温暖化対策として実際に導入している（されている）、もしくは取り組んでいることはありますか。(いくつでも可)

- |                                     |                      |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1 電気自動車・プラグインハイブリット車の使用             | 2 エコドライブを心掛けた車の運転    |
| 3 積極的な公共交通機関の利用                     | 4 住宅の ZEH※化または ZEB※化 |
| 5 太陽光発電                             | 6 蓄電池                |
| 7 エネファーム                            | 8 二重窓にするなどの住宅の断熱化    |
| 9 省エネ家電の購入や使用                       | 10 LED 照明の使用         |
| 11 エコバッグの使用                         | 12 温暖化対策には取り組んでいない   |
| 13 その他 ※「13 その他」を選ばれた方は具体的にご記入ください。 |                      |

※「ZEH（ZEB）」とは  
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、住宅（建物）の中で使うエネルギーと創るエネルギーの量が、年間で差し引きおおむねゼロになる住宅（建物）のことです。

問 24. 「COOL CHOICE」について知っていますか。(1つだけ)

- |                       |
|-----------------------|
| 1 言葉も意味も知っている         |
| 2 言葉は知っているが、意味はよく知らない |
| 3 知らない                |

問 25. 現在の熊本市内の環境の現状について、あなたが一番問題と思われることは何ですか。(1つだけ)

- 1 自然、緑、水辺、野生の生き物の豊かさ
- 2 地下水の状況（水質や量など）
- 3 ごみ収集、処理の状況やごみ減量、リサイクルの状況
- 4 地球温暖化防止のための、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進
- 5 まちなみの景色の美しさや、公園や緑地の多さ
- 6 大気の状態
- 7 河川などの水辺の美しさ、清潔さ
- 8 生活環境の快適さ（騒音や振動、悪臭などがないか）
- 9 環境に配慮した道路、歩道などの整備
- 10 環境について学ぶ機会や情報を得る機会（環境保全イベント等の開催）
- 11 問題があるとは思っていない

問 26. あなたが問 25 で回答されたことについて、どのような課題や問題があると思われるか。ご自身のお考えを具体的に記入してください。

最後に、回答者ご自身についてお聞きします。

1. ご年齢

1	10 歳代	2	20 歳代	3	30 歳代
4	40 歳代	5	50 歳代	6	60 歳代
7	70 歳代	8	80 歳代	9	90 歳以上

2. ご職業

1	会社員（パート含む）	2	自営業	3	農林漁業
4	公務員	5	学生	6	主婦・主夫
7	無職	8	その他（		）

3. お住まいの地区

区	居住地区（小学校区） ※お住まいの校区に○をつけてください。
中央区	出水、出水南、一新、大江、帯山、帯山西、黒髪、慶徳、向山、壺川、五福、白川、城東、砂取、碩台、託麻原、白山、春竹、本荘
東区	秋津、泉ヶ丘、画図、尾ノ上、健軍、健軍東、桜木、桜木東、託麻北、託麻西、託麻東、託麻南、月出、長嶺、西原、東町、山ノ内、若葉
西区	池田、池上、小島、春日、河内、城山、城西、白坪、高橋、中島、花園、古町、芳野
南区	飽田西、飽田東、飽田南、奥古閑、川口、川尻、隈庄、城南、杉上、銭塘、田迎、田迎西、田迎南、富合、豊田、中緑、日吉、日吉東、御幸、力合、力合西
北区	麻生田、植木、川上、楠、桜井、山東、清水、城北、高平台、田底、龍田、龍田西、田原、西里、榆木、菱形、北部東、武蔵、山本、弓削、吉松

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

---

「第4次熊本市環境総合計画」に関する  
市民アンケート調査報告書  
【令和4年度(2022年度)版】

発行 令和5年(2023年)6月  
編集 熊本市環境局環境推進部環境政策課  
熊本市中央区手取本町1番1号  
TEL 096-328-2427

---